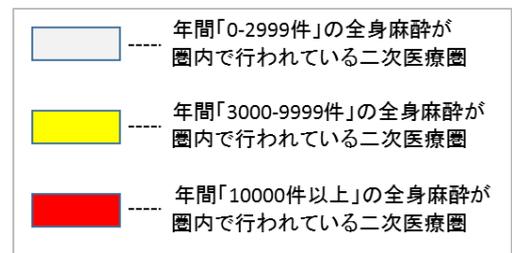
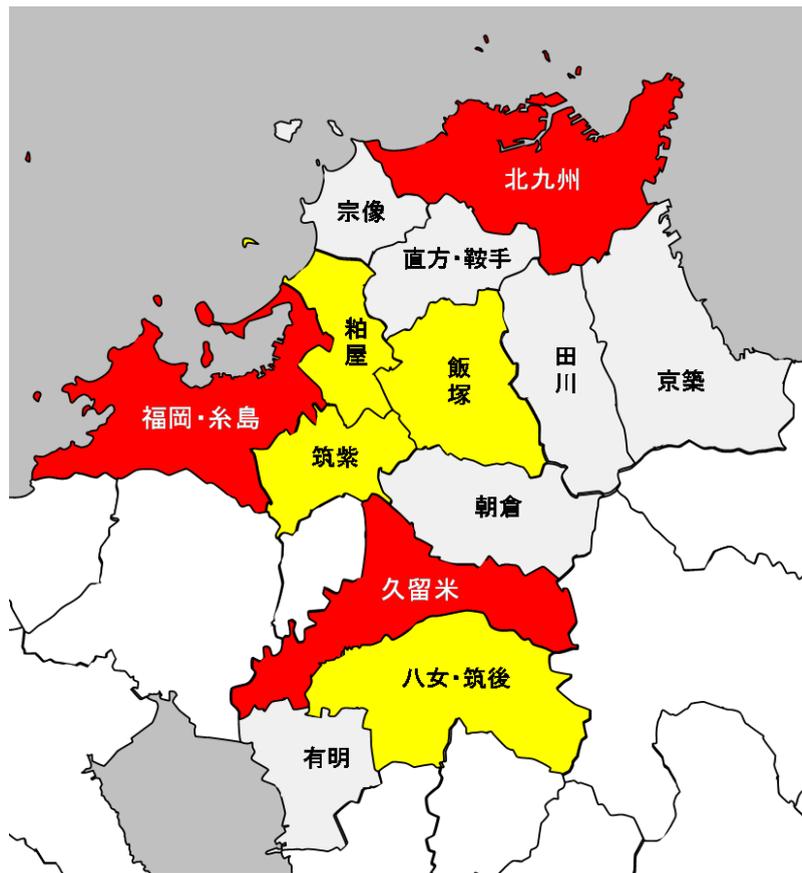


# 40. 福岡県

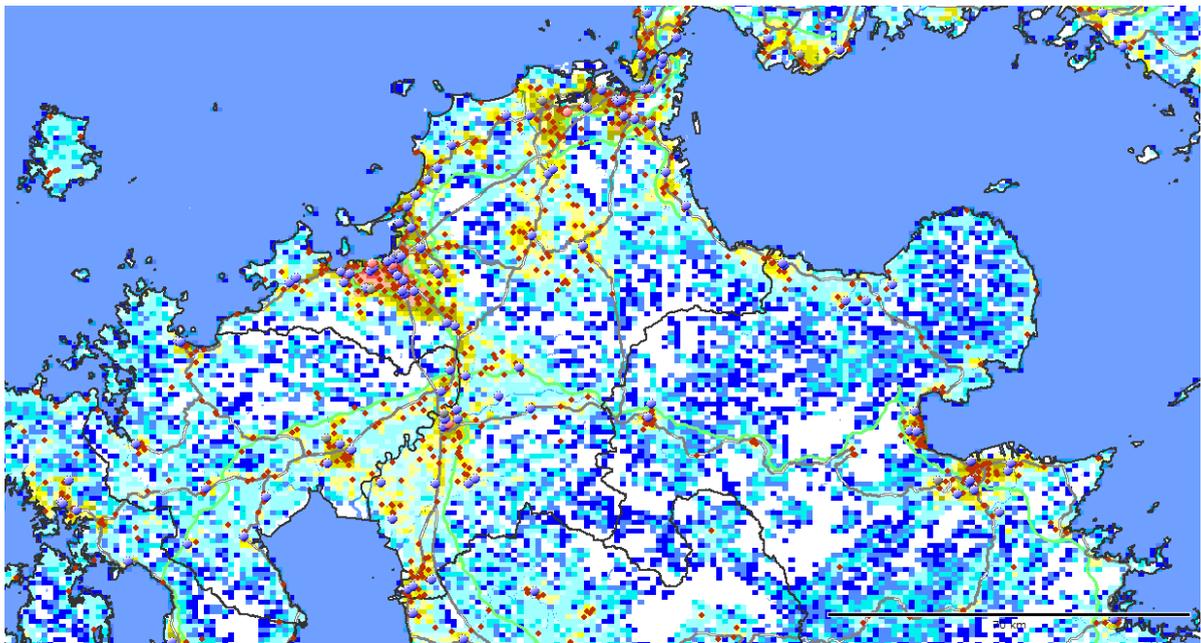


目次

福岡県	40	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	40	-	8
1. 福岡・糸島医療圏	40	-	26
2. 粕屋医療圏	40	-	31
3. 宗像医療圏	40	-	36
4. 筑紫医療圏	40	-	41
5. 朝倉医療圏	40	-	46
6. 久留米医療圏	40	-	51
7. 八女・筑後医療圏	40	-	56
8. 有明医療圏	40	-	61
9. 飯塚医療圏	40	-	66
10. 直方・鞍手医療圏	40	-	71
11. 田川医療圏	40	-	76
12. 北九州医療圏	40	-	81
13. 京築医療圏	40	-	86

# 40. 福岡県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (福岡県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 福岡県は、総人口約5,102千人(2015年)、面積4,986km<sup>2</sup>、人口密度は1,023人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 福岡県の総人口は2025年に5,043千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に4,705千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の635千人が、2025年にかけて862千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には922千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 福岡県の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値54)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 福岡県の一人当たり急性期医療密度指数は1.2、一人当たり慢性期医療密度指数は1.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は69と非常に多い。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 福岡県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、73,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が41,553床(偏差値53)、高齢者住宅等が31,601床(偏差値55)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、52,593人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム56、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、8,904人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

福岡県の総人口は、2005年5,049,908人が、2015年に5,101,556人と1%増加し、2025年の人口が5,042,774人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

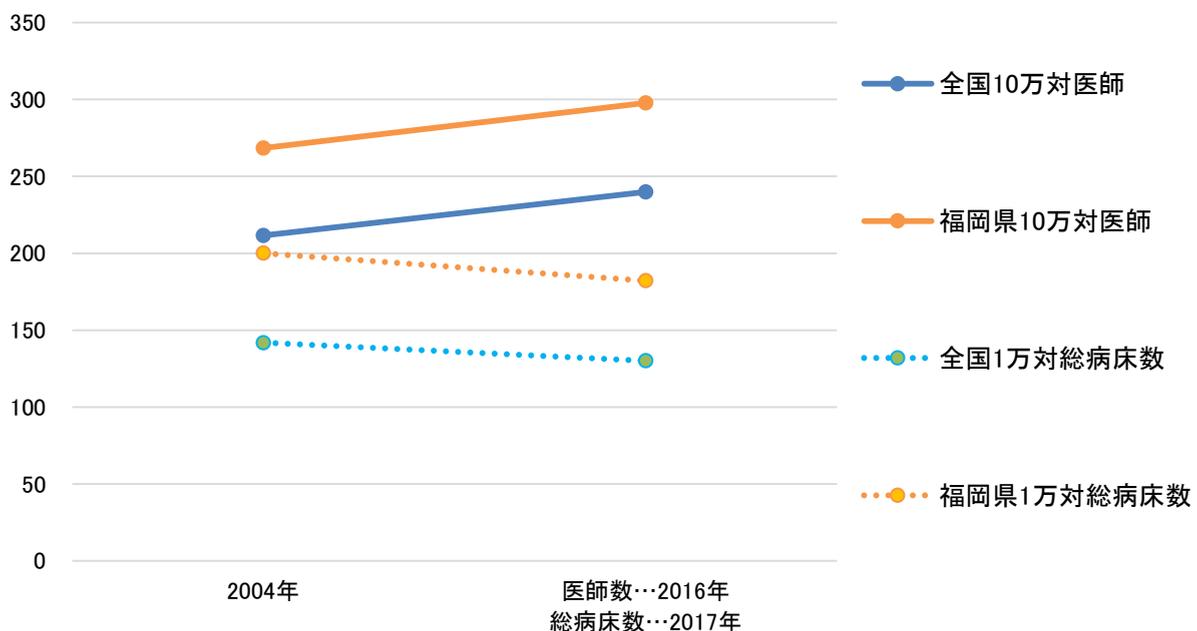
2004年の病院数が481(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2017年に462(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、13年間で19病院が減少した。

2004年の診療所数が4,357(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に4,666(人口10万人当たり91診療所(全国平均80)偏差値56)と、309診療所が増加した。

2004年の総病床数が101,039床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に92,946床(人口1万人当たり182(全国平均130)偏差値60)と、8,093床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

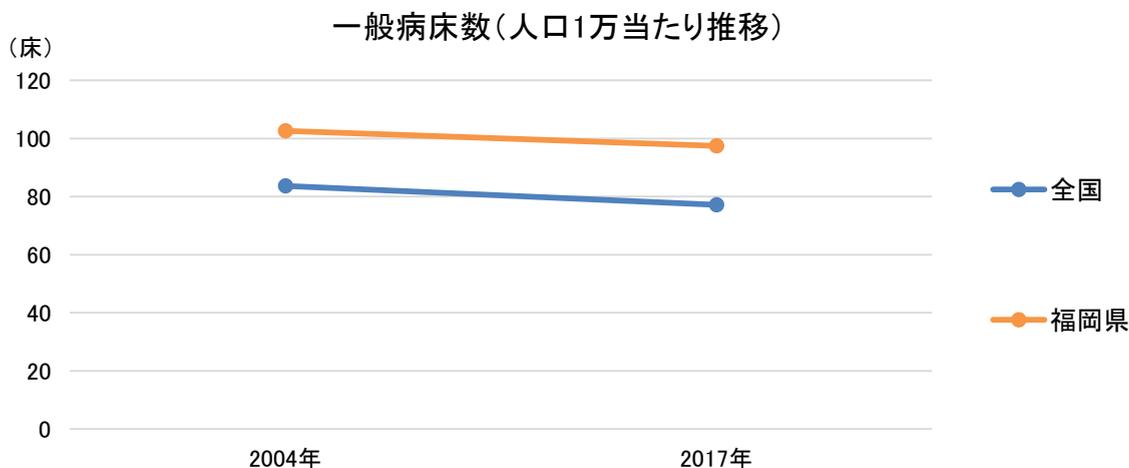
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が13,556人(人口10万人当たり268人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2016年に15,188人(人口10万人当たり298人(全国平均240人)偏差値56)と、1,632人の増加、率にして12%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



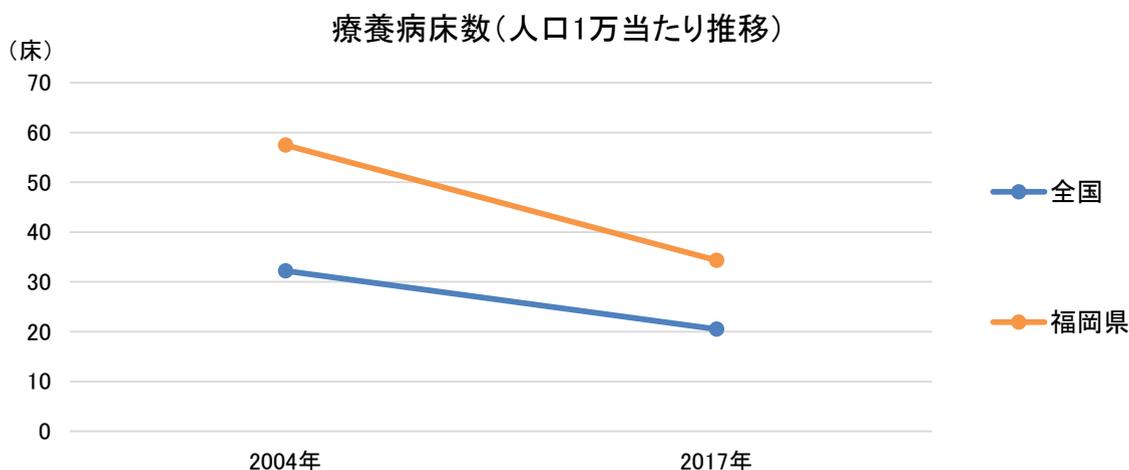
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が51,820床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に49,703床(人口1万人当たり97(全国平均77)偏差値58)と、2,117床の減少、率にして4%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



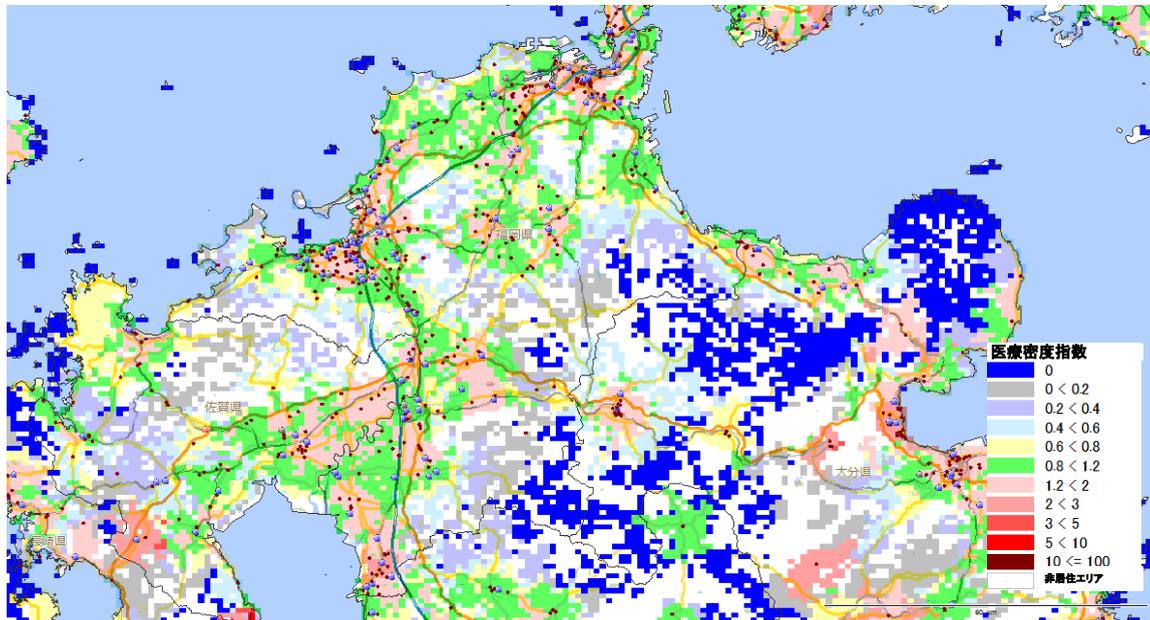
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が26,543床(75歳以上1,000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2017年に21,833床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均20)偏差値62)と、4,710床の減少、率にして18%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



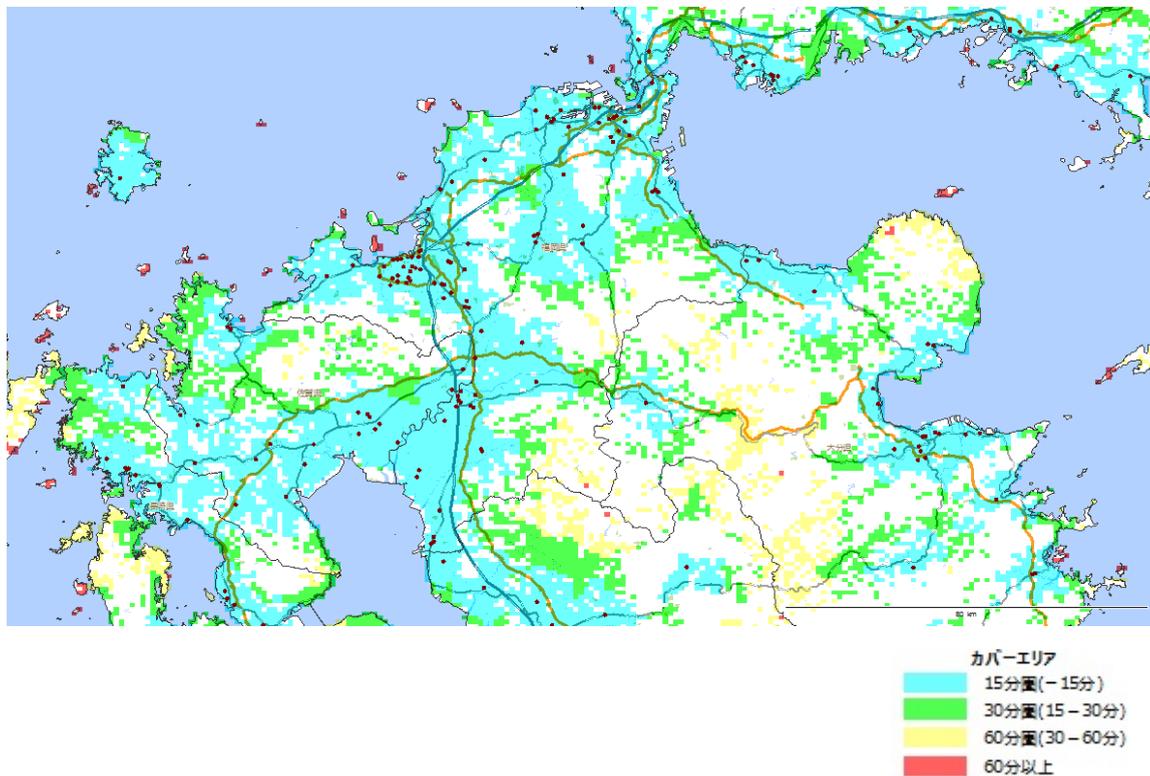
## (福岡県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 40-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
福岡県	5,102	9位	4,986	29位	1,023.1		26%	5,043	4,705	635	862	922	-1%	-7%	36%	7%
福岡・糸島	1,635	32%	559	11%	2,924.6	大都市型	21%	1,736	1,756	157	241	296	6%	1%	54%	23%
粕屋	284	6%	207	4%	1,371.7	地方都市型	22%	292	286	27	41	46	3%	-2%	52%	12%
宗像	155	3%	173	3%	899.4	地方都市型	27%	161	151	20	29	31	4%	-6%	45%	7%
筑紫	434	9%	233	5%	1,858.1	地方都市型	22%	443	432	42	65	76	2%	-2%	55%	17%
朝倉	84	2%	366	7%	229.4	地方都市型	31%	76	62	13	16	17	-10%	-18%	23%	6%
久留米	456	9%	468	9%	975.1	地方都市型	27%	442	405	60	78	84	-3%	-8%	30%	8%
八女・筑後	133	3%	562	11%	236.5	地方都市型	30%	122	104	21	24	25	-8%	-15%	14%	4%
有明	223	4%	264	5%	846.4	地方都市型	34%	196	154	40	46	43	-12%	-21%	15%	-7%
飯塚	181	4%	369	7%	491.1	地方都市型	31%	166	140	28	34	32	-8%	-16%	21%	-6%
直方・鞍手	109	2%	252	5%	433.6	地方都市型	33%	99	83	18	22	20	-9%	-16%	22%	-9%
田川	126	2%	364	7%	346.7	地方都市型	34%	108	81	22	24	21	-14%	-25%	9%	-13%
北九州	1,097	22%	601	12%	1,823.9	大都市型	30%	1,032	906	159	207	198	-6%	-12%	30%	-4%
京築	184	4%	569	11%	324.0	地方都市型	30%	170	145	28	35	33	-8%	-15%	25%	-6%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資\_図表 40-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
福岡県	1.20	1.70	64,820	70,751	-9.1%
福岡・糸島	1.25	1.82	16,192	19,916	-23.0%
粕屋	1.12	1.81	2,741	3,348	-22.2%
宗像	0.96	1.69	1,749	2,284	-30.6%
筑紫	1.02	1.99	3,629	5,202	-43.3%
朝倉	0.94	2.11	1,377	1,331	3.3%
久留米	1.18	1.69	5,331	6,367	-19.4%
八女・筑後	1.05	2.19	2,091	2,017	3.5%
有明	1.52	1.20	3,625	3,633	-0.2%
飯塚	1.06	1.62	3,104	2,735	11.9%
直方・鞍手	0.84	1.58	2,465	1,761	28.5%
田川	0.93	1.89	3,506	2,012	42.6%
北九州	1.39	1.90	15,790	17,349	-9.9%
京築	0.74	1.60	3,220	2,795	13.2%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日経総研WP no.375) )  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 40-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
福岡県	364	54	1.083	158	58	1.221	180	45	0.983	261	52
福岡・糸島	326	45	1.048	139	52	1.164	162	35	0.961	264	53
粕屋	364	54	1.077	164	60	1.266	173	41	0.939	235	45
宗像	380	58	1.042	164	60	1.170	188	50	0.946	225	42
筑紫	341	49	1.013	139	52	1.078	175	42	0.954	214	39
朝倉	383	58	1.089	170	62	1.252	186	49	0.974	259	52
久留米	377	57	1.114	164	60	1.257	188	50	1.023	259	52
八女・筑後	373	56	1.092	157	58	1.194	189	51	1.021	266	54
有明	421	67	1.180	194	70	1.411	201	57	1.039	274	56
飯塚	377	57	1.095	168	61	1.266	183	47	0.981	301	64
直方・鞍手	385	59	1.089	173	63	1.268	185	48	0.961	271	55
田川	385	59	1.146	173	63	1.338	188	50	1.026	261	52
北九州	389	60	1.110	170	62	1.260	190	51	0.997	273	56
京築	402	63	1.089	167	61	1.172	208	61	1.032	236	45
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 40-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
福岡県	1,152	69	1.217	645	69	1.367	466	60	1.054
福岡・糸島	1,183	72	1.256	651	70	1.387	489	66	1.113
粕屋	1,204	74	1.274	699	75	1.493	461	59	1.039
宗像	1,102	65	1.171	630	68	1.336	433	51	0.992
筑紫	1,091	64	1.163	584	63	1.258	464	60	1.055
朝倉	1,184	72	1.236	720	77	1.486	429	50	0.974
久留米	1,103	65	1.164	616	66	1.301	450	56	1.019
八女・筑後	1,117	66	1.166	641	69	1.328	441	54	0.999
有明	1,147	69	1.200	673	72	1.394	440	53	1.002
飯塚	1,111	66	1.154	626	67	1.288	446	55	1.005
直方・鞍手	1,104	65	1.156	618	66	1.284	446	55	1.013
田川	1,150	69	1.192	636	68	1.308	472	61	1.059
北九州	1,177	72	1.244	659	70	1.399	473	62	1.071
京築	1,107	66	1.170	604	65	1.279	469	61	1.065
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 40-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
福岡県	462	5.5%	9.1	55	4,666	4.6%	91	56
福岡・糸島	124	27%	7.6	52	1,638	35%	100	61
粕屋	26	6%	9.2	56	170	4%	60	39
宗像	14	3%	9.0	55	117	3%	75	48
筑紫	27	6%	6.2	49	292	6%	67	43
朝倉	8	2%	9.5	56	74	2%	88	54
久留米	49	11%	10.7	59	456	10%	100	61
八女・筑後	14	3%	10.5	59	120	3%	90	56
有明	33	7%	14.8	68	209	4%	94	57
飯塚	22	5%	12.1	62	164	4%	90	56
直方・鞍手	12	3%	11.0	60	101	2%	93	57
田川	16	3%	12.7	63	108	2%	86	53
北九州	103	22%	9.4	56	1,057	23%	96	59
京築	14	3%	7.6	52	160	3%	87	54
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 40-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
福岡県	4,666	4.6%	91	56	4,127	4.4%	81	54	539	7.5%	10.6	58
福岡・糸島	1,638	35%	100	61	1,483	36%	91	59	155	29%	9.5	56
粕屋	170	4%	60	39	152	4%	54	39	18	3%	6.3	51
宗像	117	3%	75	48	99	2%	64	44	18	3%	11.6	60
筑紫	292	6%	67	43	257	6%	59	42	35	6%	8.1	54
朝倉	74	2%	88	54	67	2%	80	53	7	1%	8.3	54
久留米	456	10%	100	61	381	9%	84	55	75	14%	16.4	68
八女・筑後	120	3%	90	56	110	3%	83	55	10	2%	7.5	53
有明	209	4%	94	57	174	4%	78	52	35	6%	15.7	67
飯塚	164	4%	90	56	140	3%	77	52	24	4%	13.2	63
直方・鞍手	101	2%	93	57	92	2%	84	55	9	2%	8.3	54
田川	108	2%	86	53	89	2%	71	48	19	4%	15.1	66
北九州	1,057	23%	96	59	942	23%	86	56	115	21%	10.5	58
京築	160	3%	87	54	141	3%	76	51	19	4%	10.3	58
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 40-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
福岡県	85,398	5.5%	1,674	59	7,548	7.7%	148	57	92,946	5.6%	1,822	60
福岡・糸島	22,766	27%	1,392	54	2,001	27%	122	55	24,767	27%	1,515	54
粕屋	4,581	5%	1,616	58	266	4%	94	52	4,847	5%	1,709	58
宗像	2,434	3%	1,567	57	248	3%	160	59	2,682	3%	1,727	58
筑紫	4,884	6%	1,127	48	575	8%	133	56	5,459	6%	1,259	49
朝倉	1,318	2%	1,570	57	102	1%	122	55	1,420	2%	1,692	57
久留米	9,093	11%	1,993	66	1,068	14%	234	67	10,161	11%	2,227	67
八女・筑後	2,339	3%	1,760	61	124	2%	93	52	2,463	3%	1,853	60
有明	5,864	7%	2,626	79	541	7%	242	68	6,405	7%	2,869	79
飯塚	3,824	4%	2,108	68	395	5%	218	65	4,219	5%	2,326	69
直方・鞍手	1,977	2%	1,813	62	127	2%	116	54	2,104	2%	1,929	62
田川	3,093	4%	2,453	76	300	4%	238	67	3,393	4%	2,691	76
北九州	20,732	24%	1,890	64	1,557	21%	142	57	22,289	24%	2,032	64
京築	2,493	3%	1,352	53	244	3%	132	56	2,737	3%	1,484	53
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 40-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
福岡県	43,035	4.8%	844	56	20,953	6.4%	411	58	21,089	6.4%	413	57
福岡・糸島	13,156	31%	805	55	5,129	24%	314	53	4,415	21%	270	50
粕屋	2,128	5%	751	52	1,379	7%	486	61	1,006	5%	355	54
宗像	760	2%	489	41	706	3%	455	60	968	5%	623	67
筑紫	2,064	5%	476	40	1,505	7%	347	54	1,311	6%	302	52
朝倉	606	1%	722	51	372	2%	443	59	340	2%	405	57
久留米	4,634	11%	1,016	64	2,396	11%	525	63	2,049	10%	449	59
八女・筑後	1,045	2%	786	54	828	4%	623	68	464	2%	349	54
有明	2,880	7%	1,290	76	1,296	6%	580	66	1,666	8%	746	73
飯塚	2,375	6%	1,309	77	588	3%	324	53	861	4%	475	60
直方・鞍手	673	2%	617	46	511	2%	468	60	730	3%	669	69
田川	970	2%	769	53	356	2%	282	51	1,759	8%	1,395	104
北九州	11,023	26%	1,005	64	5,015	24%	457	60	4,620	22%	421	58
京築	721	2%	391	36	872	4%	473	61	900	4%	488	61
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 40-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
福岡県	4,689	5.8%	92	56	6,024	8.2%	118	60
福岡・糸島	1,564	33%	96	57	1,923	32%	118	59
粕屋	165	4%	58	49	207	3%	73	52
宗像	49	1%	32	43	193	3%	124	61
筑紫	190	4%	44	46	258	4%	60	50
朝倉	88	2%	105	59	106	2%	126	61
久留米	643	14%	141	67	418	7%	92	55
八女・筑後	139	3%	105	59	226	4%	170	68
有明	345	7%	155	70	368	6%	165	67
飯塚	122	3%	67	51	585	10%	323	92
直方・鞍手	111	2%	102	58	153	3%	140	63
田川	60	1%	48	47	133	2%	105	58
北九州	1,074	23%	98	57	1,301	22%	119	60
京築	139	3%	75	53	153	3%	83	54
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 40-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
福岡県	13,298	12,140	384	71,577	31,187	19,996	28.0%	44	1.9%	49
福岡・糸島	5,047	4,761	75	17,578	8,505	4,833	35.9%	47	1.5%	48
粕屋	641	591	0	3,955	1,591	1,340	27.1%	43	0.0%	48
宗像	0	0	0	2,434	805	661	0.0%	33	0.0%	48
筑紫	760	430	0	4,129	1,642	1,502	20.8%	41	0.0%	48
朝倉	0	0	0	1,318	606	372	0.0%	33	0.0%	48
久留米	175	175	0	8,906	4,452	2,396	3.8%	35	0.0%	48
八女・筑後	563	561	0	1,776	484	828	53.7%	53	0.0%	48
有明	752	730	0	5,112	2,150	1,296	25.3%	43	0.0%	48
飯塚	542	542	0	3,216	1,790	565	23.2%	42	0.0%	48
直方・鞍手	440	310	100	1,504	363	411	46.1%	51	19.6%	56
田川	540	446	86	2,483	524	270	46.0%	51	24.2%	58
北九州	3,838	3,594	123	16,693	7,510	4,714	32.4%	45	2.5%	49
京築	0	0	0	2,473	765	808	0.0%	33	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 40-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
福岡県	409,212	10.4%	8,021	69	38,052	4.1%	746	51
福岡・糸島	304,776	74%	18,639	111	11,784	31%	721	50
粕屋	3,624	1%	1,278	43	1,980	5%	698	49
宗像	960	0%	618	40	1,548	4%	997	60
筑紫	12,168	3%	2,807	49	3,540	9%	817	53
朝倉	576	0%	686	41	420	1%	500	41
久留米	13,644	3%	2,991	50	5,112	13%	1,121	65
八女・筑後	2,928	1%	2,203	46	612	2%	460	40
有明	4,632	1%	2,075	46	1,968	5%	881	56
飯塚	4,104	1%	2,263	47	1,704	4%	939	58
直方・鞍手	1,176	0%	1,078	42	372	1%	341	35
田川	1,068	0%	847	41	612	2%	485	41
北九州	57,720	14%	5,263	58	7,068	19%	644	47
京築	1,836	0%	996	42	1,332	4%	722	50
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 40-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
福岡県	15,188	5.0%	298	56	10,367	5.1%	203	56	4,821	4.7%	95	56
福岡・糸島	5,835	38%	357	63	4,055	39%	248	62	1,780	37%	109	62
粕屋	537	4%	189	44	335	3%	118	44	202	4%	71	46
宗像	257	2%	165	42	139	1%	90	40	118	2%	76	48
筑紫	833	5%	192	45	525	5%	121	45	308	6%	71	46
朝倉	157	1%	187	44	81	1%	97	41	76	2%	91	54
久留米	2,064	14%	452	74	1,573	15%	345	76	491	10%	108	62
八女・筑後	284	2%	214	47	174	2%	131	46	110	2%	83	51
有明	562	4%	252	51	339	3%	152	49	223	5%	100	58
飯塚	592	4%	326	60	440	4%	243	62	152	3%	84	51
直方・鞍手	208	1%	191	45	104	1%	95	41	104	2%	95	56
田川	246	2%	195	45	141	1%	112	43	105	2%	83	51
北九州	3,344	22%	305	57	2,333	23%	213	57	1,011	21%	92	55
京築	269	2%	146	40	128	1%	69	38	141	3%	76	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 40-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
福岡県	1,054	4.7%	20.7	53	672	5.0%	13.2	55	506	4.5%	9.9	53
福岡・糸島	446	42%	27.3	60	243	36%	14.9	59	209	41%	12.8	60
粕屋	46	4%	16.2	48	36	5%	12.7	54	20	4%	7.1	46
宗像	15	1%	9.7	41	14	2%	9.0	47	12	2%	7.7	47
筑紫	45	4%	10.4	42	39	6%	9.0	46	19	4%	4.4	39
朝倉	9	1%	10.7	42	8	1%	9.5	48	2	0%	2.4	34
久留米	109	10%	23.9	57	117	17%	25.6	82	83	16%	18.2	73
八女・筑後	16	2%	12.0	44	10	1%	7.5	43	5	1%	3.8	37
有明	38	4%	17.0	49	23	3%	10.3	49	14	3%	6.3	44
飯塚	56	5%	30.9	64	20	3%	11.0	51	17	3%	9.4	51
直方・鞍手	16	2%	14.7	47	6	1%	5.5	39	3	1%	2.8	35
田川	14	1%	11.1	43	11	2%	8.7	46	7	1%	5.6	42
北九州	232	22%	21.2	54	138	21%	12.6	54	108	21%	9.8	52
京築	12	1%	6.5	38	7	1%	3.8	36	7	1%	3.8	37
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 40-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
福岡県	243	4.3%	4.8	52	398	4.1%	7.8	50	303	3.9%	5.9	50
福岡・糸島	98	40%	6.0	57	163	41%	10.0	57	115	38%	7.0	54
粕屋	11	5%	3.9	48	14	4%	4.9	41	10	3%	3.5	40
宗像	4	2%	2.6	42	11	3%	7.1	48	5	2%	3.2	39
筑紫	16	7%	3.7	47	24	6%	5.5	43	22	7%	5.1	46
朝倉	1	0%	1.2	35	5	1%	6.0	45	3	1%	3.6	41
久留米	33	14%	7.2	63	44	11%	9.6	56	38	13%	8.3	59
八女・筑後	4	2%	3.0	44	6	2%	4.5	40	6	2%	4.5	44
有明	11	5%	4.9	52	14	4%	6.3	46	11	4%	4.9	46
飯塚	9	4%	5.0	53	17	4%	9.4	55	8	3%	4.4	44
直方・鞍手	3	1%	2.8	42	7	2%	6.4	46	6	2%	5.5	48
田川	4	2%	3.2	44	5	1%	4.0	38	3	1%	2.4	36
北九州	48	20%	4.4	50	80	20%	7.3	49	71	23%	6.5	52
京築	1	0%	0.5	32	8	2%	4.3	40	5	2%	2.7	37
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 40-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
福岡県	462	5.0%	9.1	55	1,066	5.0%	20.9	56	868	5.3%	17.0	59
福岡・糸島	165	36%	10.1	58	425	40%	26.0	63	310	36%	19.0	63
粕屋	16	3%	5.6	45	31	3%	10.9	42	33	4%	11.6	47
宗像	15	3%	9.7	57	15	1%	9.7	40	13	1%	8.4	40
筑紫	37	8%	8.5	54	45	4%	10.4	41	49	6%	11.3	46
朝倉	7	2%	8.3	53	9	1%	10.7	42	11	1%	13.1	50
久留米	72	16%	15.8	75	163	15%	35.7	77	93	11%	20.4	66
八女・筑後	7	2%	5.3	44	16	2%	12.0	44	21	2%	15.8	56
有明	26	6%	11.6	63	41	4%	18.4	52	41	5%	18.4	62
飯塚	12	3%	6.6	48	33	3%	18.2	52	35	4%	19.3	64
直方・鞍手	8	2%	7.3	50	15	1%	13.8	46	15	2%	13.8	52
田川	11	2%	8.7	54	18	2%	14.3	47	12	1%	9.5	43
北九州	78	17%	7.1	50	241	23%	22.0	57	210	24%	19.1	63
京築	8	2%	4.3	42	14	1%	7.6	37	25	3%	13.6	51
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 40-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
福岡県	272	4.5%	5.3	53	295	4.4%	5.8	52	364	6.4%	7.1	59
福岡・糸島	104	38%	6.4	58	110	37%	6.7	56	145	40%	8.9	64
粕屋	13	5%	4.6	49	12	4%	4.2	45	6	2%	2.1	42
宗像	4	1%	2.6	40	12	4%	7.7	60	10	3%	6.4	56
筑紫	21	8%	4.8	51	26	9%	6.0	53	15	4%	3.5	47
朝倉	3	1%	3.6	45	3	1%	3.6	43	6	2%	7.1	59
久留米	34	13%	7.5	63	31	11%	6.8	56	67	18%	14.7	83
八女・筑後	4	1%	3.0	42	7	2%	5.3	50	4	1%	3.0	45
有明	8	3%	3.6	45	11	4%	4.9	48	12	3%	5.4	53
飯塚	7	3%	3.9	46	9	3%	5.0	48	9	2%	5.0	52
直方・鞍手	3	1%	2.8	41	1	0%	0.9	31	3	1%	2.8	44
田川	7	3%	5.6	54	3	1%	2.4	38	1	0%	0.8	38
北九州	58	21%	5.3	53	65	22%	5.9	53	84	23%	7.7	60
京築	6	2%	3.3	43	5	2%	2.7	39	2	1%	1.1	39
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 40-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
福岡県	331	4.7%	6.5	53	64	4.0%	1.3	50	174	4.6%	3.4	52
福岡・糸島	141	43%	8.6	59	30	47%	1.8	56	47	27%	2.9	49
粕屋	8	2%	2.8	42	1	2%	0.4	41	7	4%	2.5	47
宗像	5	2%	3.2	43	0	0%	0	37	2	1%	1.3	41
筑紫	15	5%	3.5	44	3	5%	0.7	44	13	7%	3.0	50
朝倉	3	1%	3.6	44	1	2%	1.2	49	3	2%	3.6	53
久留米	42	13%	9.2	61	10	16%	2.2	59	30	17%	6.6	69
八女・筑後	5	2%	3.8	44	1	2%	0.8	45	4	2%	3.0	50
有明	4	1%	1.8	38	1	2%	0.4	42	3	2%	1.3	41
飯塚	8	2%	4.4	46	2	3%	1.1	48	7	4%	3.9	55
直方・鞍手	4	1%	3.7	44	0	0%	0	37	0	0%	0	34
田川	3	1%	2.4	40	1	2%	0.8	45	1	1%	0.8	39
北九州	89	27%	8.1	58	14	22%	1.3	50	50	29%	4.6	58
京築	4	1%	2.2	40	0	0%	0	37	7	4%	3.8	54
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 40-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
福岡県	104	4.9%	2.0	53	130	5.2%	2.5	54
福岡・糸島	48	46%	2.9	60	34	26%	2.1	51
粕屋	4	4%	1.4	48	4	3%	1.4	46
宗像	0	0%	0	37	1	1%	0.6	41
筑紫	5	5%	1.2	46	12	9%	2.8	56
朝倉	0	0%	0	37	0	0%	0	36
久留米	16	15%	3.5	64	16	12%	3.5	61
八女・筑後	2	2%	1.5	49	3	2%	2.3	52
有明	1	1%	0.4	40	7	5%	3.1	58
飯塚	1	1%	0.6	41	4	3%	2.2	52
直方・鞍手	0	0%	0	37	2	2%	1.8	49
田川	2	2%	1.6	49	0	0%	0	36
北九州	24	23%	2.2	54	44	34%	4.0	64
京築	1	1%	0.5	41	3	2%	1.6	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 40-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
福岡県	65,312	5.7%	1,280	63	51,374	5.6%	1,007	62	13,938	6.2%	273	63
福岡・糸島	20,217	31%	1,236	62	15,604	30%	954	60	4,613	33%	282	65
粕屋	2,978	5%	1,050	55	2,444	5%	862	56	534	4%	188	51
宗像	1,554	2%	1,001	53	1,198	2%	771	52	356	3%	229	57
筑紫	3,616	6%	834	48	2,650	5%	611	45	966	7%	223	56
朝倉	940	1%	1,120	58	742	1%	884	57	198	1%	236	58
久留米	6,922	11%	1,517	71	5,457	11%	1,196	69	1,465	11%	321	70
八女・筑後	1,786	3%	1,344	65	1,390	3%	1,046	63	396	3%	298	67
有明	3,804	6%	1,704	78	3,050	6%	1,366	76	754	5%	338	72
飯塚	2,880	4%	1,588	74	2,367	5%	1,305	74	513	4%	283	65
直方・鞍手	1,258	2%	1,153	59	1,005	2%	921	58	253	2%	232	58
田川	1,849	3%	1,467	70	1,468	3%	1,164	68	381	3%	302	67
北九州	15,681	24%	1,430	68	12,675	25%	1,156	68	3,006	22%	274	64
京築	1,827	3%	991	53	1,324	3%	718	50	503	4%	273	63
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 40-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
福岡県	8,940	6.4%	175	61	11,794	3.9%	231	49
福岡・糸島	2,632	29%	161	59	4,714	40%	288	55
粕屋	467	5%	165	60	444	4%	157	42
宗像	185	2%	119	52	259	2%	167	43
筑紫	460	5%	106	49	816	7%	188	45
朝倉	135	2%	161	59	148	1%	176	44
久留米	1,057	12%	232	71	1,109	9%	243	51
八女・筑後	292	3%	220	69	251	2%	189	45
有明	621	7%	278	80	463	4%	207	47
飯塚	472	5%	260	76	399	3%	220	48
直方・鞍手	128	1%	117	51	186	2%	171	43
田川	186	2%	148	57	233	2%	185	45
北九州	2,073	23%	189	64	2,450	21%	223	49
京築	232	3%	126	53	322	3%	175	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 40-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
福岡県	818	5.8%	1.3	60	83	6.0%	0.1	57	521	4.7%	0.8	57
福岡・糸島	244	30%	1.6	66	21	25%	0.1	57	160	31%	1.0	66
粕屋	27	3%	1.0	53	7	8%	0.3	75	23	4%	0.8	58
宗像	21	3%	1.1	54	2	2%	0.1	52	11	2%	0.6	44
筑紫	43	5%	1.0	54	8	10%	0.2	65	39	7%	0.9	62
朝倉	29	4%	2.2	80	1	1%	0.1	49	4	1%	0.3	33
久留米	101	12%	1.7	69	11	13%	0.2	64	46	9%	0.8	54
八女・筑後	38	5%	1.8	71	2	2%	0.1	51	11	2%	0.5	43
有明	41	5%	1.0	53	4	5%	0.1	52	24	5%	0.6	47
飯塚	21	3%	0.8	47	3	4%	0.1	53	25	5%	0.9	60
直方・鞍手	22	3%	1.2	57	0	0%	0	38	16	3%	0.9	59
田川	17	2%	0.8	48	1	1%	0.0	44	27	5%	1.2	75
北九州	187	23%	1.2	57	18	22%	0.1	54	114	22%	0.7	52
京築	27	3%	1.0	52	5	6%	0.2	64	21	4%	0.8	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 40-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
福岡県	73,154	4.3%	115	57	41,553	4.1%	65	53	31,601	4.6%	50	55
福岡・糸島	19,263	26%	123	61	9,635	23%	61	50	9,628	30%	61	62
粕屋	3,099	4%	114	56	1,919	5%	71	58	1,180	4%	43	51
宗像	1,977	3%	99	47	1,205	3%	60	49	772	2%	39	48
筑紫	4,197	6%	101	48	2,065	5%	50	41	2,132	7%	51	56
朝倉	1,546	2%	116	57	1,208	3%	91	74	338	1%	25	39
久留米	6,102	8%	102	49	3,377	8%	56	46	2,725	9%	46	52
八女・筑後	2,239	3%	106	51	1,579	4%	75	61	660	2%	31	43
有明	4,059	6%	101	48	2,799	7%	70	57	1,260	4%	31	43
飯塚	3,589	5%	129	65	2,209	5%	79	64	1,380	4%	49	54
直方・鞍手	2,785	4%	152	79	1,330	3%	72	59	1,455	5%	79	73
田川	3,750	5%	170	89	2,341	6%	106	86	1,409	4%	64	64
北九州	17,083	23%	107	52	9,897	24%	62	51	7,186	23%	45	52
京築	3,465	5%	126	63	1,989	5%	72	59	1,476	5%	53	57
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 40-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福岡県	14,461	3.9%	23	51	23,231	4.0%	37	51	3,861	6.5%	6.1	56
福岡・糸島	2,941	20%	19	44	5,854	25%	37	52	840	22%	5.3	54
粕屋	585	4%	22	48	755	3%	28	43	579	15%	21.3	95
宗像	345	2%	17	41	611	3%	31	45	249	6%	12.5	72
筑紫	560	4%	13	35	1,047	5%	25	40	458	12%	11.0	69
朝倉	548	4%	41	82	660	3%	49	64	0	0%	0	41
久留米	1,260	9%	21	48	1,691	7%	28	43	426	11%	7.1	59
八女・筑後	654	5%	31	65	925	4%	44	59	0	0%	0	41
有明	1,158	8%	29	61	1,384	6%	35	49	257	7%	6.4	57
飯塚	810	6%	29	61	1,282	6%	46	61	117	3%	4.2	51
直方・鞍手	614	4%	33	69	570	2%	31	46	146	4%	7.9	61
田川	780	5%	35	72	1,510	6%	68	83	51	1%	2.3	47
北九州	3,328	23%	21	47	5,871	25%	37	52	698	18%	4.4	52
京築	878	6%	32	66	1,071	5%	39	54	40	1%	1.4	44
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福岡県	11,943	5.0%	18.8	54	1,033	4.4%	1.6	51	9,932	4.9%	15.6	56
福岡・糸島	4,212	35%	26.8	61	135	13%	0.9	47	2,210	22%	14.1	53
粕屋	449	4%	16.6	52	40	4%	1.5	50	333	3%	12.3	50
宗像	326	3%	16.3	52	29	3%	1.5	50	189	2%	9.5	45
筑紫	961	8%	23.1	58	50	5%	1.2	49	453	5%	10.9	48
朝倉	43	0%	3.2	40	0	0%	0	43	126	1%	9.4	45
久留米	553	5%	9.2	45	60	6%	1.0	48	1,341	14%	22.4	67
八女・筑後	89	1%	4.2	40	0	0%	0	43	378	4%	17.9	60
有明	319	3%	8.0	44	20	2%	0.5	46	487	5%	12.2	50
飯塚	385	3%	13.8	49	80	8%	2.9	57	430	4%	15.4	55
直方・鞍手	543	5%	29.6	64	100	10%	5.4	69	423	4%	23.0	68
田川	312	3%	14.1	50	79	8%	3.6	60	774	8%	35.0	89
北九州	3,006	25%	18.9	54	340	33%	2.1	53	2,402	24%	15.1	55
京築	745	6%	27.0	62	100	10%	3.6	60	386	4%	14.0	53
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
福岡県	8,693	3.7%	13.7	49	359	1.6%	0.6	46	8,334	4.0%	13.1	50
福岡・糸島	3,071	35%	19.5	58	0	0%	0	43	3,071	37%	19.5	60
粕屋	358	4%	13.2	49	0	0%	0	43	358	4%	13.2	51
宗像	228	3%	11.4	46	0	0%	0	43	228	3%	11.4	48
筑紫	668	8%	16.1	53	100	28%	2.4	56	568	7%	13.7	51
朝倉	169	2%	12.7	48	0	0%	0	43	169	2%	12.7	50
久留米	771	9%	12.9	48	0	0%	0	43	771	9%	12.9	50
八女・筑後	193	2%	9.2	43	45	13%	2.1	54	148	2%	7.0	41
有明	434	5%	10.8	45	0	0%	0	43	434	5%	10.8	47
飯塚	485	6%	17.4	55	0	0%	0	43	485	6%	17.4	57
直方・鞍手	389	4%	21.2	60	69	19%	3.8	63	320	4%	17.4	57
田川	244	3%	11.0	45	0	0%	0	43	244	3%	11.0	47
北九州	1,438	17%	9.0	43	145	40%	0.9	48	1,293	16%	8.1	43
京築	245	3%	8.9	42	0	0%	0	43	245	3%	8.9	44
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 40-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
福岡県	7,930	4.6%	12.5	59	5,476	4.6%	8.6	56	2,454	4.8%	3.9	57
福岡・糸島	2,280	29%	14.5	67	1,492	27%	9.5	61	788	32%	5.0	67
粕屋	358	5%	13.2	62	263	5%	9.7	62	95	4%	3.5	53
宗像	218	3%	10.9	52	167	3%	8.4	55	51	2%	2.6	45
筑紫	487	6%	11.7	55	299	5%	7.2	49	188	8%	4.5	63
朝倉	136	2%	10.2	49	118	2%	8.8	57	18	1%	1.4	33
久留米	694	9%	11.6	55	458	8%	7.7	51	236	10%	3.9	57
八女・筑後	236	3%	11.2	53	163	3%	7.7	52	73	3%	3.5	53
有明	497	6%	12.4	58	392	7%	9.8	62	105	4%	2.6	45
飯塚	347	4%	12.4	58	250	5%	8.9	58	97	4%	3.5	53
直方・鞍手	254	3%	13.8	65	196	4%	10.7	67	58	2%	3.2	50
田川	322	4%	14.6	68	204	4%	9.2	59	118	5%	5.3	70
北九州	1,733	22%	10.9	52	1,189	22%	7.5	51	544	22%	3.4	52
京築	368	5%	13.3	62	285	5%	10.3	65	83	3%	3.0	48
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
福岡県	61,498	4.1%	97	54	52,593	4.1%	83	54	8,904	4.0%	14.0	51
福岡・糸島	15,755	26%	100	56	13,000	25%	83	54	2,756	31%	17.5	57
粕屋	2,195	4%	81	41	1,947	4%	72	44	248	3%	9.2	42
宗像	1,686	3%	85	44	1,480	3%	74	46	206	2%	10.3	44
筑紫	3,347	5%	81	40	2,890	5%	70	42	457	5%	11.0	45
朝倉	1,296	2%	97	54	1,235	2%	93	62	60	1%	4.5	34
久留米	5,937	10%	99	56	5,328	10%	89	59	609	7%	10.2	44
八女・筑後	2,162	4%	103	58	1,940	4%	92	62	222	2%	10.6	45
有明	3,903	6%	97	54	3,417	6%	85	56	487	5%	12.2	47
飯塚	2,927	5%	105	60	2,417	5%	87	57	509	6%	18.2	58
直方・鞍手	1,974	3%	107	62	1,733	3%	94	64	241	3%	13.1	49
田川	3,112	5%	141	89	2,444	5%	111	78	669	8%	30.3	80
北九州	14,656	24%	92	50	12,536	24%	79	50	2,120	24%	13.3	50
京築	2,546	4%	92	50	2,227	4%	81	52	319	4%	11.6	46
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
福岡県	53,408	4.3%	84	53	15,410	3.0%	24	45	49,212	4.0%	77	51
福岡・糸島	22,095	41%	141	69	4,942	32%	31	50	18,979	39%	121	67
粕屋	1,692	3%	62	46	851	6%	31	50	1,083	2%	40	37
宗像	1,348	3%	68	48	280	2%	14	37	1,402	3%	70	48
筑紫	2,455	5%	59	45	1,038	7%	25	45	2,485	5%	60	44
朝倉	765	1%	57	45	138	1%	10	34	384	1%	29	33
久留米	3,956	7%	66	47	1,328	9%	22	43	2,632	5%	44	38
八女・筑後	864	2%	41	40	307	2%	15	37	784	2%	37	36
有明	2,019	4%	50	43	666	4%	17	39	1,847	4%	46	39
飯塚	2,489	5%	89	54	622	4%	22	43	2,128	4%	76	51
直方・鞍手	1,508	3%	82	52	358	2%	19	41	1,306	3%	71	49
田川	1,146	2%	52	43	829	5%	38	55	2,159	4%	98	59
北九州	11,435	21%	72	49	3,497	23%	22	43	12,771	26%	80	52
京築	1,636	3%	59	45	554	4%	20	41	1,252	3%	45	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
福岡県		5,049,908	5,101,556	1%	5,042,774	0%	13%	8%	22%
福岡・糸島	大都市型	1,499,253	1,635,156	9%	1,736,389	16%	23%	16%	43%
粕屋	地方都市型	261,212	283,544	9%	292,367	12%	21%	13%	37%
宗像	地方都市型	149,825	155,297	4%	161,232	8%	17%	13%	33%
筑紫	地方都市型	412,780	433,521	5%	442,513	7%	20%	14%	37%
朝倉	地方都市型	91,487	83,924	-8%	75,598	-17%	2%	1%	3%
久留米	地方都市型	465,712	456,196	-2%	441,706	-5%	11%	6%	17%
八女・筑後	地方都市型	141,354	132,930	-6%	122,211	-14%	4%	0%	4%
有明	地方都市型	249,001	223,276	-10%	196,171	-21%	1%	-3%	-2%
飯塚	地方都市型	193,821	181,385	-6%	165,687	-15%	4%	1%	5%
直方・鞍手	地方都市型	115,584	109,075	-6%	99,271	-14%	6%	-1%	5%
田川	地方都市型	140,736	126,104	-10%	107,739	-23%	1%	-6%	-5%
北九州	大都市型	1,137,622	1,096,744	-4%	1,031,764	-9%	10%	3%	13%
京築	地方都市型	191,521	184,404	-4%	170,126	-11%	8%	1%	9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 40-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
福岡県	481	9.5	56	462	9.1	55	-19	-4%
福岡・糸島	131	8.7	54	124	7.6	52	-7	-5%
粕屋	26	10.0	57	26	9.2	56	0	0%
宗像	14	9.3	56	14	9.0	55	0	0%
筑紫	28	6.8	49	27	6.2	49	-1	-4%
朝倉	9	9.8	57	8	9.5	56	-1	-11%
久留米	49	10.5	59	49	10.7	59	0	0%
八女・筑後	14	9.9	57	14	10.5	59	0	0%
有明	34	13.7	67	33	14.8	68	-1	-3%
飯塚	24	12.4	64	22	12.1	62	-2	-8%
直方・鞍手	13	11.2	61	12	11.0	60	-1	-8%
田川	17	12.1	63	16	12.7	63	-1	-6%
北九州	105	9.2	56	103	9.4	56	-2	-2%
京築	17	8.9	55	14	7.6	52	-3	-18%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 40-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
福岡県	4,357	86	55	4,666	91	56	309	7%
福岡・糸島	1,372	92	58	1,638	100	61	266	19%
粕屋	135	52	38	170	60	39	35	26%
宗像	94	63	43	117	75	48	23	24%
筑紫	248	60	42	292	67	43	44	18%
朝倉	75	82	53	74	88	54	-1	-1%
久留米	433	93	58	456	100	61	23	5%
八女・筑後	120	85	54	120	90	56	0	0%
有明	244	98	61	209	94	57	-35	-14%
飯塚	167	86	55	164	90	56	-3	-2%
直方・鞍手	100	87	55	101	93	57	1	1%
田川	112	80	52	108	86	53	-4	-4%
北九州	1,109	97	61	1,057	96	59	-52	-5%
京築	148	77	51	160	87	54	12	8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 40-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
福岡県	13,556	268	57	15,188	298	56	1,632	12%
福岡・糸島	4,830	322	63	5,835	357	63	1,005	21%
粕屋	386	148	42	537	189	44	151	39%
宗像	217	145	42	257	165	42	40	18%
筑紫	680	165	44	833	192	45	153	23%
朝倉	158	173	45	157	187	44	-1	-1%
久留米	1,894	407	73	2,064	452	74	170	9%
八女・筑後	282	199	49	284	214	47	2	1%
有明	596	239	53	562	252	51	-34	-6%
飯塚	476	246	54	592	326	60	116	24%
直方・鞍手	207	179	46	208	191	45	1	0%
田川	269	191	48	246	195	45	-23	-9%
北九州	3,302	290	59	3,344	305	57	42	1%
京築	259	135	41	269	146	40	10	4%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 40-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
福岡県	101,039	200	60	92,946	182	60	-8,093	-8%
福岡・糸島	26,329	176	56	24,767	151	54	-1,562	-6%
粕屋	5,071	194	59	4,847	171	58	-224	-4%
宗像	2,810	188	58	2,682	173	58	-128	-5%
筑紫	5,837	141	50	5,459	126	49	-378	-6%
朝倉	1,716	188	58	1,420	169	57	-296	-17%
久留米	11,336	243	68	10,161	223	67	-1,175	-10%
八女・筑後	2,803	198	60	2,463	185	60	-340	-12%
有明	7,012	282	75	6,405	287	79	-607	-9%
飯塚	4,731	244	68	4,219	233	69	-512	-11%
直方・鞍手	2,357	204	61	2,104	193	62	-253	-11%
田川	3,783	269	73	3,393	269	76	-390	-10%
北九州	23,901	210	62	22,289	203	64	-1,612	-7%
京築	3,353	175	56	2,737	148	53	-616	-18%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 40-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
福岡県	51,820	103	57	49,703	97	58	-2,117	-4%
福岡・糸島	15,066	100	56	14,951	91	55	-115	-1%
粕屋	2,010	77	48	2,389	84	53	379	19%
宗像	974	65	43	978	63	45	4	0%
筑紫	2,771	67	44	2,586	60	43	-185	-7%
朝倉	829	91	52	707	84	53	-122	-15%
久留米	6,492	139	70	5,607	123	68	-885	-14%
八女・筑後	1,427	101	56	1,157	87	54	-270	-19%
有明	3,523	141	70	3,365	151	78	-158	-4%
飯塚	2,941	152	74	2,712	150	78	-229	-8%
直方・鞍手	874	76	47	772	71	48	-102	-12%
田川	1,334	95	54	1,212	96	57	-122	-9%
北九州	12,465	110	59	12,331	112	64	-134	-1%
京築	1,114	58	41	936	51	40	-178	-16%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 40-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

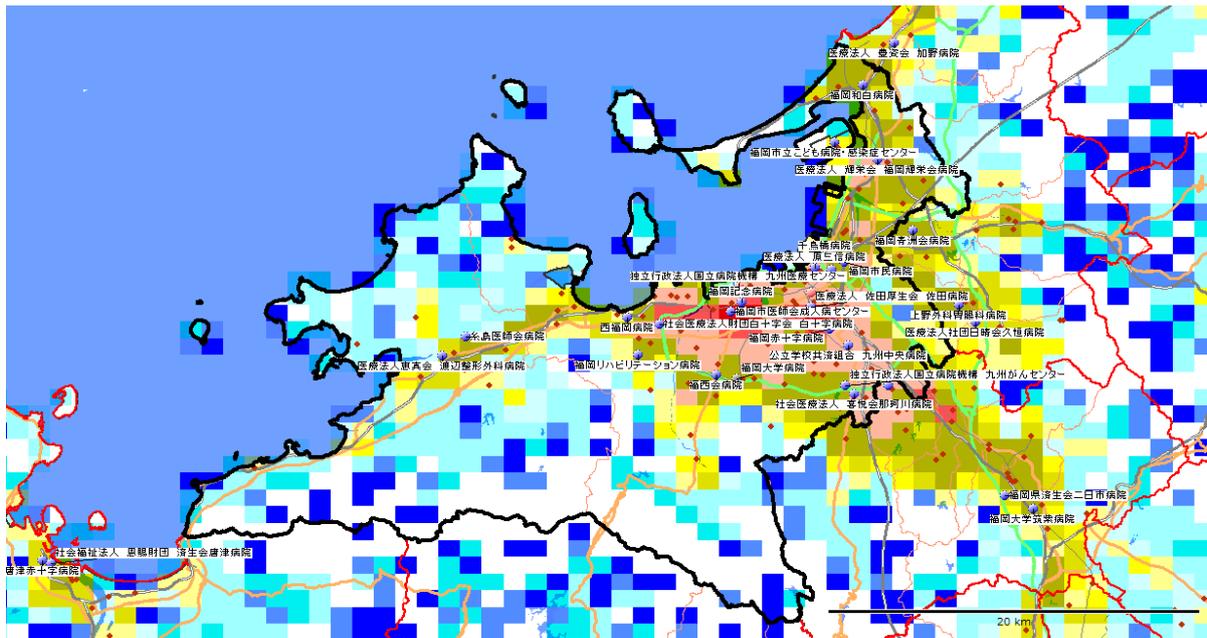
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
福岡県	26,543	57	64	21,833	34	62	-4,710	-18%
福岡・糸島	6,526	64	68	5,335	34	62	-1,191	-18%
粕屋	1,914	103	90	1,384	51	77	-530	-28%
宗像	868	60	66	736	37	64	-132	-15%
筑紫	1,755	67	70	1,558	37	65	-197	-11%
朝倉	529	46	58	373	28	57	-156	-29%
久留米	2,644	60	66	2,491	42	69	-153	-6%
八女・筑後	912	53	62	840	40	67	-72	-8%
有明	1,667	50	60	1,352	34	62	-315	-19%
飯塚	770	33	50	646	23	52	-124	-16%
直方・鞍手	640	43	56	539	29	58	-101	-16%
田川	440	23	45	414	19	48	-26	-6%
北九州	6,581	57	64	5,264	33	61	-1,317	-20%
京築	1,297	60	66	901	33	61	-396	-31%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 40-1. ふくおか いとじま 福岡・糸島医療圏

構成市区町村 [東区](#) [博多区](#) [中央区](#) [南区](#)  
[西区](#) [城南区](#) [早良区](#) [糸島市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (福岡・糸島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 福岡・糸島(福岡市東区)は、総人口約1,635千人(2015年)、面積559km<sup>2</sup>、人口密度は2,925人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 福岡・糸島の総人口は2025年に1,736千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年に1,756千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の157千人が、2025年にかけて241千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には296千人へと増加する(2025年比+23%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 福岡・糸島の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値45)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費はやや低い、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 福岡・糸島の一人当たり急性期医療密度指数は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は1.82で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が63(病院医師数62、診療所医師数62)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は111と非常に多い。福岡・糸島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の九州中央病院(Ⅲ群)、浜の町病院(Ⅲ群)、原三信病院(Ⅲ群)、福岡市立こども病院(Ⅲ群)、NHO九州医療センター(Ⅱ群・救命)、福岡赤十字病院(Ⅱ群)、福岡県済生会福岡総合病院(Ⅱ群・救命)、九州大学病院(Ⅰ群・救命)、福岡大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のNHO九州がんセンター(Ⅲ群)、福岡記念病院(Ⅲ群)、福岡和白病院(Ⅱ群)、500例以上の白十字病院(Ⅲ群)、福岡リハビリテーション病院(Ⅲ群)、福西会病院(Ⅲ群)、佐田病院(Ⅲ群)、福岡市民病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 福岡・糸島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,263人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,635床(偏差値50)、高齢者住宅等が9,628床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,000人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。  
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム61、軽費ホーム47、グループホーム53、サ高住58である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2,756人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (福岡・糸島医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

福岡・糸島医療圏の総人口は、2005年1,499,253人が、2015年に1,635,156人と9%増加し、2025年の人口が1,736,389人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて16%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

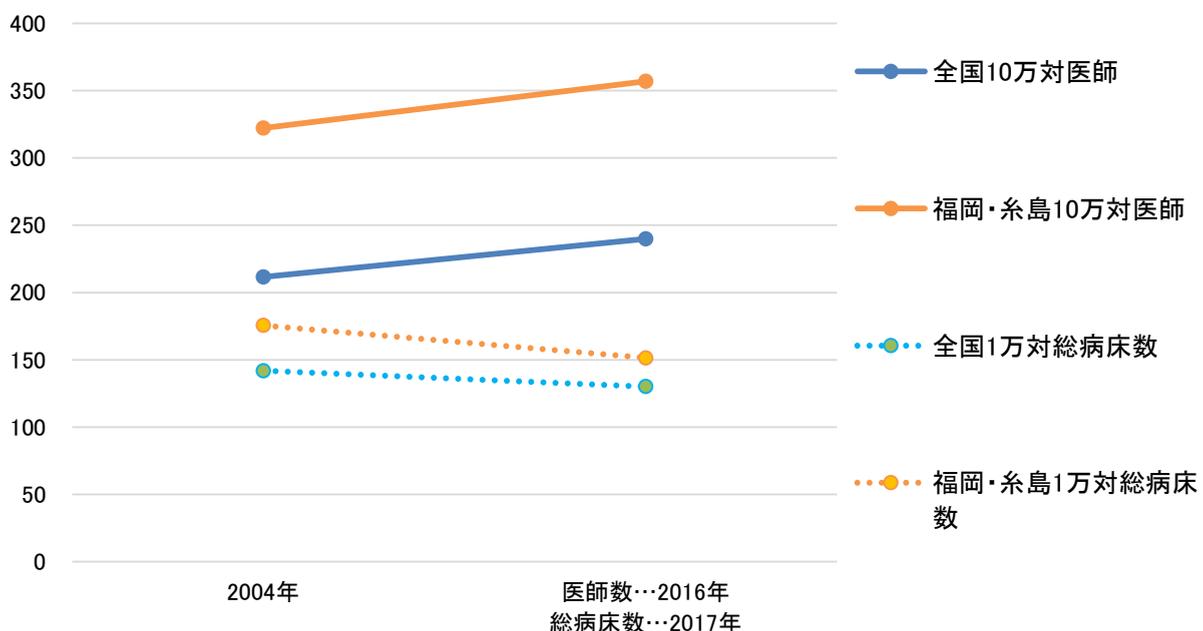
2004年の病院数が131(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2017年に124(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が1,372(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2017年に1,638(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値61)と、266診療所が増加した。

2004年の総病床数が26,329床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に24,767床(人口1万人当たり151(全国平均130)偏差値54)と、1,562床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

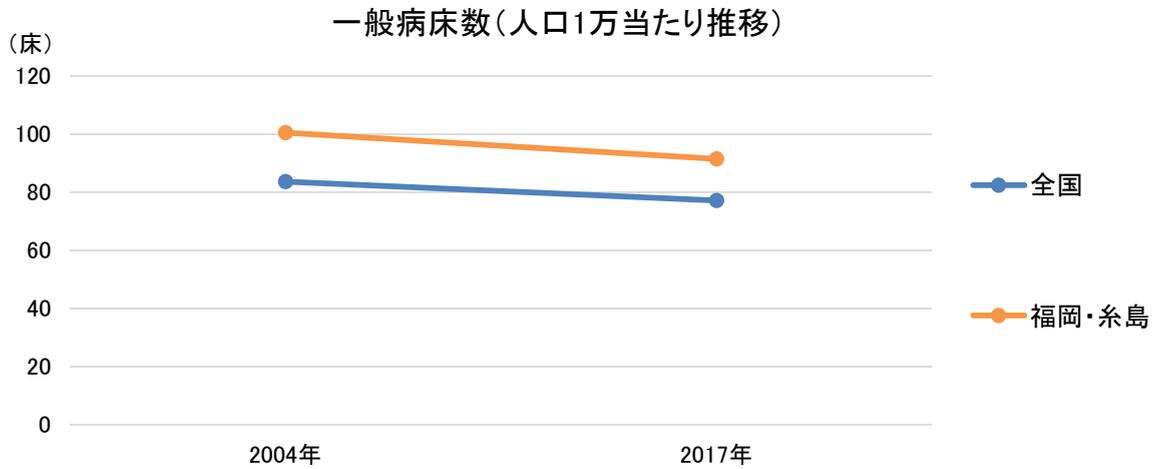
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,830人(人口10万人当たり322人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2016年に5,835人(人口10万人当たり357人(全国平均240人)偏差値63)と、1,005人の増加、率にして21%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



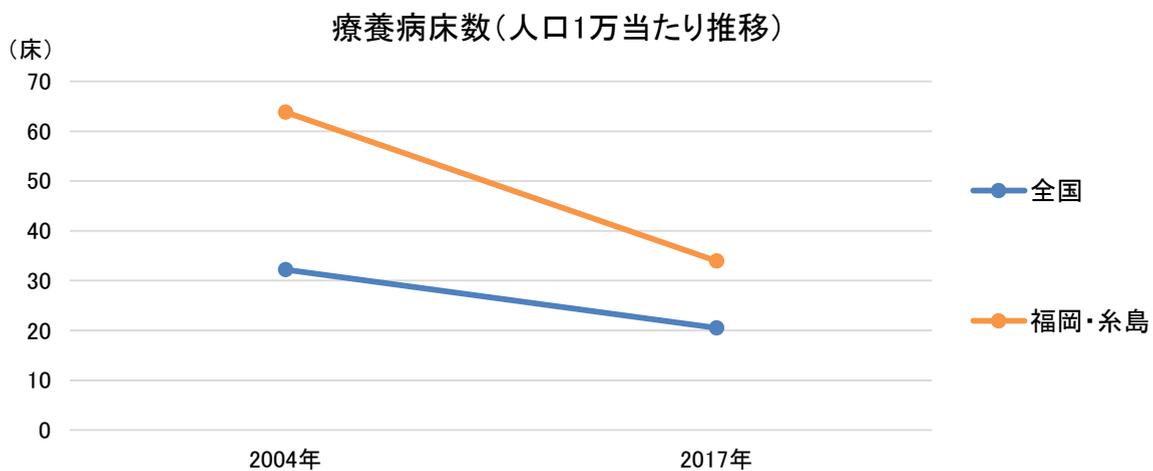
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15,066床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2017年に14,951床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、115床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



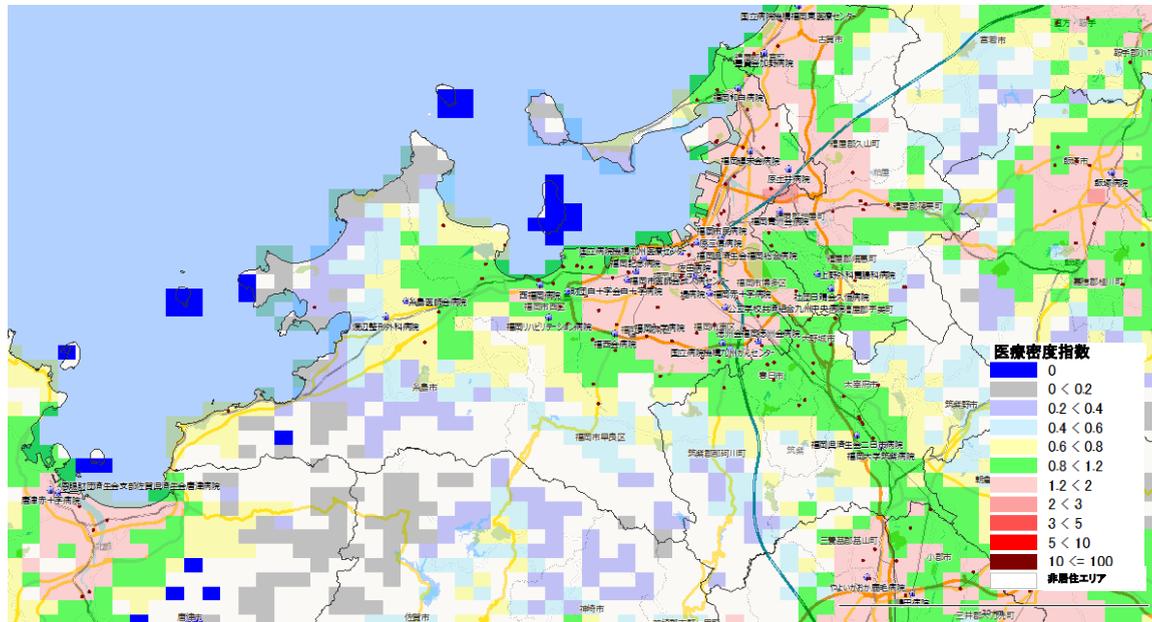
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6,526床(75歳以上1,000人当たり64(全国平均32)偏差値68)であったが、2017年に5,335床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均20)偏差値62)と、1191床の減少、率にして18%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



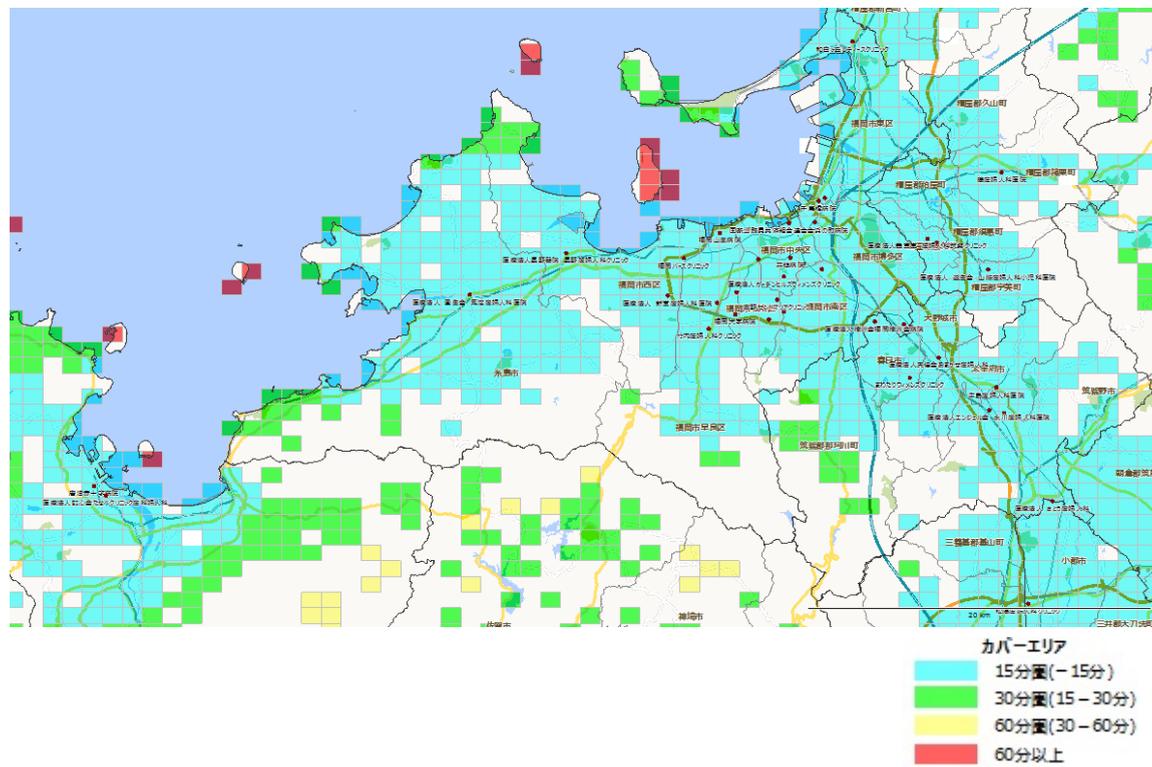
(福岡・糸島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

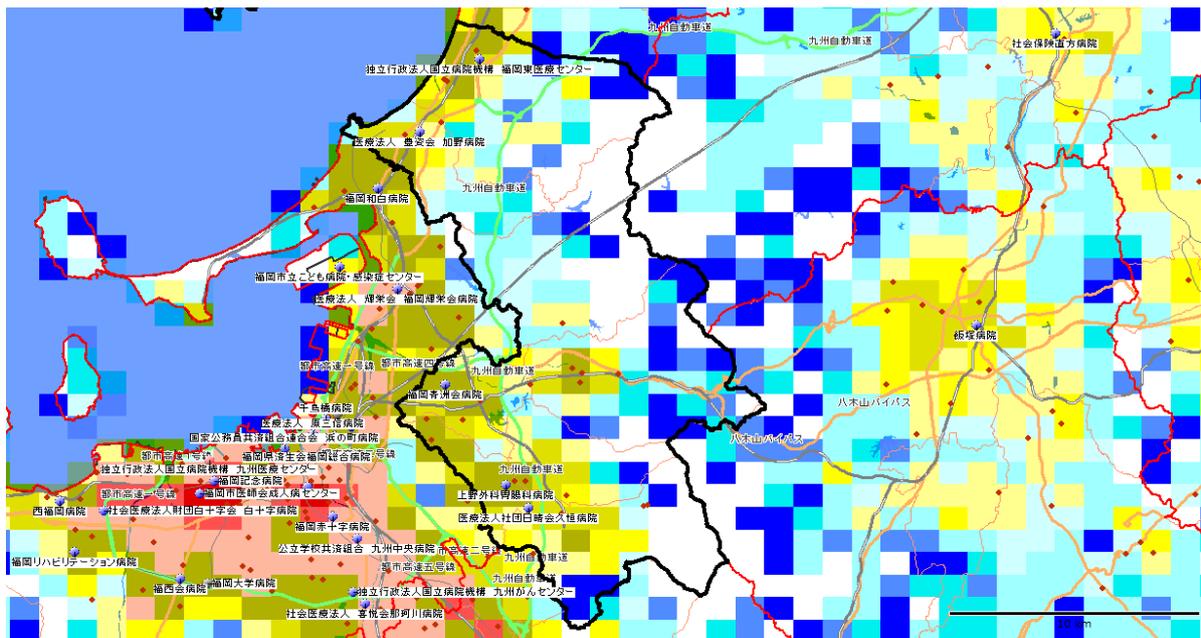


# 40-2. かすや 粕屋医療圏

構成市区町村 [古賀市](#) [宇美町](#) [篠栗町](#) [志免町](#)  
[須恵町](#) [新宮町](#) [久山町](#) [粕屋町](#)

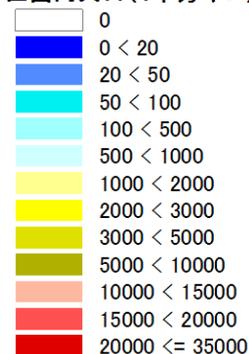
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (粕屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 粕屋(古賀市)は、総人口約284千人(2015年)、面積207km<sup>2</sup>、人口密度は1,372人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 粕屋の総人口は2025年に292千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に286千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には46千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 粕屋の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値54)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 粕屋の一人当たり急性期医療密度指数は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。粕屋には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0福岡東医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の福岡青洲会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 粕屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,099人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,919床(偏差値58)、高齢者住宅等が1,180床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,947人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設95、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム50、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、248人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (粕屋医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

粕屋医療圏の総人口は、2005年261,212人が、2015年に283,544人と9%増加し、2025年の人口が292,367人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

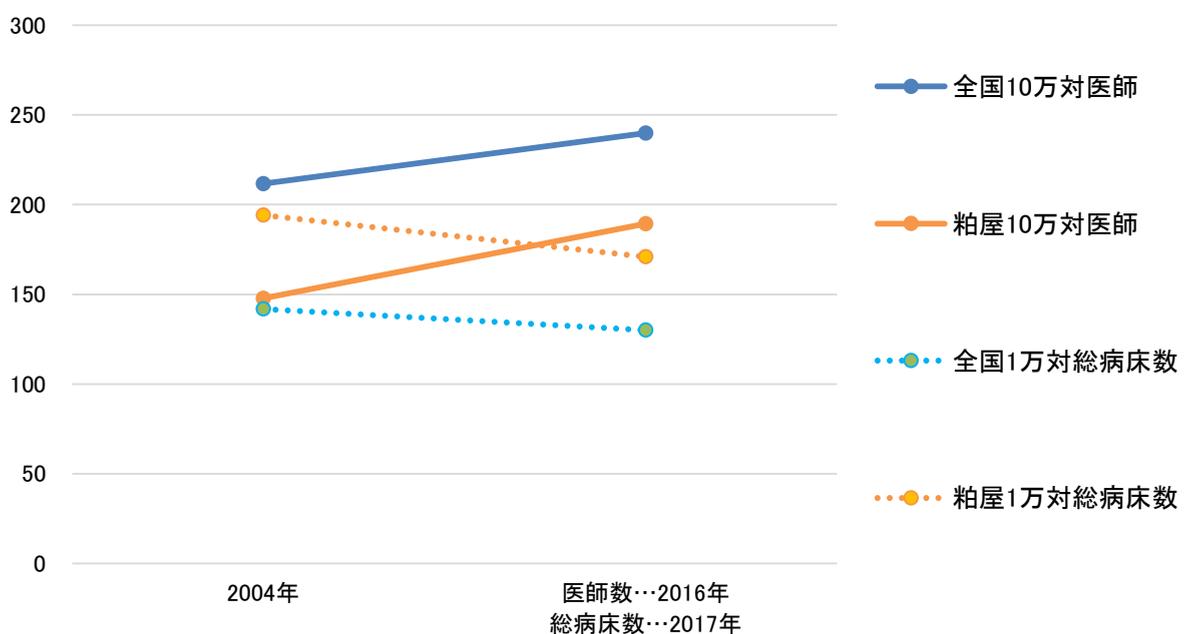
2004年の病院数が26(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2017年に26(人口10万人当たり9.2病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が135(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2017年に170(人口10万人当たり60診療所(全国平均80)偏差値39)と、35診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,071床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2017年に4,847床(人口1万人当たり171(全国平均130)偏差値58)と、224床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

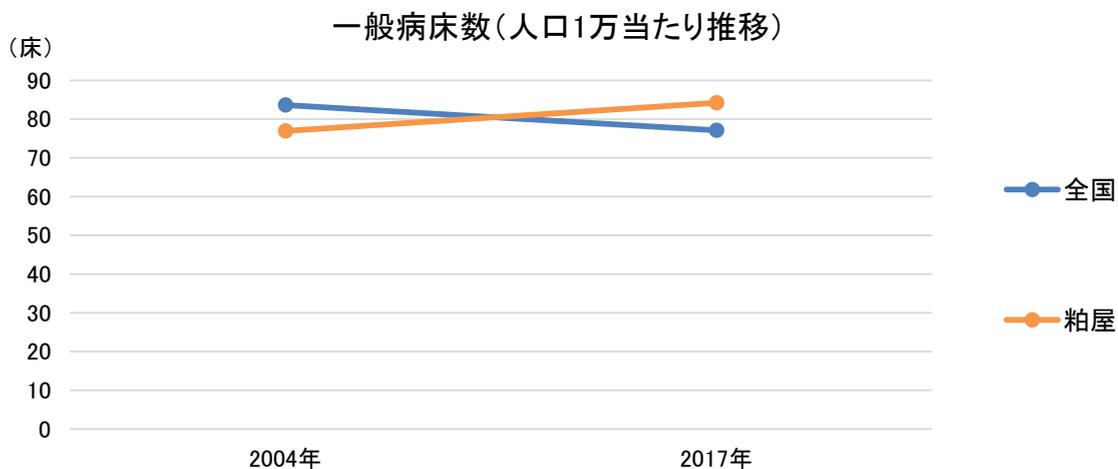
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が386人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に537人(人口10万人当たり189人(全国平均240人)偏差値44)と、151人の増加、率にして39%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



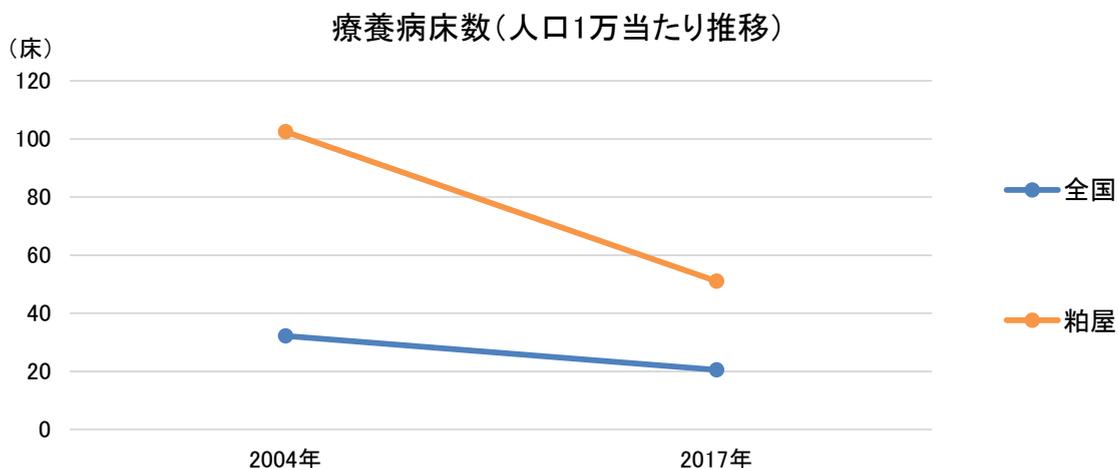
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,010床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2017年に2,389床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、379床の増加、率にして19%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



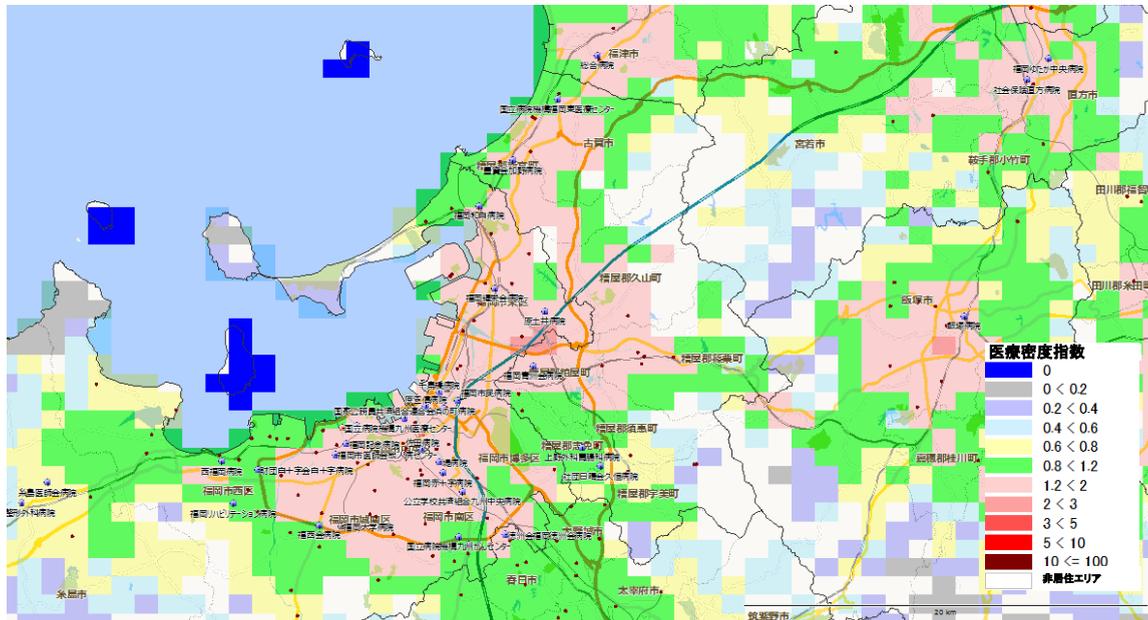
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,914床(75歳以上1,000人当たり103(全国平均32)偏差値90)であったが、2017年に1,384床(75歳以上1,000人当たり51(全国平均20)偏差値77)と、530床の減少、率にして28%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



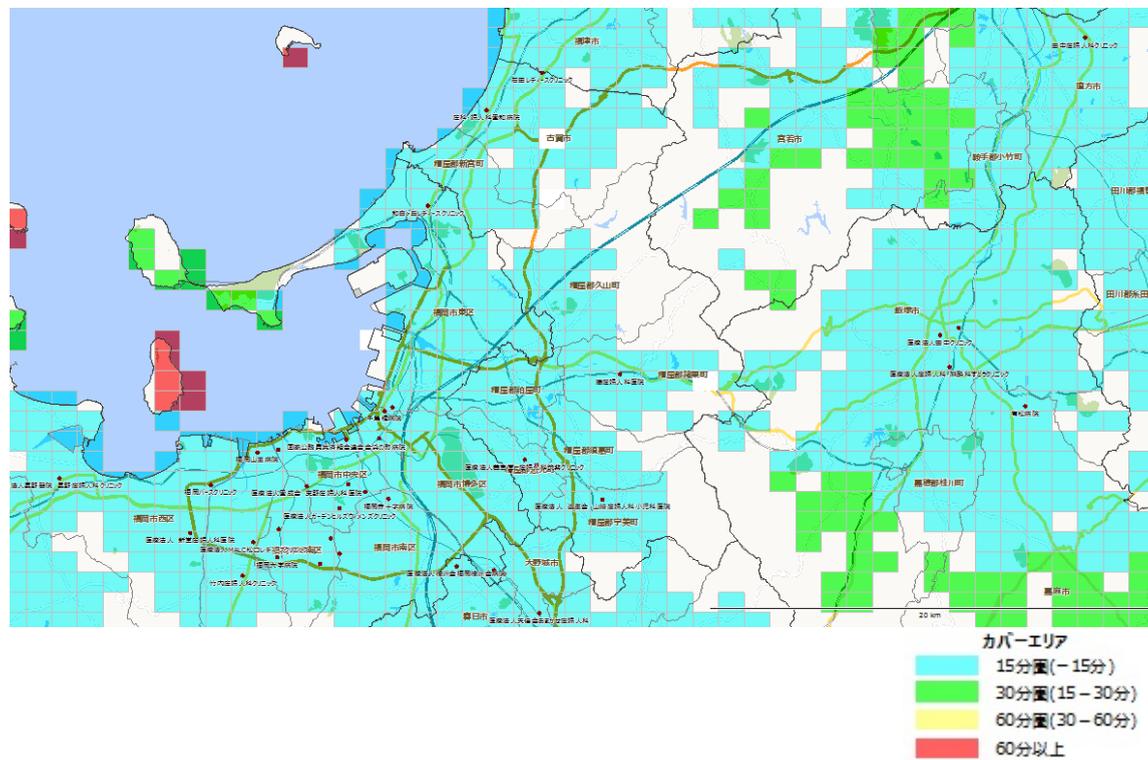
(粕屋医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

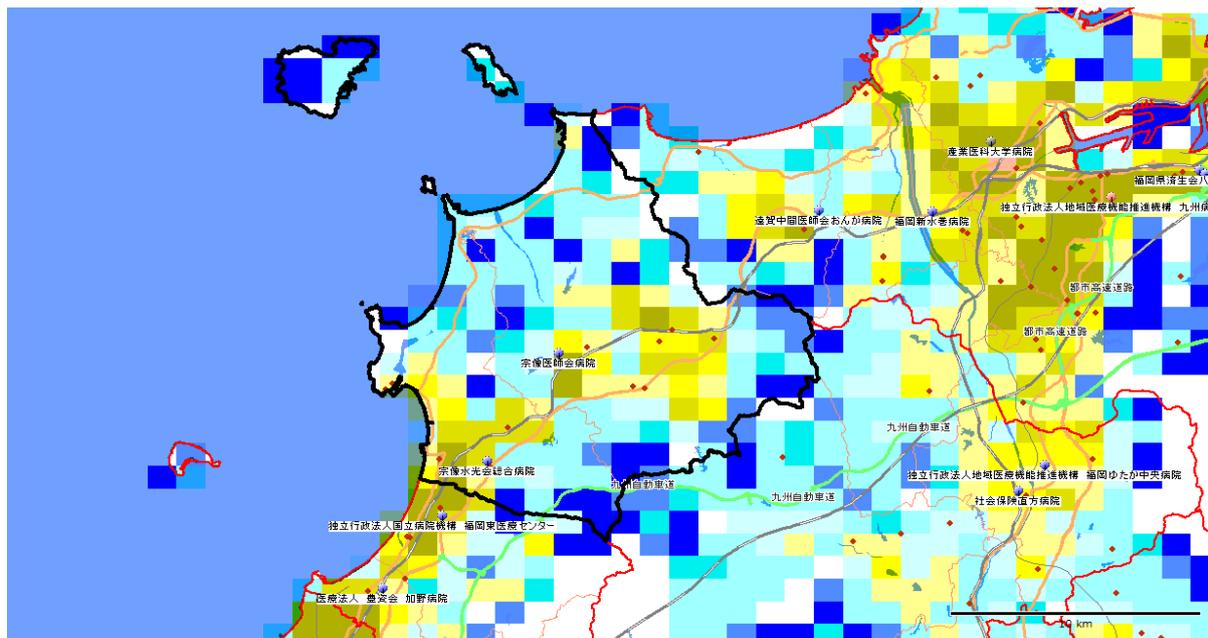


# 40-3. むなかた 宗像医療圏

構成市区町村 [宗像市](#) [福津市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



## (宗像医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宗像(宗像市)は、総人口約155千人(2015年)、面積173km<sup>2</sup>、人口密度は899人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宗像の総人口は2025年に161千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に151千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には31千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宗像の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値58)、介護給付費は225千円(偏差値42)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宗像の一人当たり急性期医療密度指数は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数40、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。宗像には、年間全身麻酔件数が500例以上の宗像水光会総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宗像の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,977人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,205床(偏差値49)、高齢者住宅等が772床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,480人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム45、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、206人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (宗像医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

宗像医療圏の総人口は、2005年149,825人が、2015年に155,297人と4%増加し、2025年の人口が161,232人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

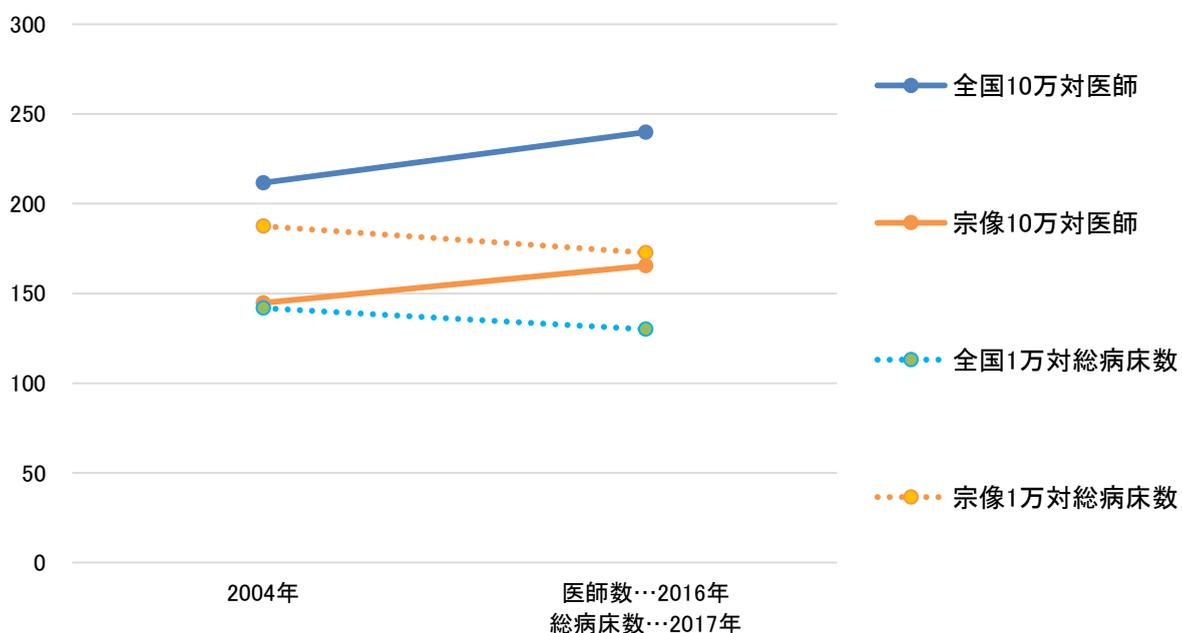
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2017年に14(人口10万人当たり9病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2017年に117(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値48)と、23診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,810床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に2,682床(人口1万人当たり173(全国平均130)偏差値58)と、128床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

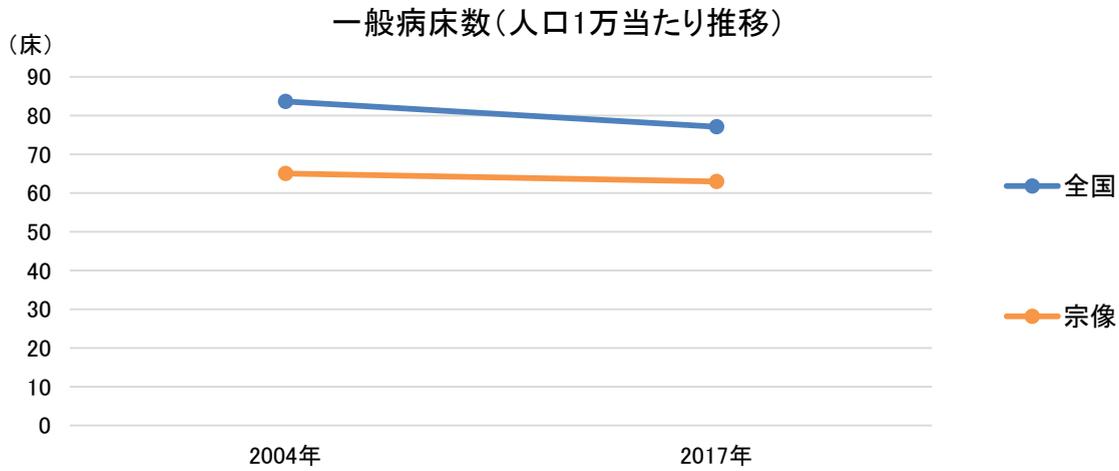
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が217人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に257人(人口10万人当たり165人(全国平均240人)偏差値42)と、40人の増加、率にして18%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



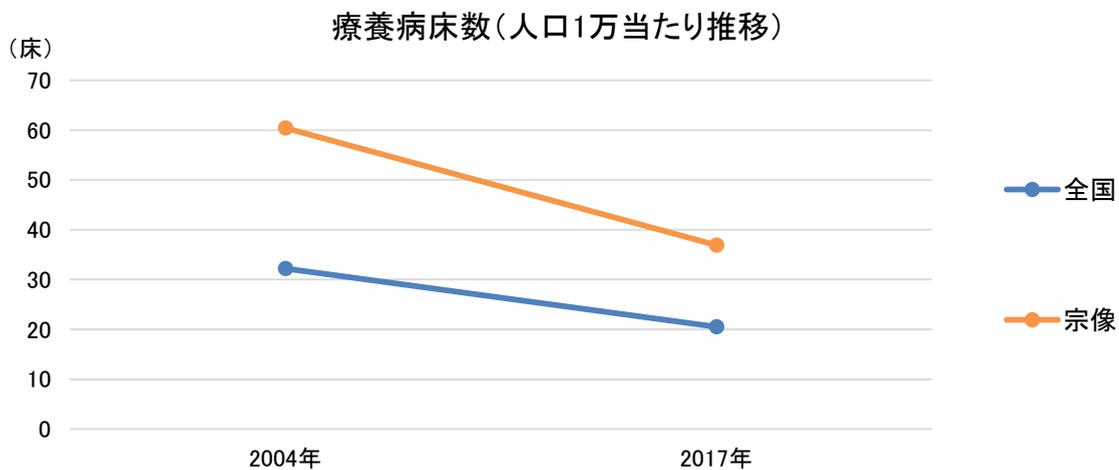
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が974床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に978床(人口1万人当たり63(全国平均77)偏差値45)と、4床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



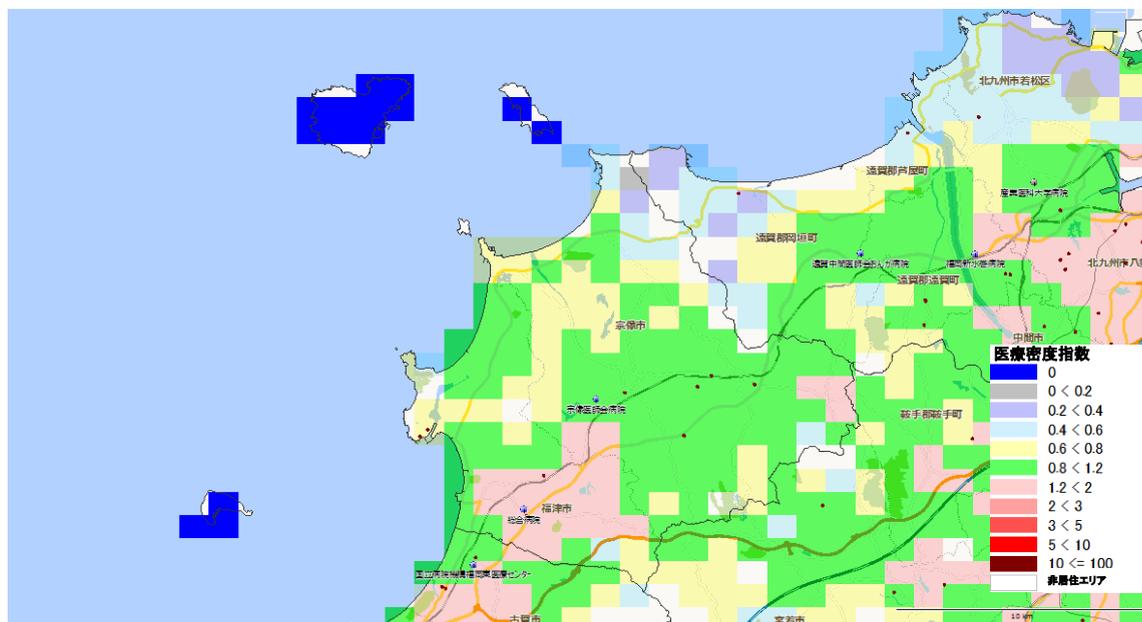
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が868床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2017年に736床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値64)と、132床の減少、率にして15%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



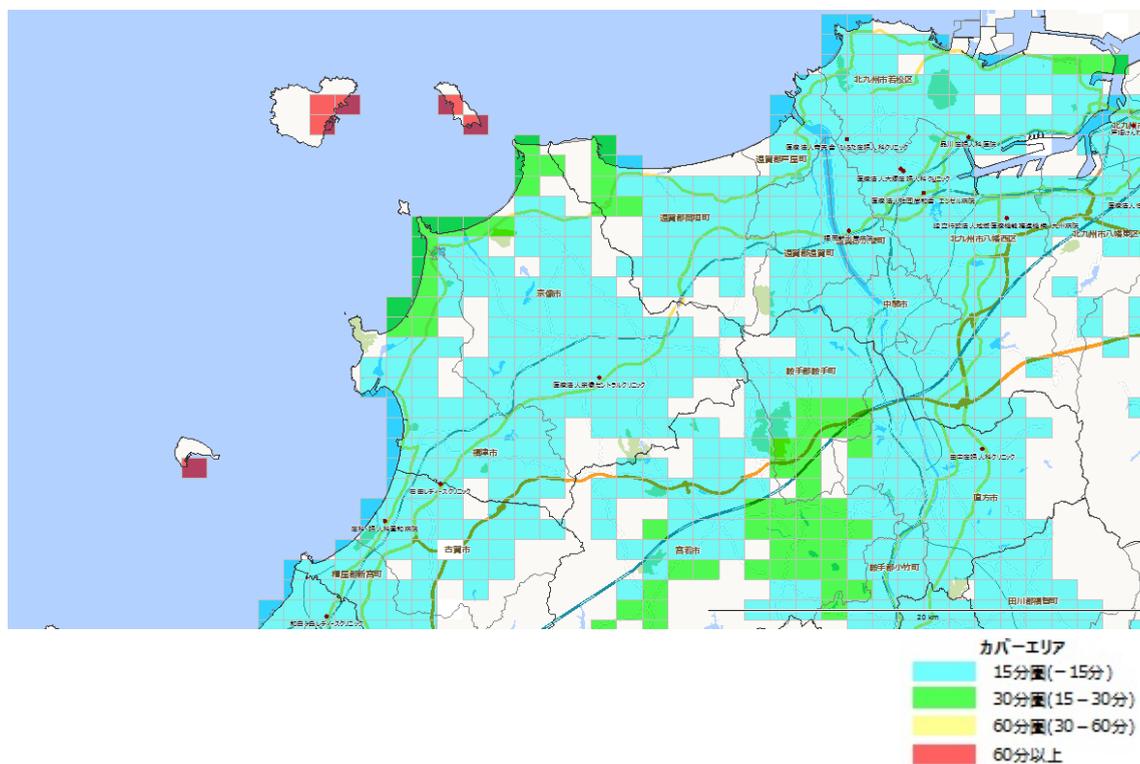
(宗像医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）

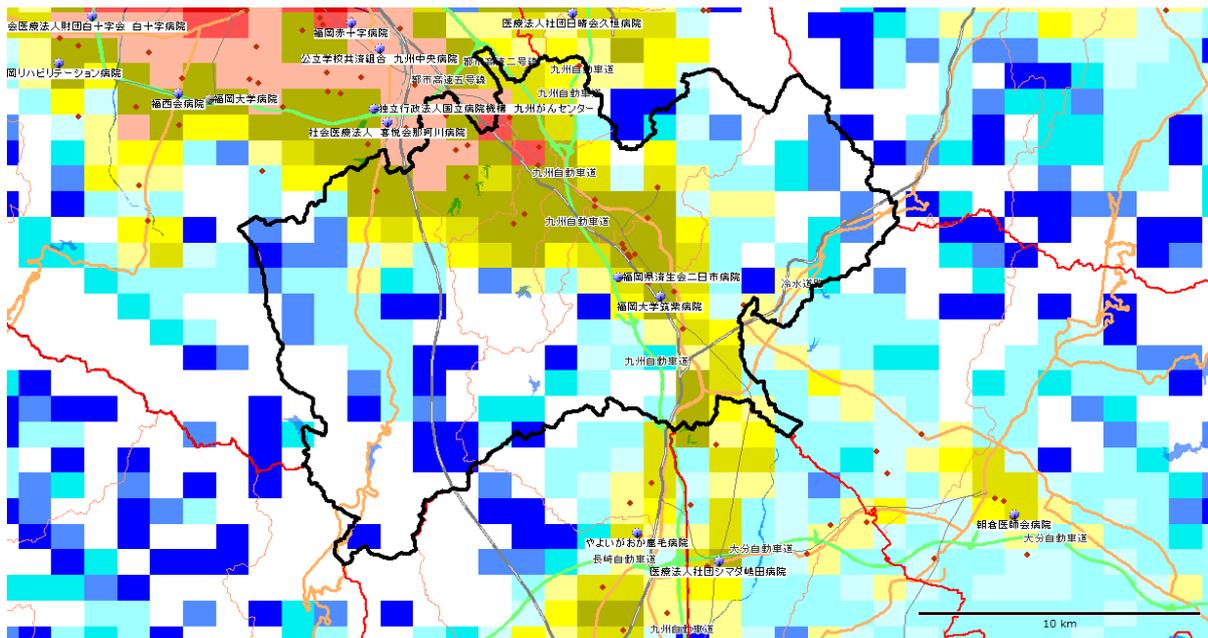


# 40-4. ちくし 筑紫医療圏

構成市区町村 [筑紫野市](#) [春日市](#) [大野城市](#) [太宰府市](#)  
[那珂川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口 (1平方キロ)



### DPG病院



## (筑紫医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 筑紫(筑紫野市)は、総人口約434千人(2015年)、面積233km<sup>2</sup>、人口密度は1,858人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 筑紫の総人口は2025年に443千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に432千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の42千人が、2025年にかけて65千人へと増加し(2015年比+55%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 筑紫の一人当たり医療費(国保)は341千円(偏差値49)、介護給付費は214千円(偏差値39)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 筑紫の一人当たり急性期医療密度指数は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数は1.99で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。筑紫には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡徳洲会病院(Ⅲ群)、1000例以上の福岡大学筑紫病院(Ⅲ群)、500例以上の福岡県済生会二日市病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 筑紫の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,197人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,065床(偏差値41)、高齢者住宅等が2,132床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,890人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設35、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム58、軽費ホーム49、グループホーム48、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、457人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-43%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (筑紫医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

筑紫医療圏の総人口は、2005年412,780人が、2015年に433,521人と5%増加し、2025年の人口が442,513人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて14%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

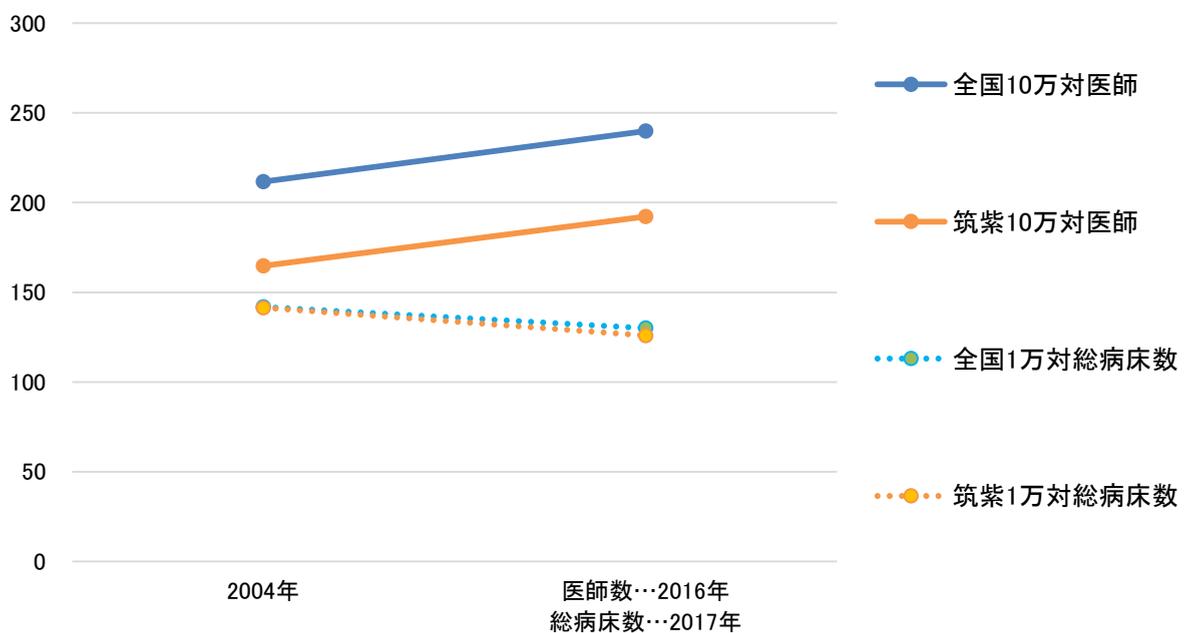
2004年の病院数が28(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2017年に27(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が248(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2017年に292(人口10万人当たり67診療所(全国平均80)偏差値43)と、44診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,837床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2017年に5,459床(人口1万人当たり126(全国平均130)偏差値49)と、378床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

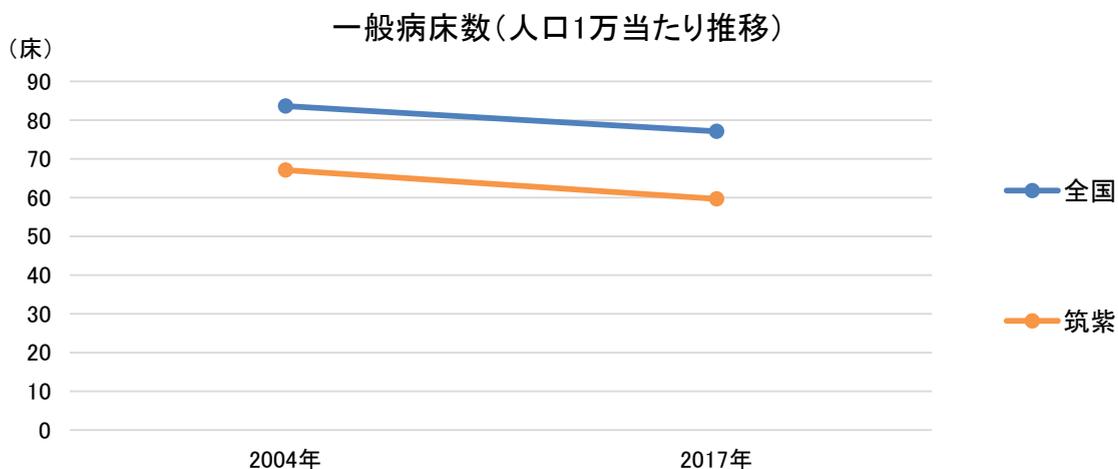
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が680人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に833人(人口10万人当たり192人(全国平均240人)偏差値45)と、153人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



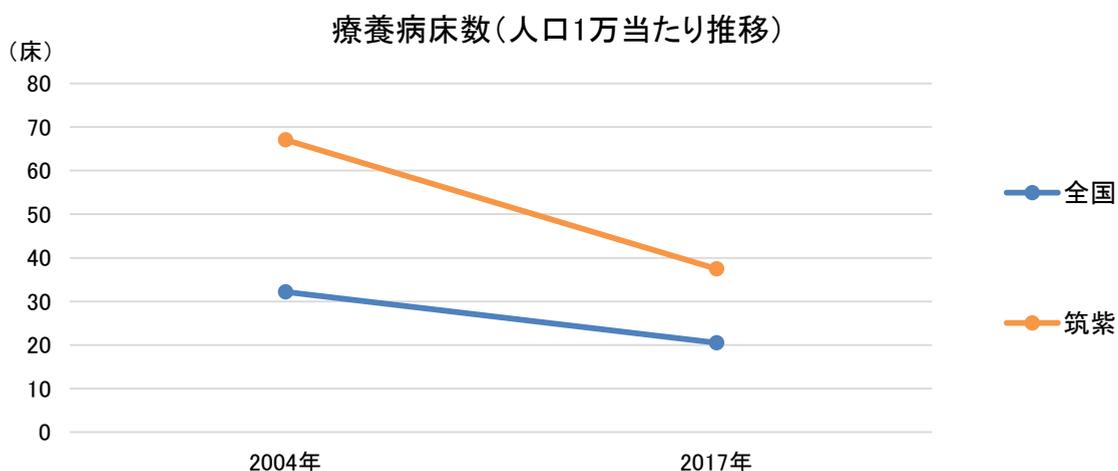
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,771床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に2,586床(人口1万人当たり60(全国平均77)偏差値43)と、185床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



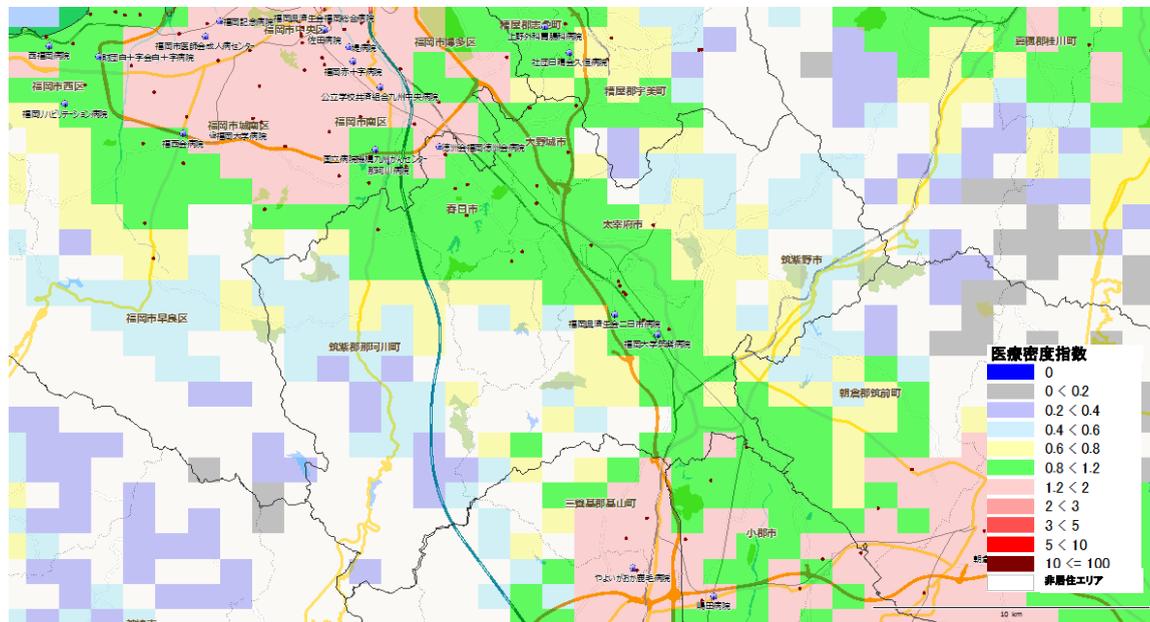
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,755床(75歳以上1,000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2017年に1,558床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、197床の減少、率にして11%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



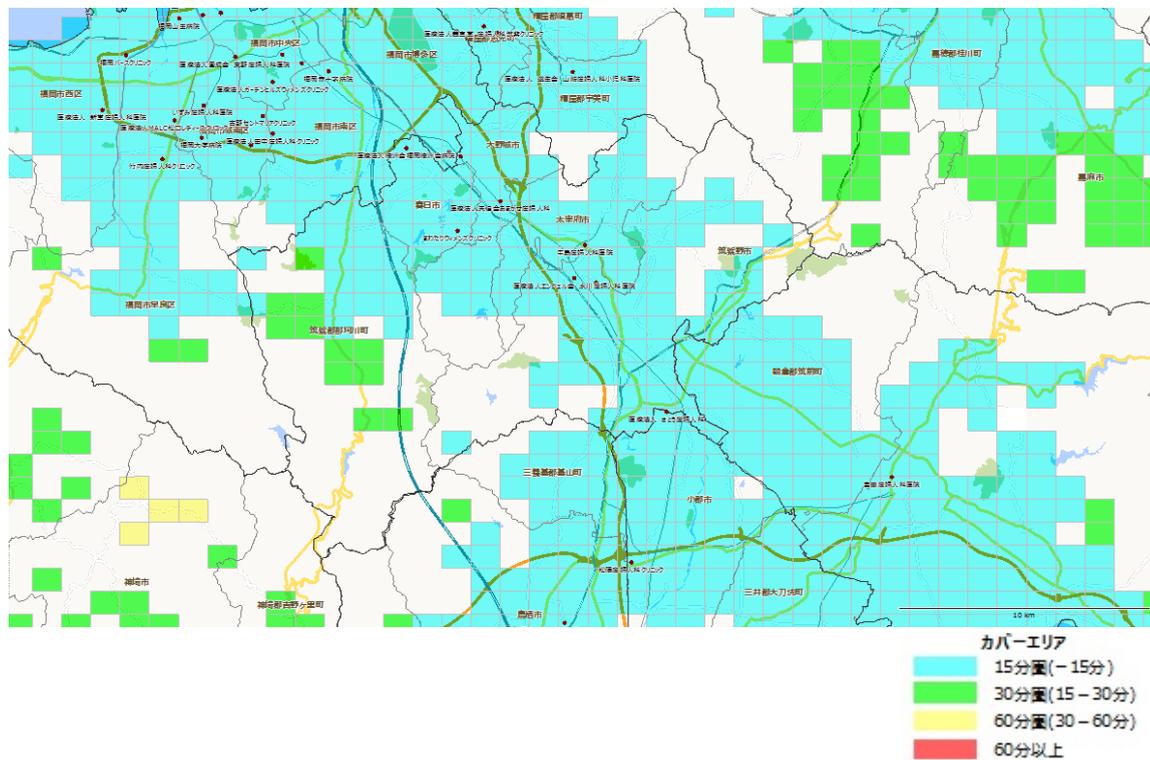
(筑紫医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

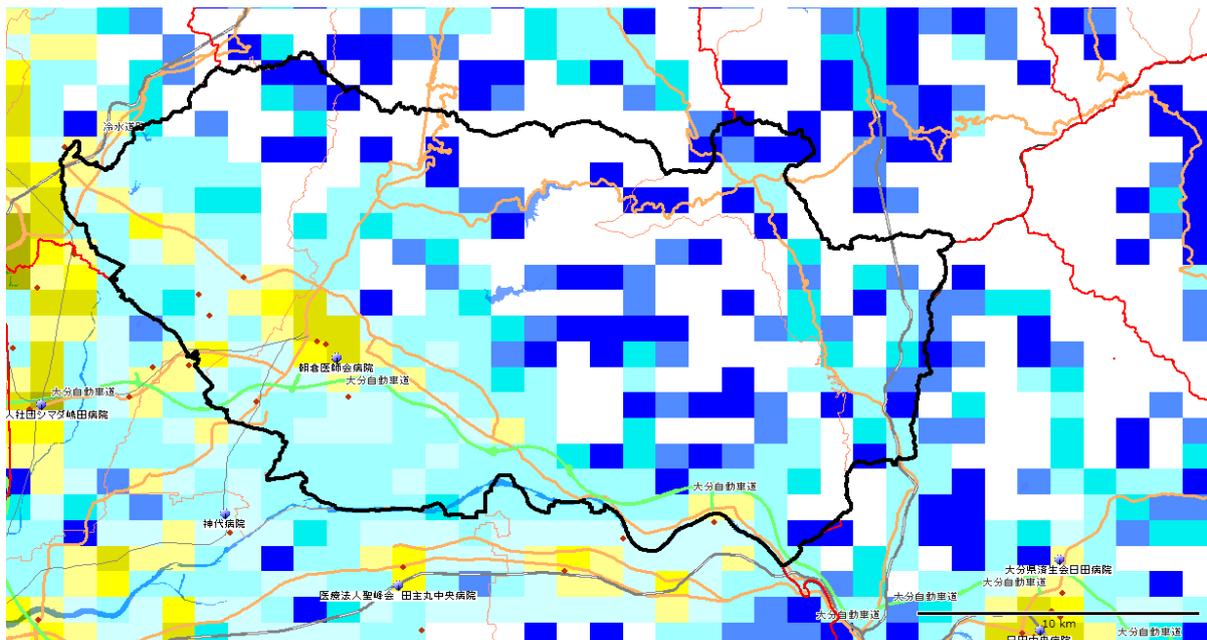


# 40-5. あさくら 朝倉医療圏

構成市区町村 [朝倉市](#) [筑前町](#) [東峰村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



## (朝倉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 朝倉(朝倉市)は、総人口約84千人(2015年)、面積366km<sup>2</sup>、人口密度は229人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 朝倉の総人口は2025年に76千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に62千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には17千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 朝倉の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値58)、介護給付費は259千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 朝倉の一人当たり急性期医療密度指数は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数は2.11で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。朝倉には、年間全身麻酔件数が500例以上の朝倉医師会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 朝倉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,546人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,208床(偏差値74)、高齢者住宅等が338床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,235人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設82、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値80と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、60人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(朝倉医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

朝倉医療圏の総人口は、2005年91,487人が、2015年に83,924人と8%減少し、2025年の人口が75,598人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

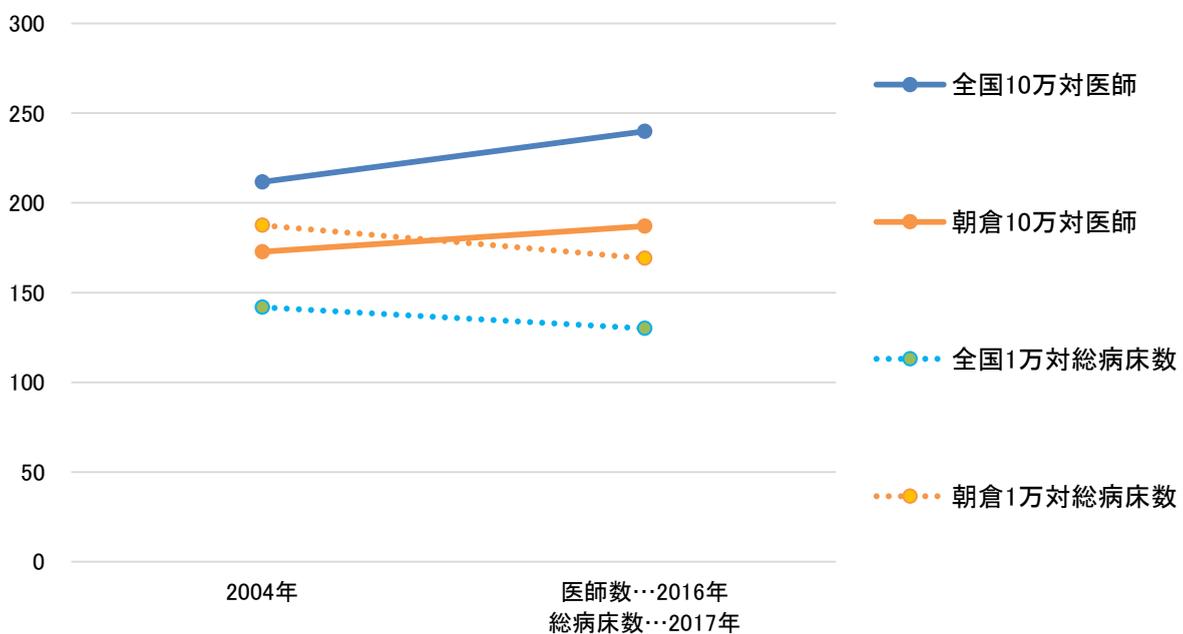
2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2017年に8(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が75(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に74(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,716床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に1,420床(人口1万人当たり169(全国平均130)偏差値57)と、296床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

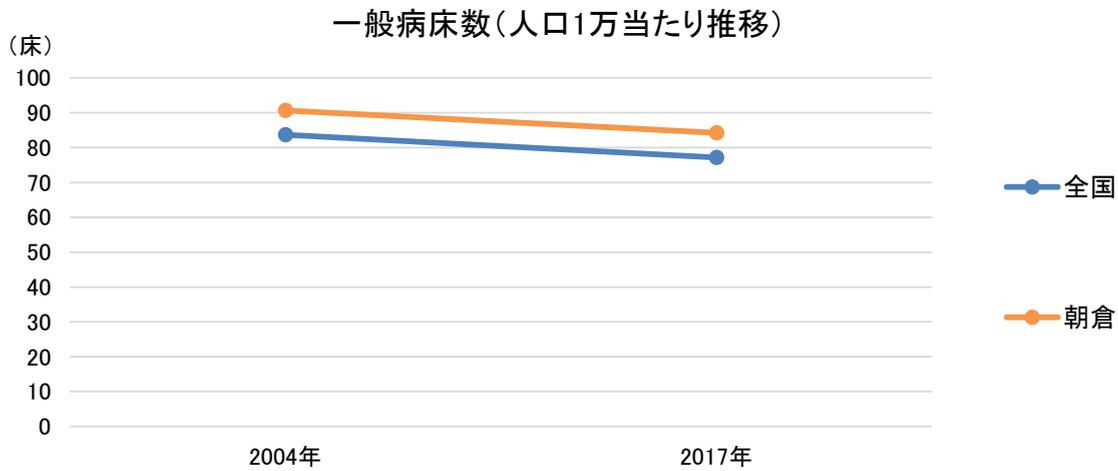
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が158人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に157人(人口10万人当たり187人(全国平均240人)偏差値44)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



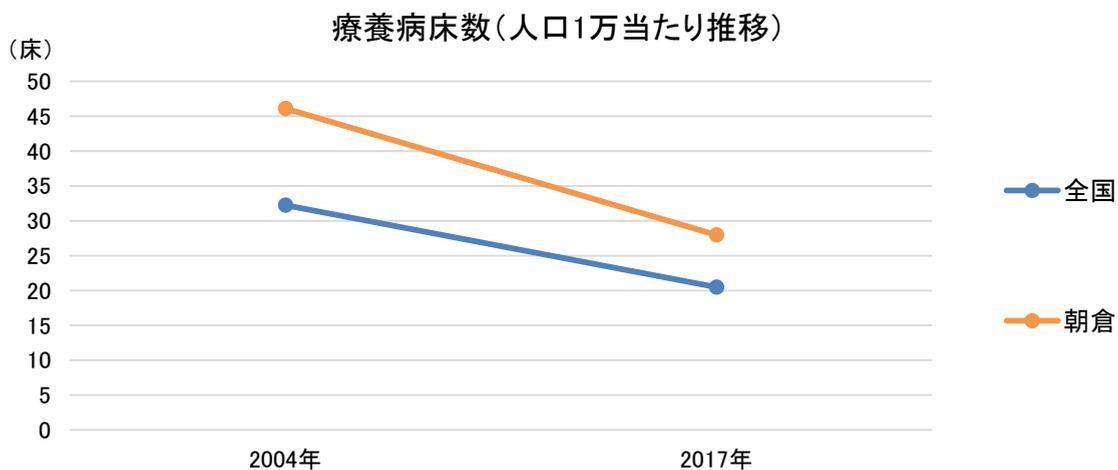
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が829床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に707床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、122床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



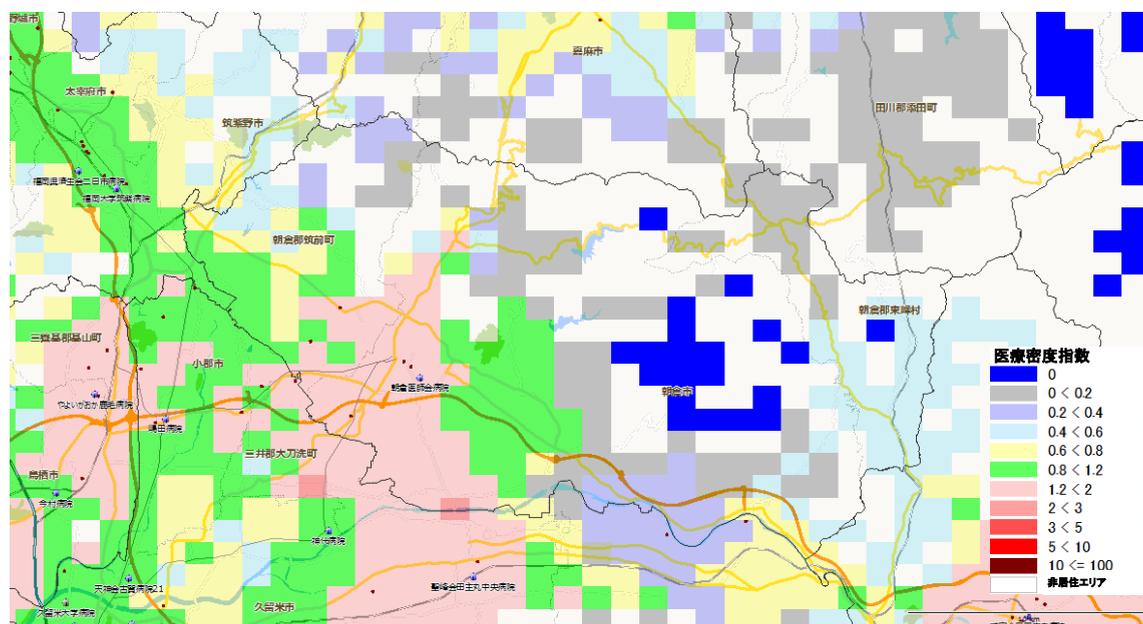
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が529床(75歳以上1,000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2017年に373床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均20)偏差値57)と、156床の減少、率にして29%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



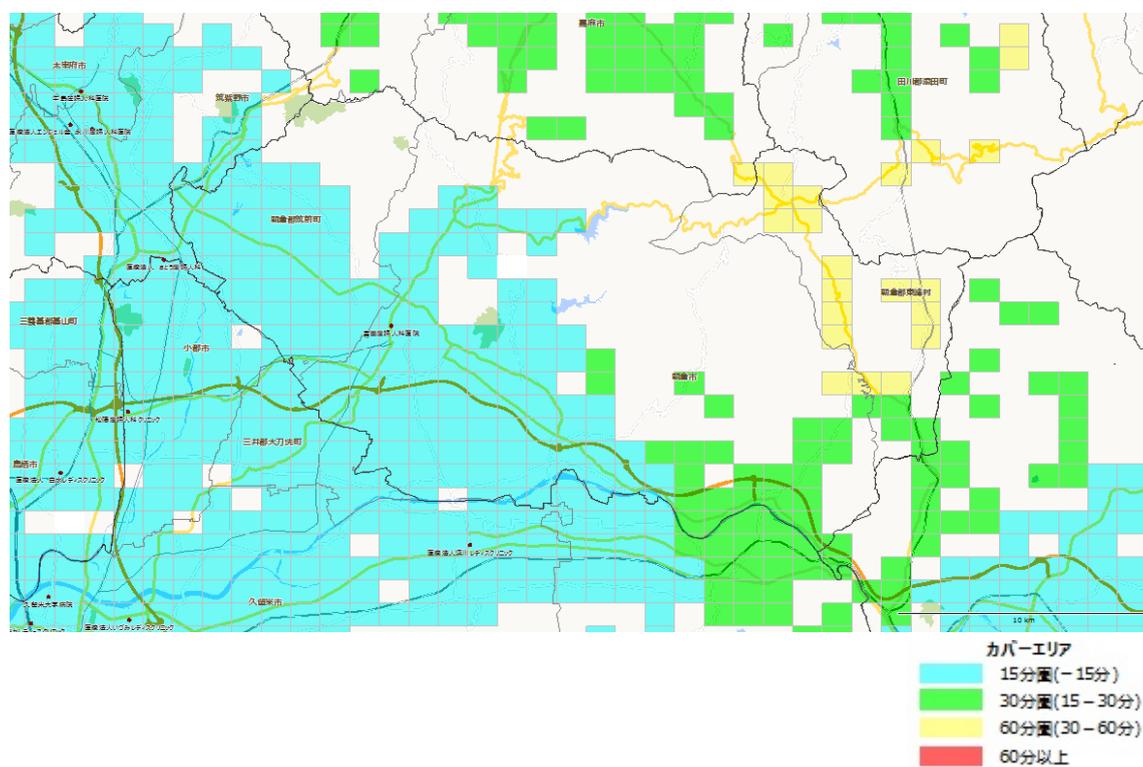
(朝倉医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

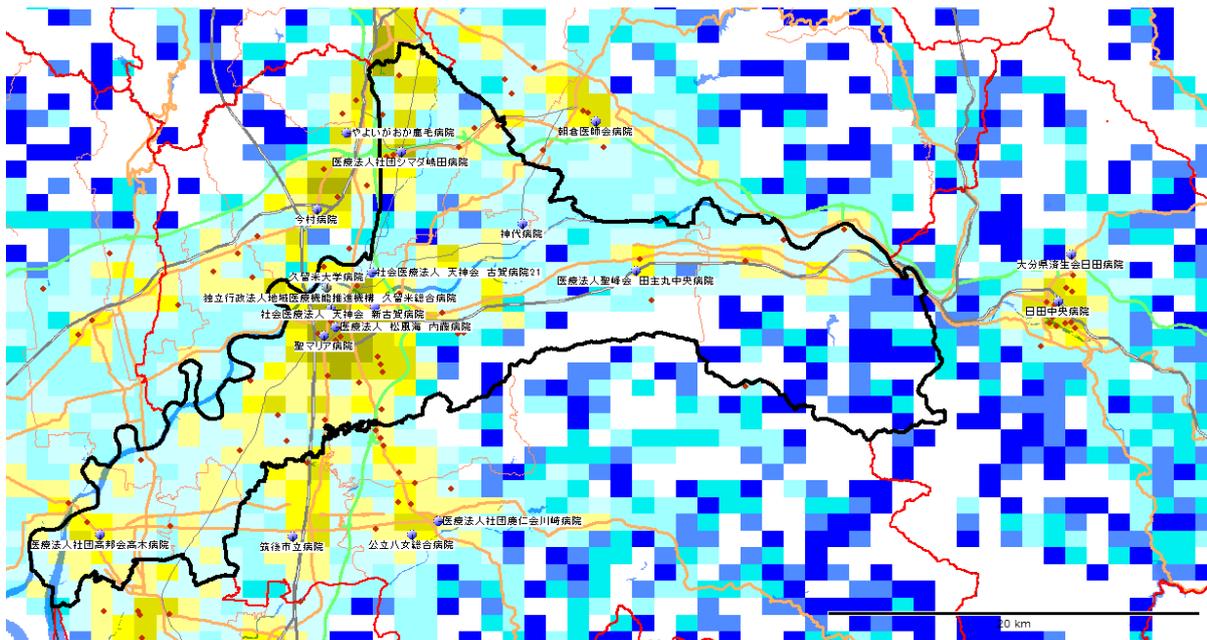


# 40-6. く る め 久留米医療圏

構成市区町村 [久留米市](#) [大川市](#) [小郡市](#) [うきは市](#)  
[大刀洗町](#) [大木町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (久留米医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 久留米(久留米市)は、総人口約456千人(2015年)、面積468km<sup>2</sup>、人口密度は975人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 久留米の総人口は2025年に442千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に405千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の60千人が、2025年にかけて78千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には84千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 久留米の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値57)、介護給付費は259千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 久留米の一人当たり急性期医療密度指数は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が74(病院医師数76、診療所医師数62)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。久留米には、年間全身麻酔件数が2000例以上の聖マリア病院(Ⅲ群・救命)、久留米大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の古賀病院21(Ⅲ群)、JCHO久留米総合病院(Ⅲ群)、新古賀病院(Ⅱ群)、500例以上の高木病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 久留米の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,102人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,377床(偏差値46)、高齢者住宅等が2,725床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,328人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム45、軽費ホーム48、グループホーム67、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値69と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、609人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (久留米医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

久留米医療圏の総人口は、2005年465,712人が、2015年に456,196人と2%減少し、2025年の人口が441,706人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

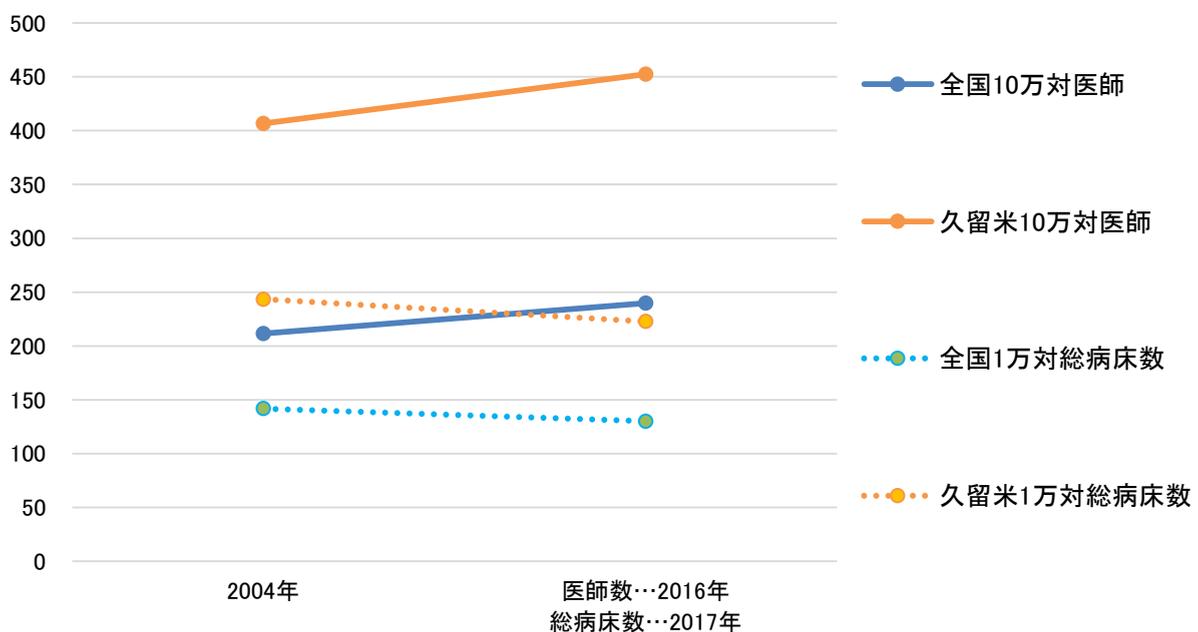
2004年の病院数が49(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に49(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が433(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2017年に456(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値61)と、23診療所が増加した。

2004年の総病床数が11,336床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2017年に10,161床(人口1万人当たり223(全国平均130)偏差値67)と、1,175床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

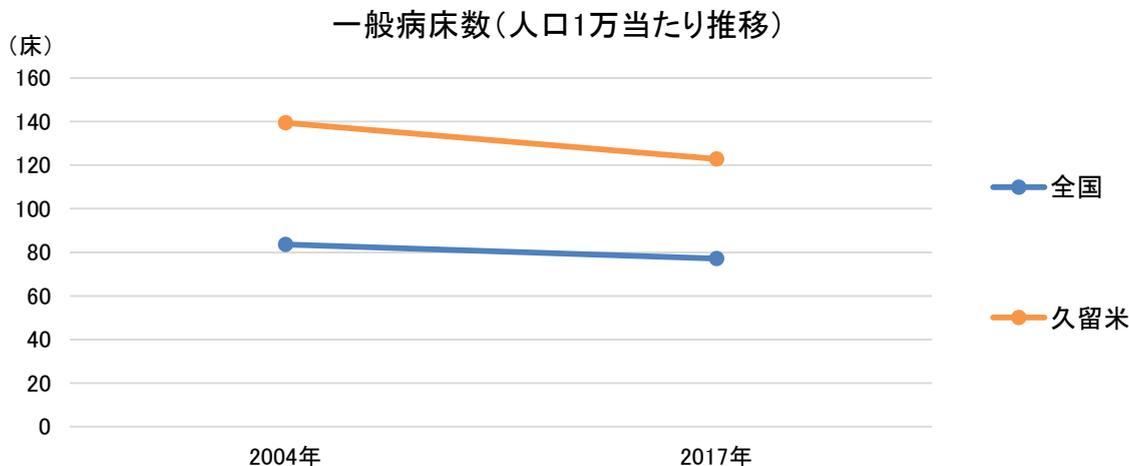
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,894人(人口10万人当たり407人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2016年に2,064人(人口10万人当たり452人(全国平均240人)偏差値74)と、170人の増加、率にして9%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



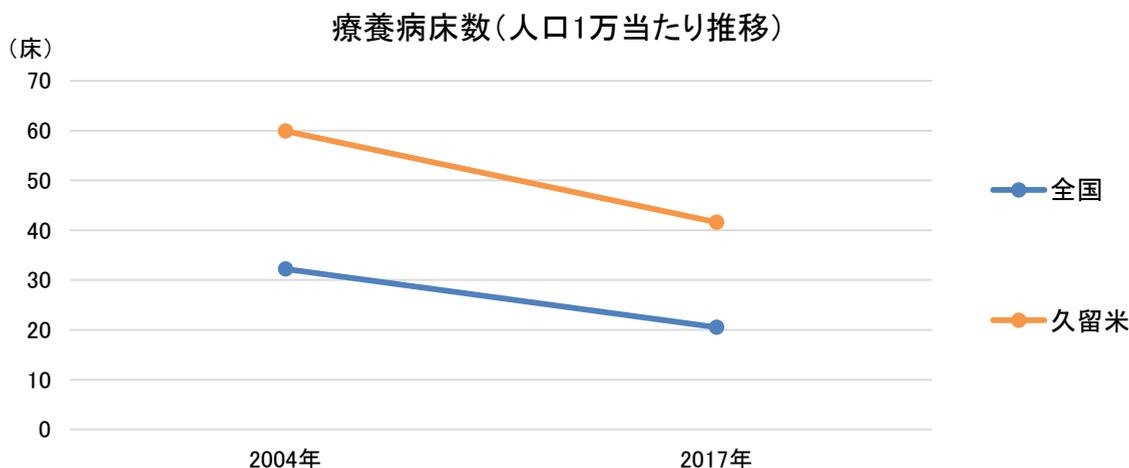
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,492床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2017年に5,607床(人口1万人当たり123(全国平均77)偏差値68)と、885床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



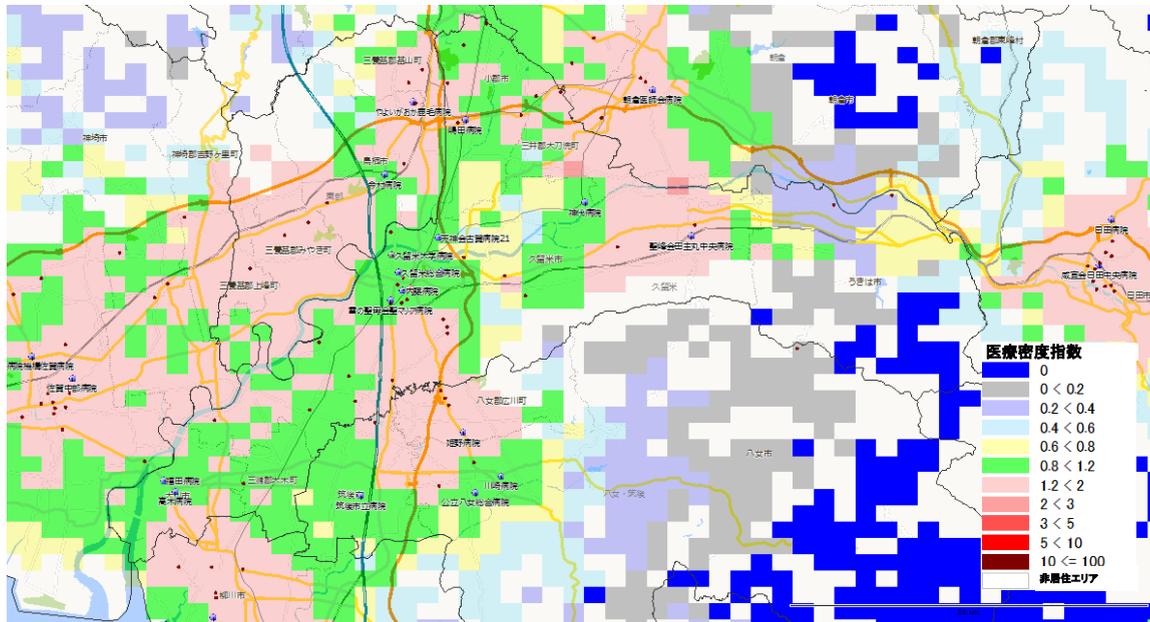
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,644床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2017年に2,491床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均20)偏差値69)と、153床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



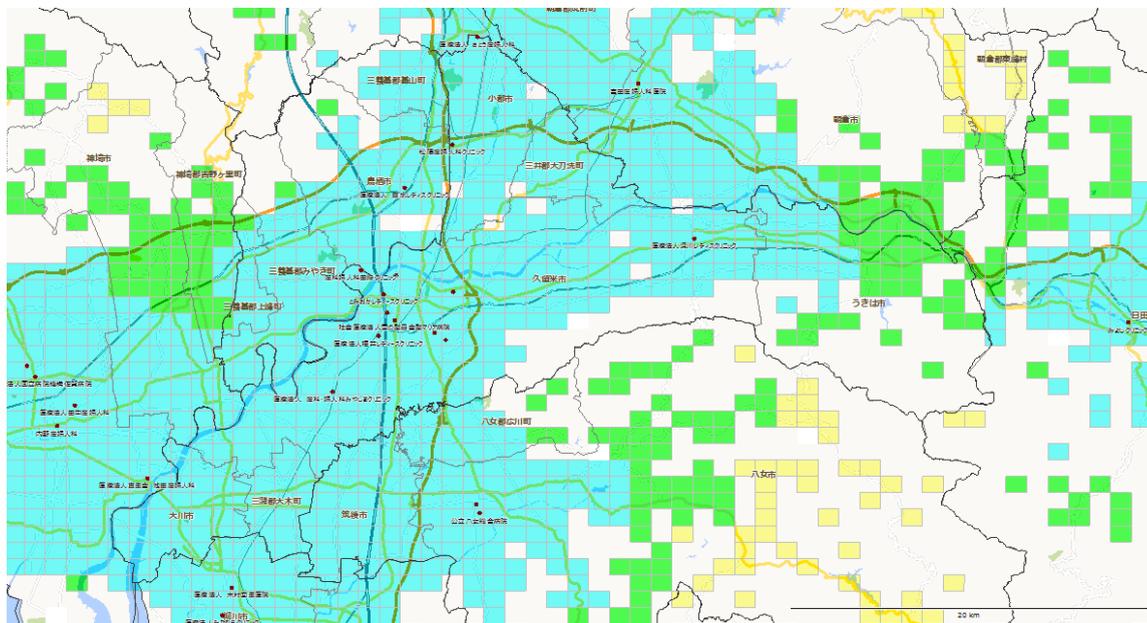
(久留米医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-6-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

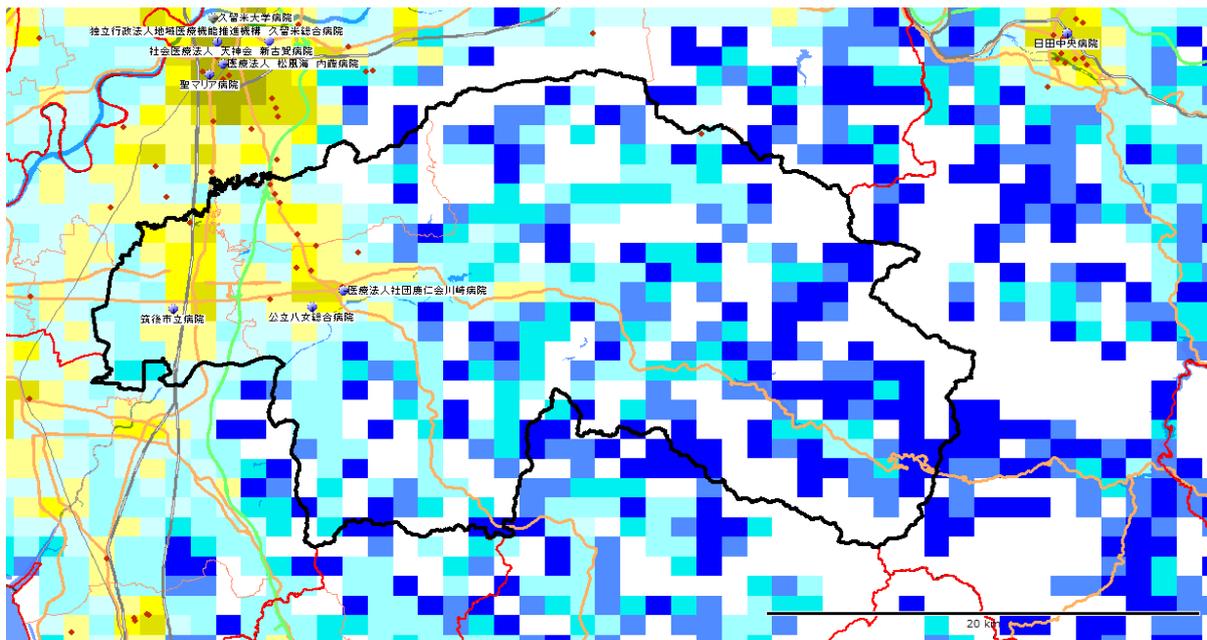


# 40-7. やめちくご 八女・筑後医療圏

構成市区町村 [八女市](#) [筑後市](#) [広川町](#)

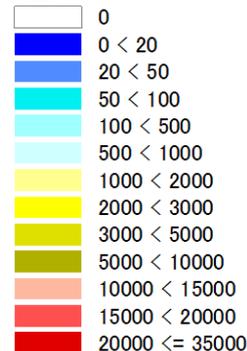
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (八女・筑後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 八女・筑後(八女市)は、総人口約133千人(2015年)、面積562km<sup>2</sup>、人口密度は236人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 八女・筑後の総人口は2025年に122千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に104千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて24千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には25千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 八女・筑後の一人当たり医療費(国保)は373千円(偏差値56)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 八女・筑後の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は2.19で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。八女・筑後には、年間全身麻酔件数が500例以上の筑後市立病院(Ⅲ群)、川崎病院(Ⅲ群)、公立八女総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 八女・筑後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,239人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,579床(偏差値61)、高齢者住宅等が660床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,940人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値71と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、222人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (八女・筑後医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

八女・筑後医療圏の総人口は、2005年141,354人が、2015年に132,930人と6%減少し、2025年の人口が122,211人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

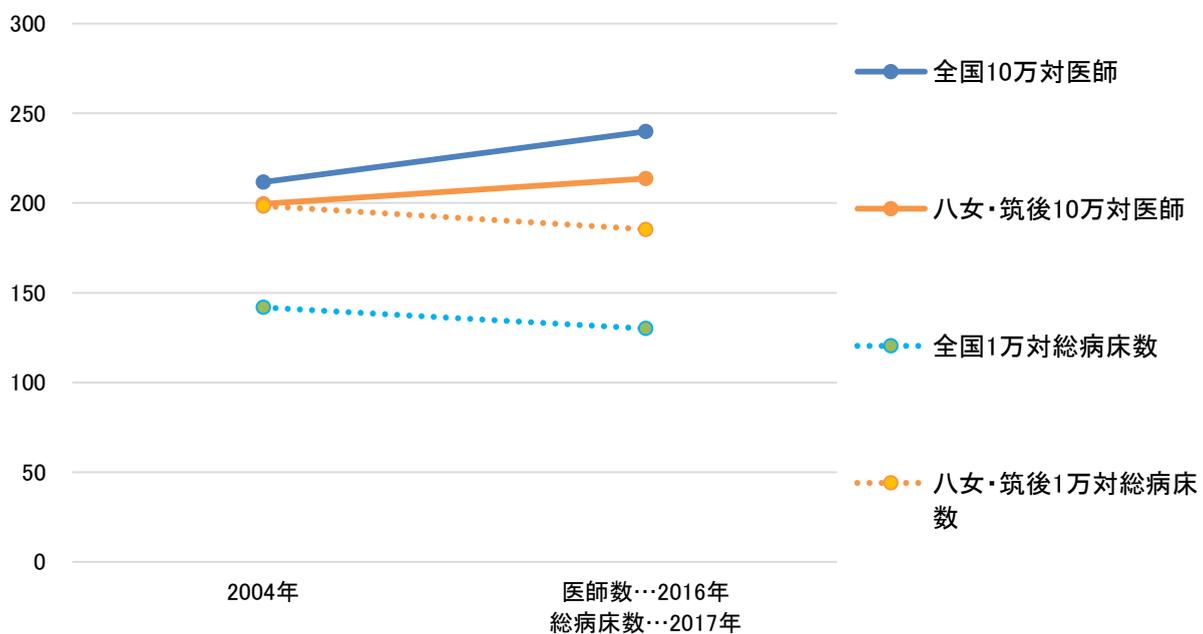
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.9病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2017年に14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2017年に120(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値56)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が2,803床(人口1万人当たり198(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に2,463床(人口1万人当たり185(全国平均130)偏差値60)と、340床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

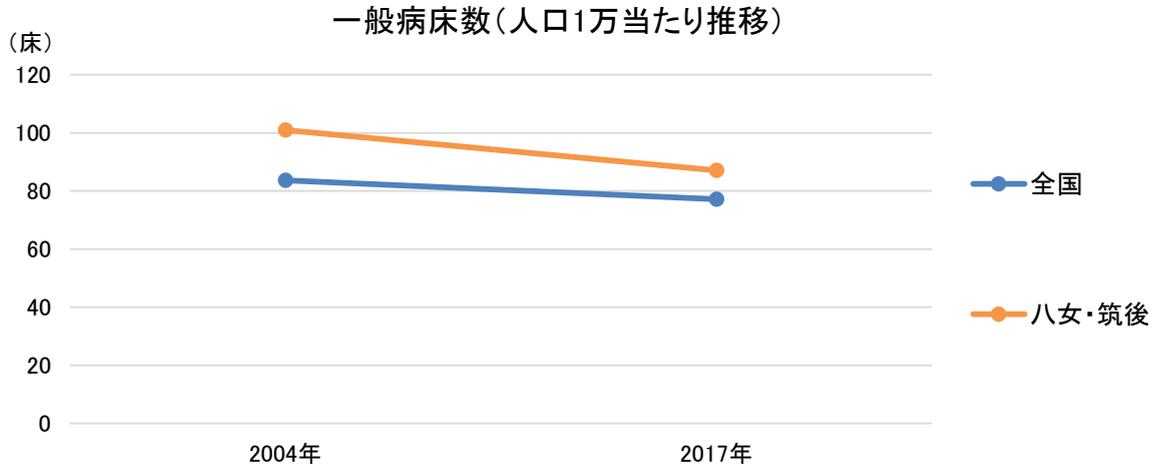
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が282人(人口10万人当たり199人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に284人(人口10万人当たり214人(全国平均240人)偏差値47)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



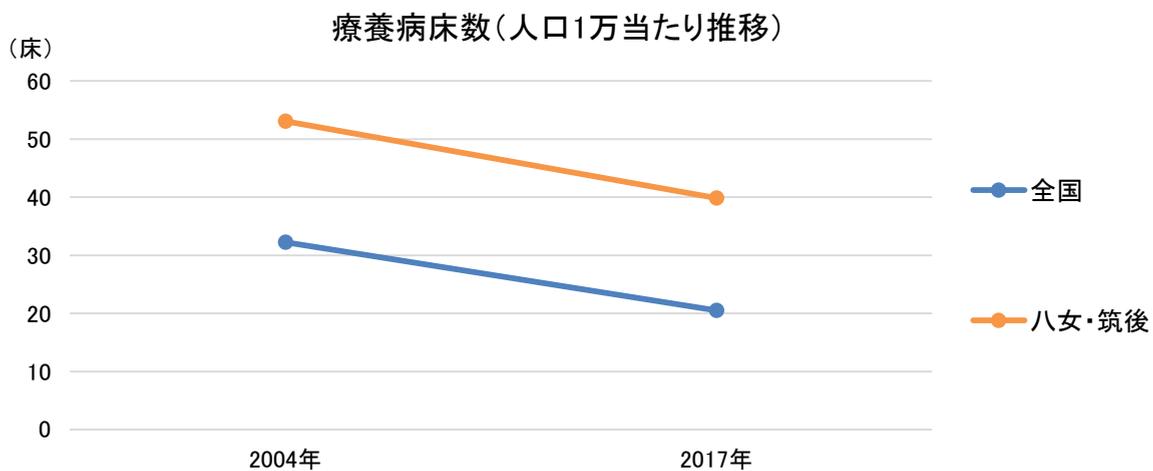
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,427床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2017年に1,157床(人口1万人当たり87(全国平均77)偏差値54)と、270床の減少、率にして19%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



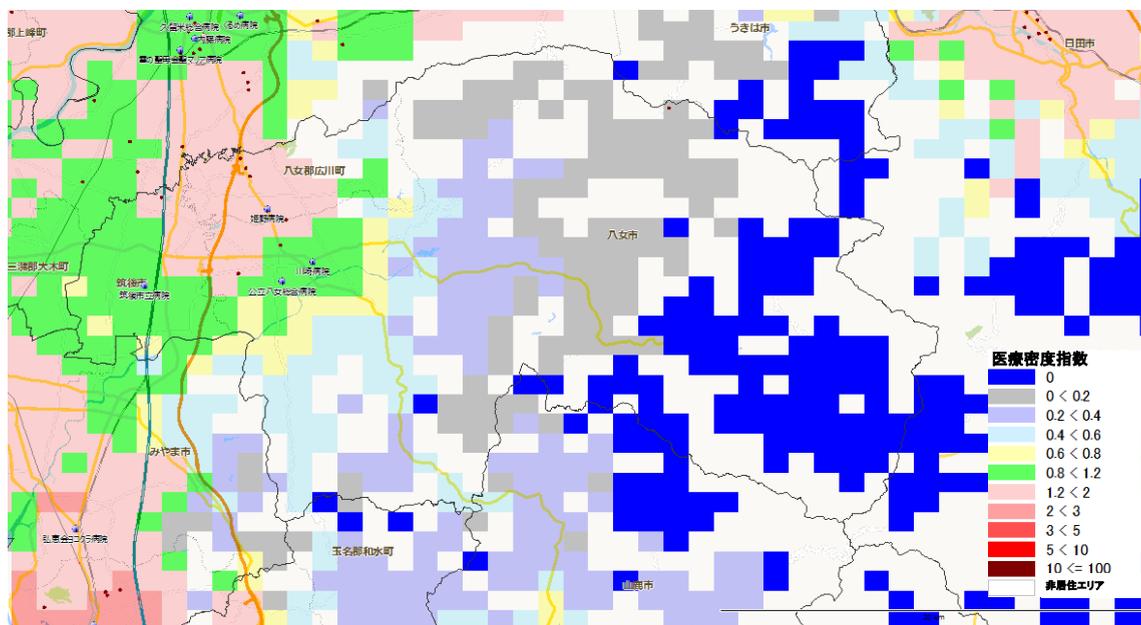
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が912床(75歳以上1,000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2017年に840床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均20)偏差値67)と、72床の減少、率にして8%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



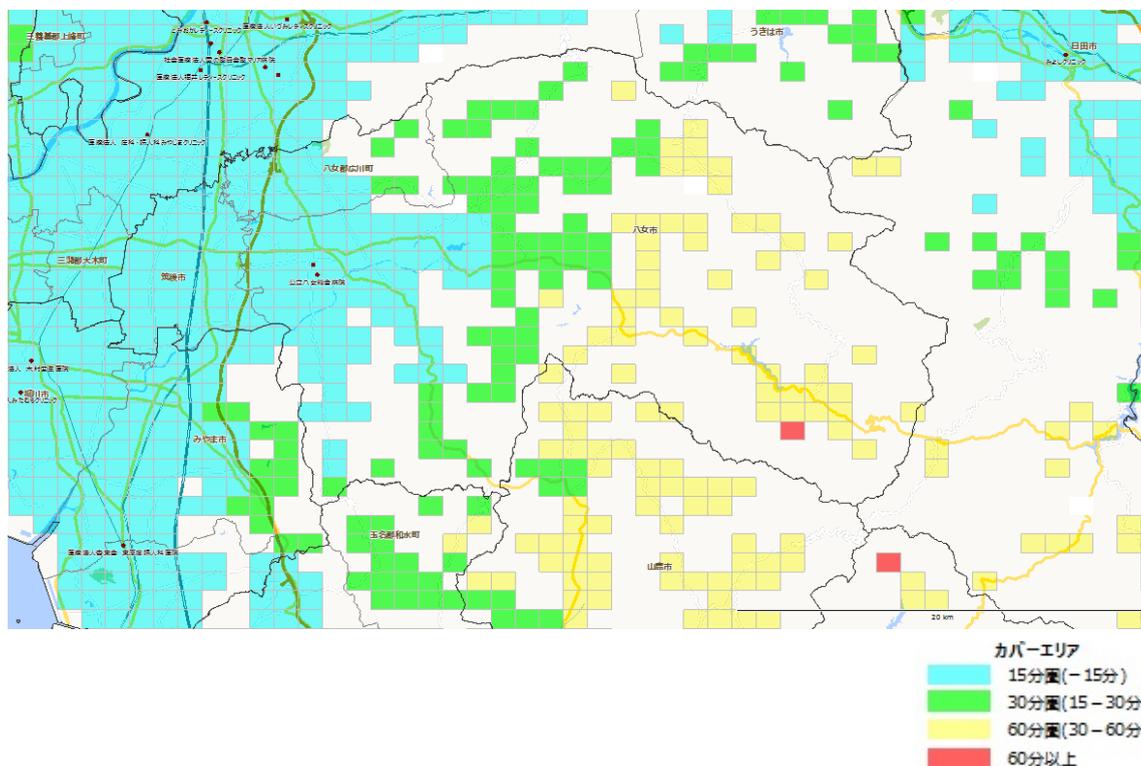
(八女・筑後医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

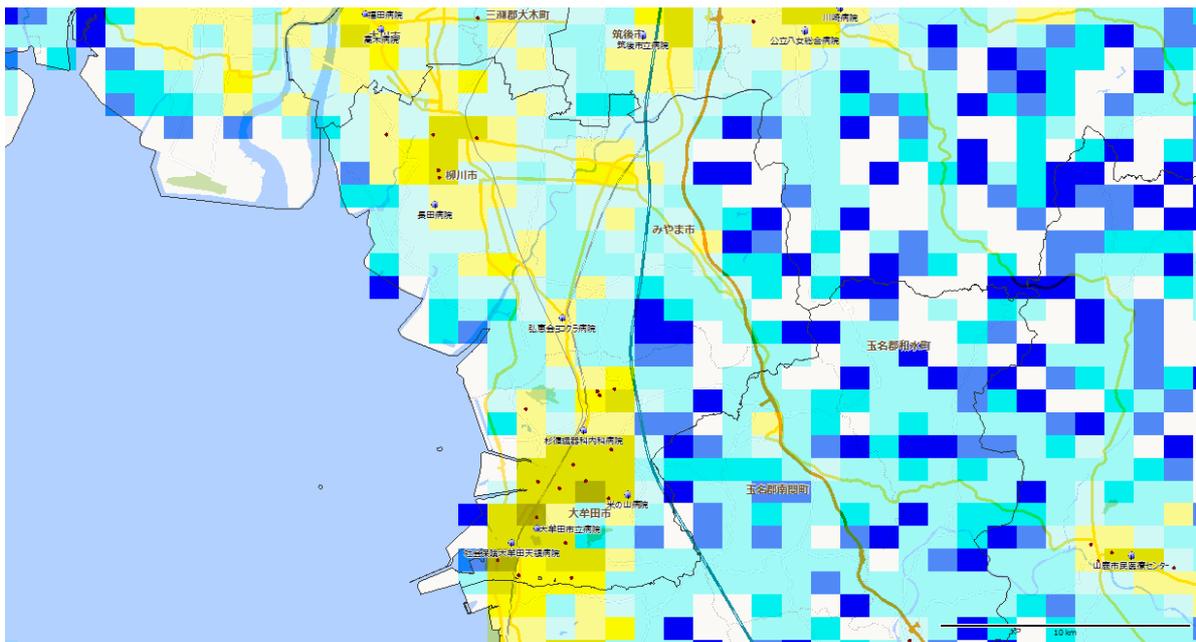


# 40-8. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村 [大牟田市](#)      [柳川市](#)      [みやま市](#)

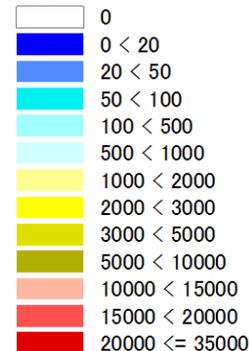
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 有明(大牟田市)は、総人口約223千人(2015年)、面積264km<sup>2</sup>、人口密度は846人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 有明の総人口は2025年に196千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に154千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値67)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 有明の一人当たり急性期医療密度指数は1.52、一人当たり慢性期医療密度指数は1.2で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。有明には、年間全身麻酔件数が1000例以上の大牟田市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値80と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は73で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,059人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,799床(偏差値57)、高齢者住宅等が1,260床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,417人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム50、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、487人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は±0%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (有明医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

有明医療圏の総人口は、2005年249,001人が、2015年に223,276人と10%減少し、2025年の人口が196,171人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

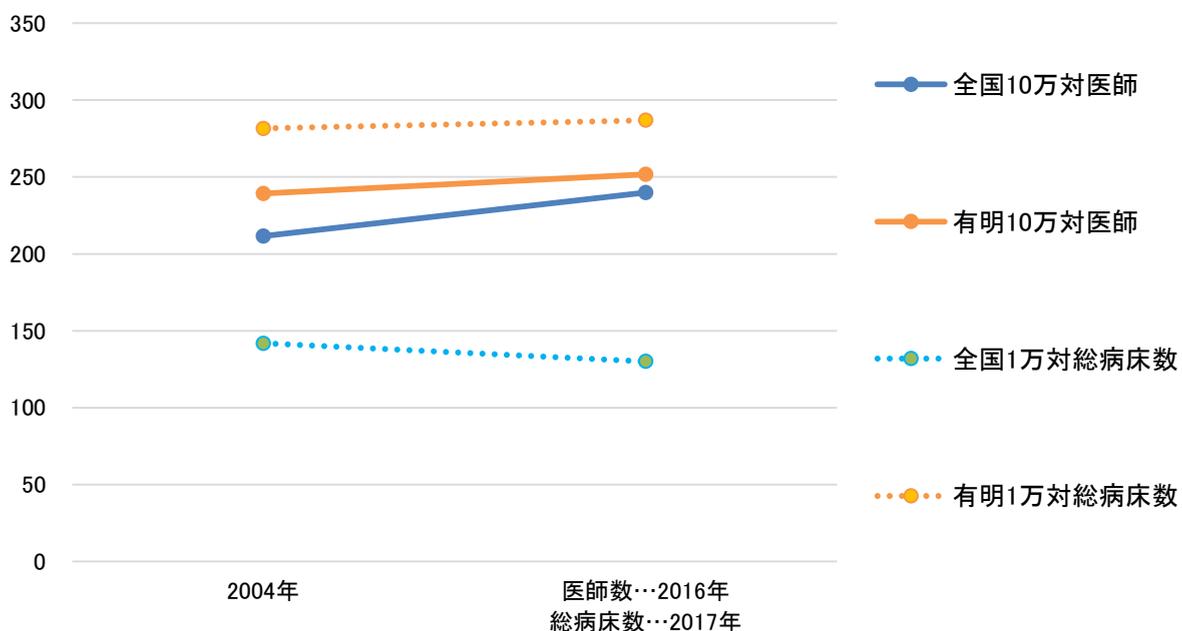
2004年の病院数が34(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2017年に33(人口10万人当たり14.8病院(全国平均6.6)偏差値68)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が244(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に209(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値57)と、35診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,012床(人口1万人当たり282(全国平均142)偏差値75)であったが、2017年に6,405床(人口1万人当たり287(全国平均130)偏差値79)と、607床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

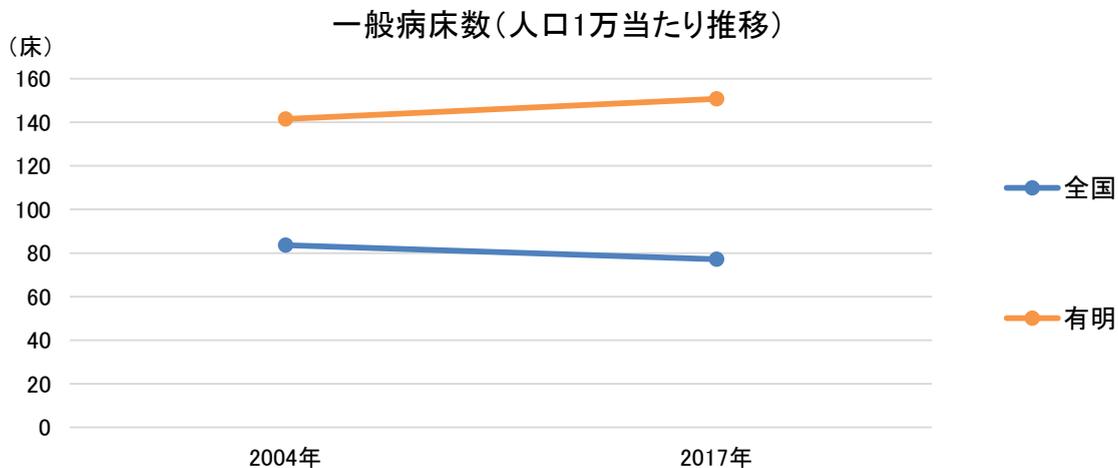
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が596人(人口10万人当たり239人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に562人(人口10万人当たり252人(全国平均240人)偏差値51)と、34人の減少、率にして6%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



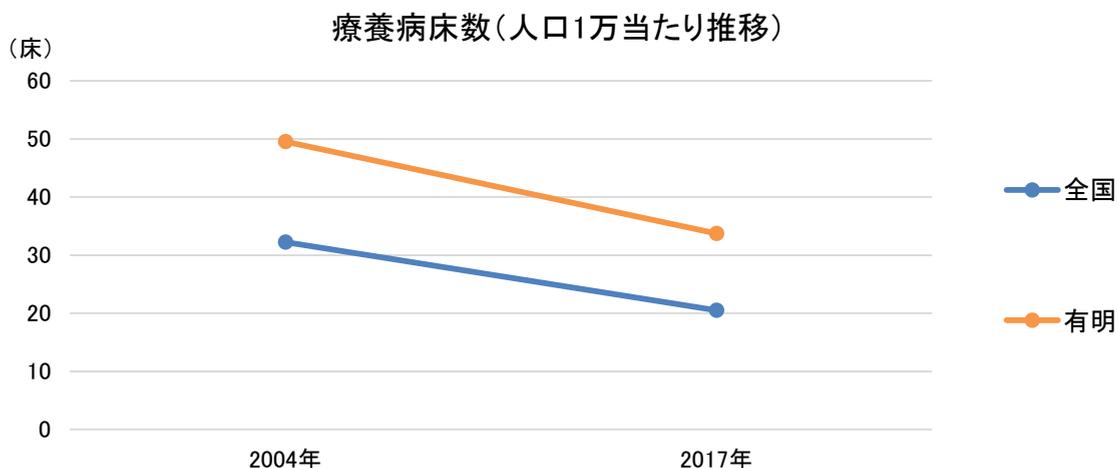
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,523床(人口1万人当たり141(全国平均84)偏差値70)であったが、2017年に3,365床(人口1万人当たり151(全国平均77)偏差値78)と、158床の減少、率にして4%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



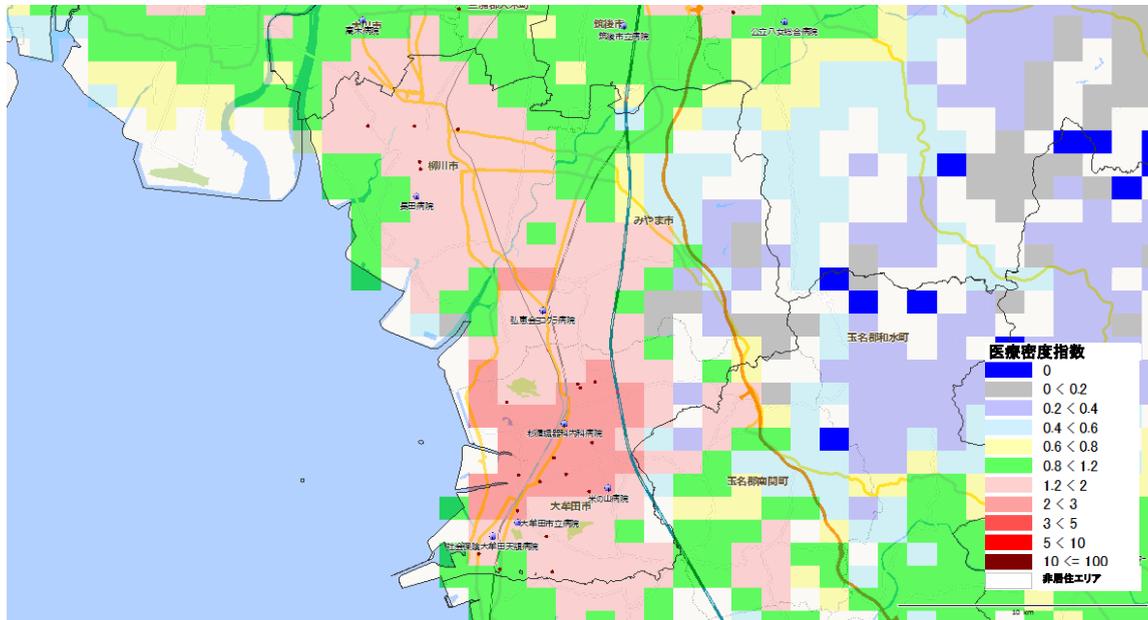
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,667床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2017年に1,352床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均20)偏差値62)と、315床の減少、率にして19%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



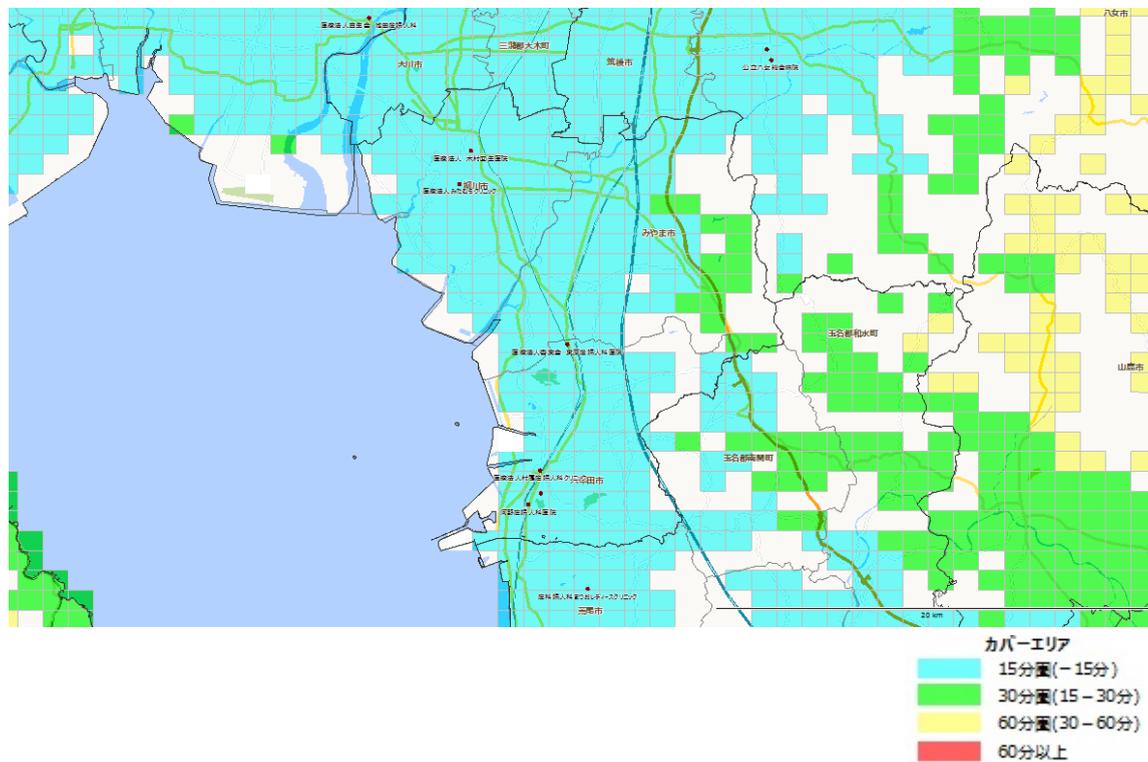
## (有明医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

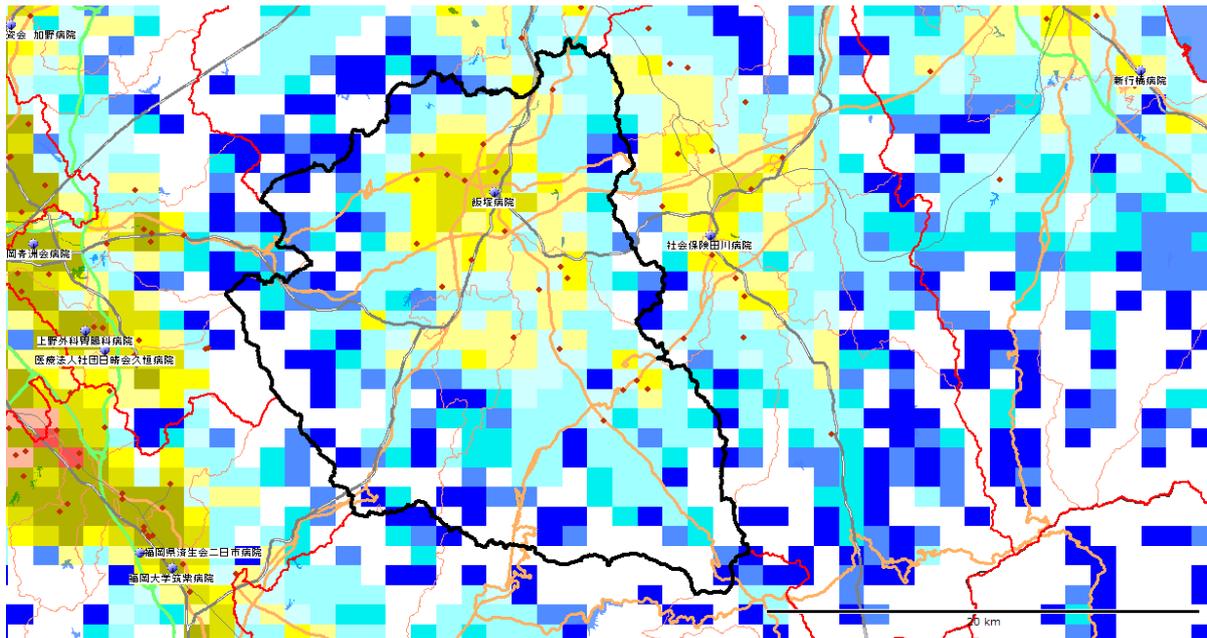


# 40-9. い い づ か 飯塚医療圏

構成市区町村 [飯塚市](#) [嘉麻市](#) [桂川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (飯塚医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 飯塚(飯塚市)は、総人口約181千人(2015年)、面積369km<sup>2</sup>、人口密度は491人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 飯塚の総人口は2025年に166千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に140千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 飯塚の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値57)、介護給付費は301千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 飯塚の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は1.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が60(病院医師数62、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は74と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。飯塚には、年間全身麻酔件数が2000例以上の飯塚病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の飯塚市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 飯塚の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,589人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,209床(偏差値64)、高齢者住宅等が1,380床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,417人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム55、サ高住55である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、509人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (飯塚医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

飯塚医療圏の総人口は、2005年193,821人が、2015年に181,385人と6%減少し、2025年の人口が165,687人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

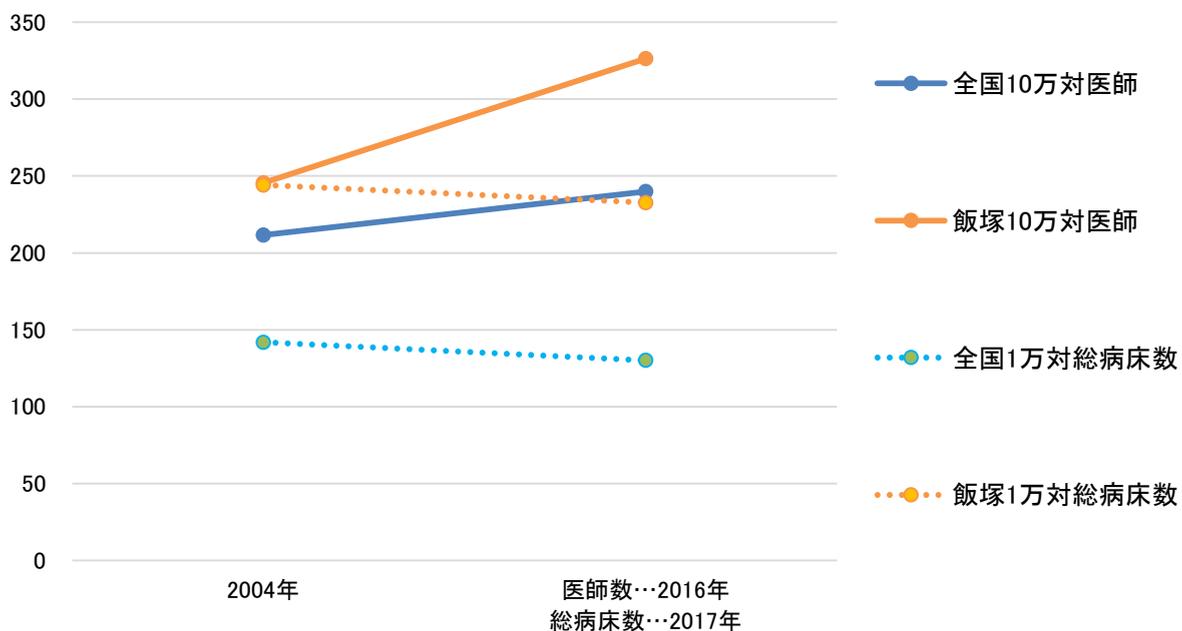
2004年の病院数が24(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2017年に22(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.6)偏差値62)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が167(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に164(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値56)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,731床(人口1万人当たり244(全国平均142)偏差値68)であったが、2017年に4,219床(人口1万人当たり233(全国平均130)偏差値69)と、512床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

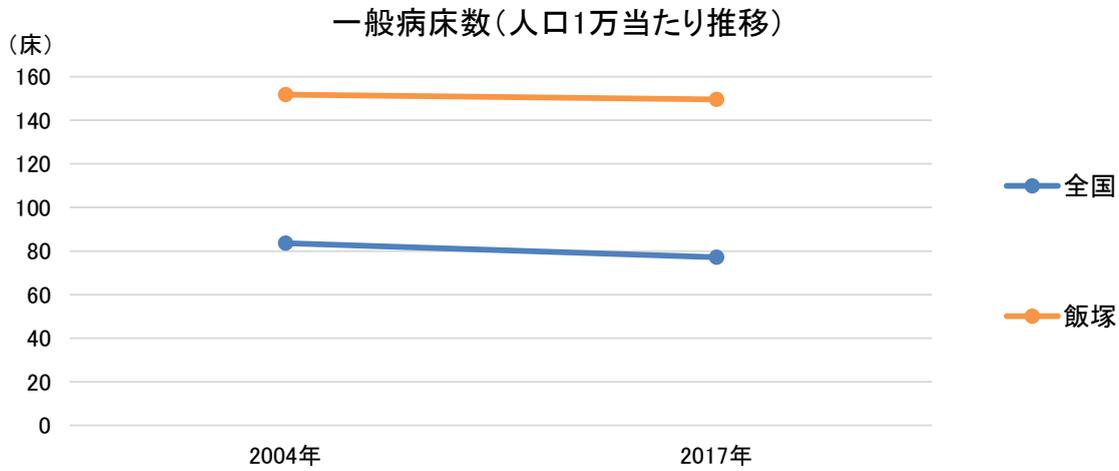
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が476人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2016年に592人(人口10万人当たり326人(全国平均240人)偏差値60)と、116人の増加、率にして24%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



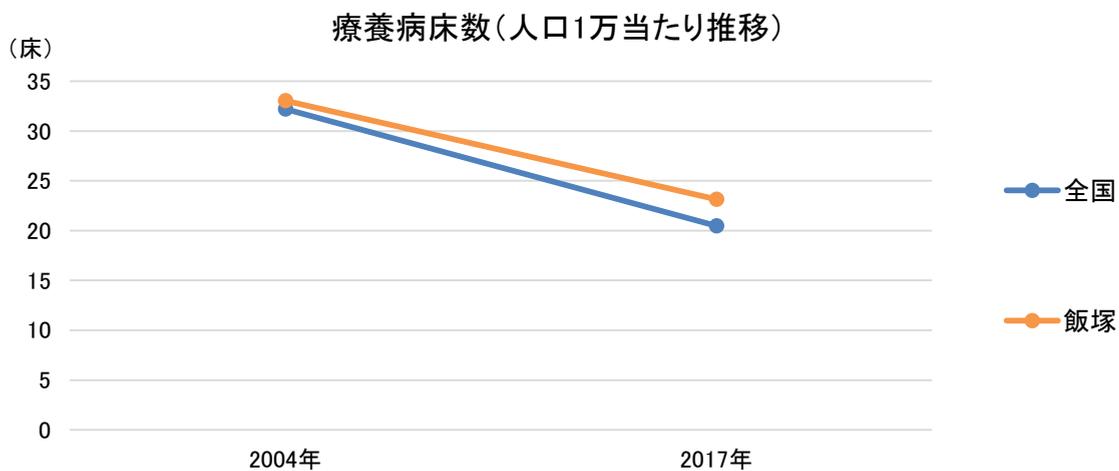
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,941床(人口1万人当たり152(全国平均84)偏差値74)であったが、2017年に2,712床(人口1万人当たり150(全国平均77)偏差値78)と、229床の減少、率にして8%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



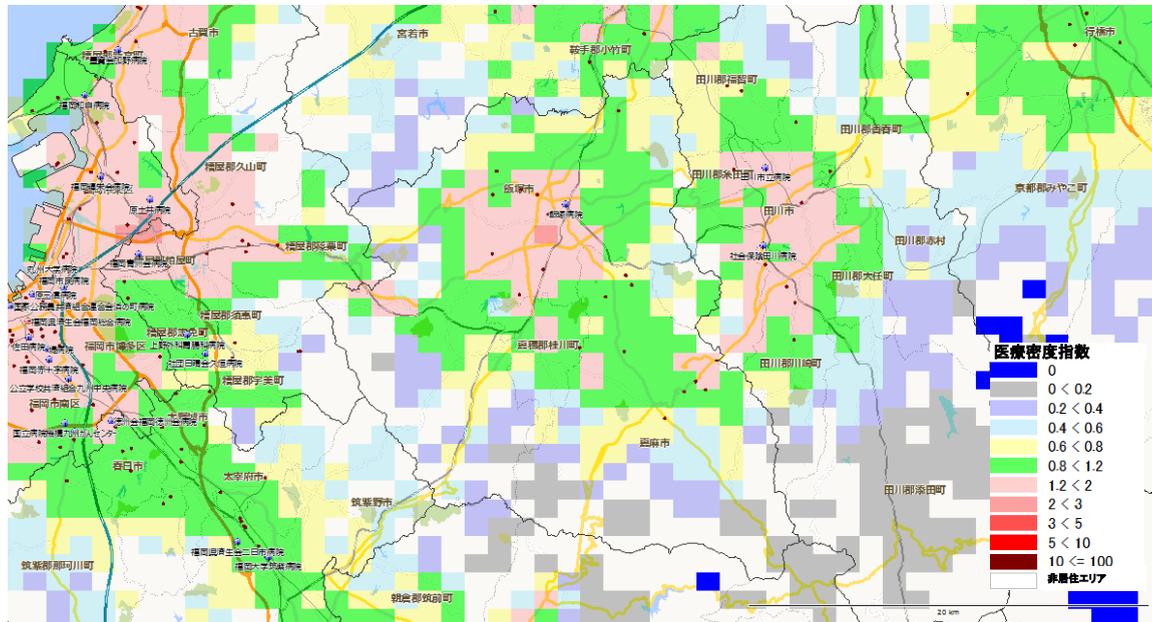
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が770床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に646床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値52)と、124床の減少、率にして16%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



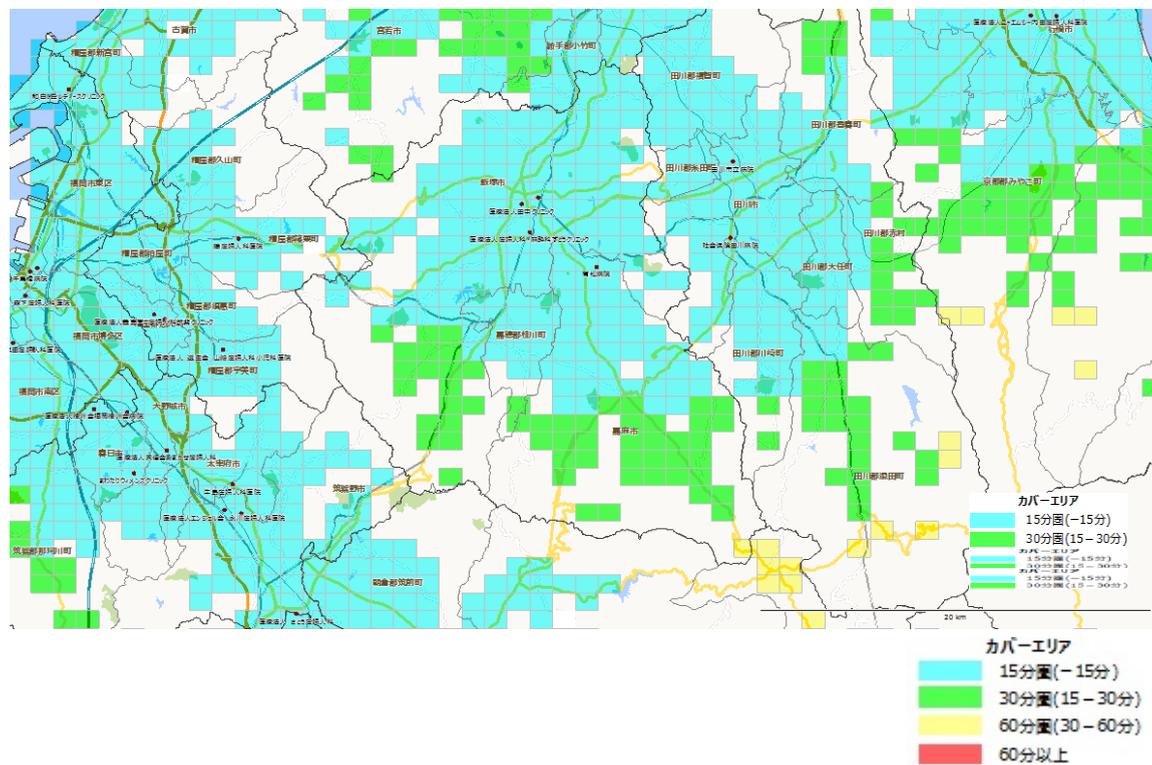
(飯塚医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



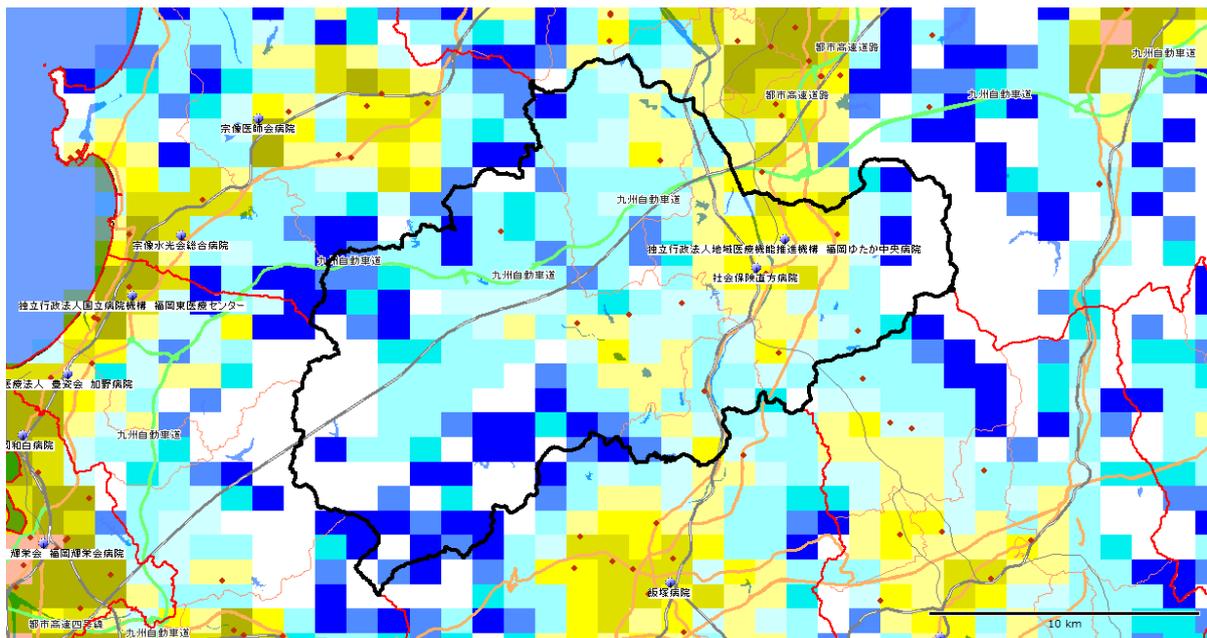
# 40-10. のおがた くらて 直方・鞍手医療圏

構成市区町村

[直方市](#)[宮若市](#)[小竹町](#)[鞍手町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (直方・鞍手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 直方・鞍手(直方市)は、総人口約109千人(2015年)、面積252km<sup>2</sup>、人口密度は434人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 直方・鞍手の総人口は2025年に99千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に83千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 直方・鞍手の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 直方・鞍手の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は1.58で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数41、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。直方・鞍手には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 直方・鞍手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,785人(75歳以上1,000人当たりの偏差値79)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,330床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,455床(偏差値73)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,733人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム64、軽費ホーム69、グループホーム68、サ高住60である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、241人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (直方・鞍手医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

直方・鞍手医療圏の総人口は、2005年115,584人が、2015年に109,075人と6%減少し、2025年の人口が99,271人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

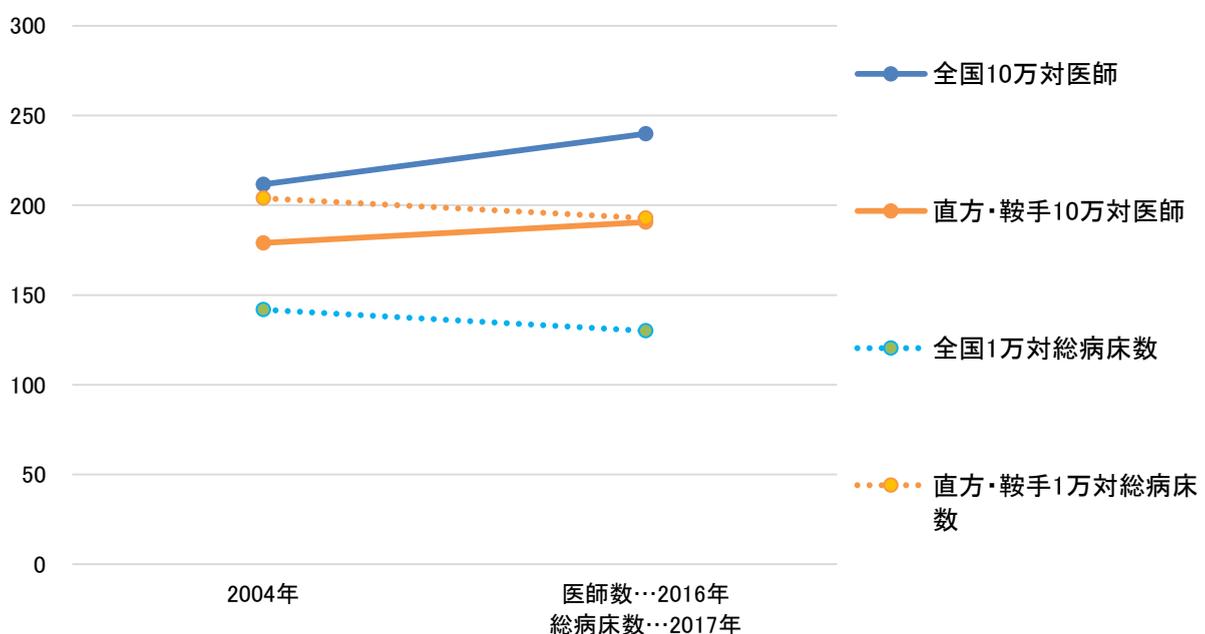
2004年の病院数が13(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に12(人口10万人当たり11病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に101(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,357床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に2,104床(人口1万人当たり193(全国平均130)偏差値62)と、253床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

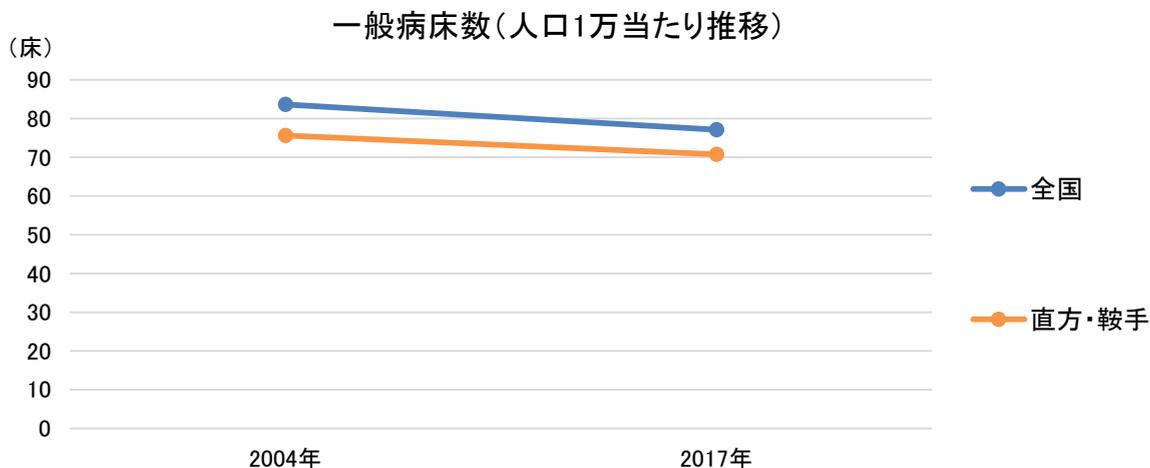
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が207人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に208人(人口10万人当たり191人(全国平均240人)偏差値45)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



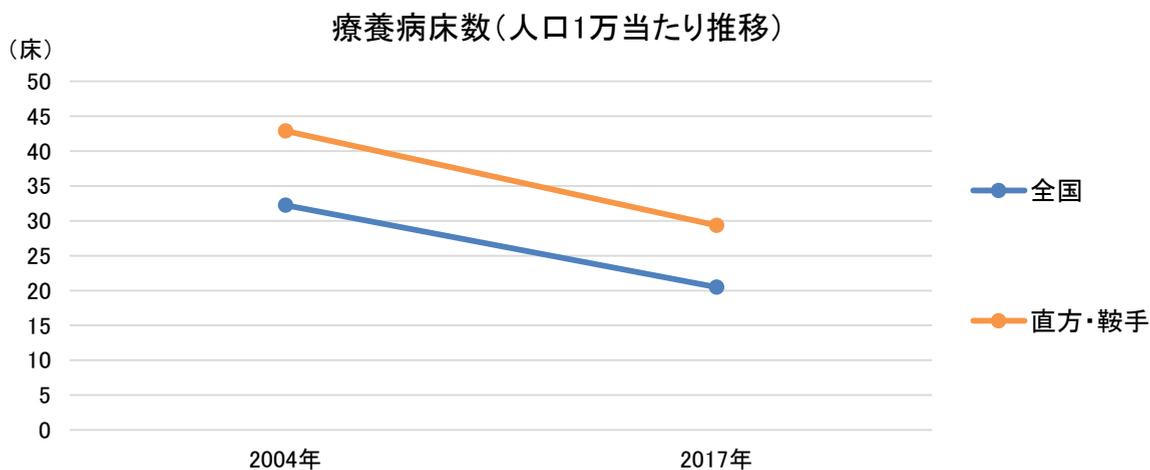
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が874床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2017年に772床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、102床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



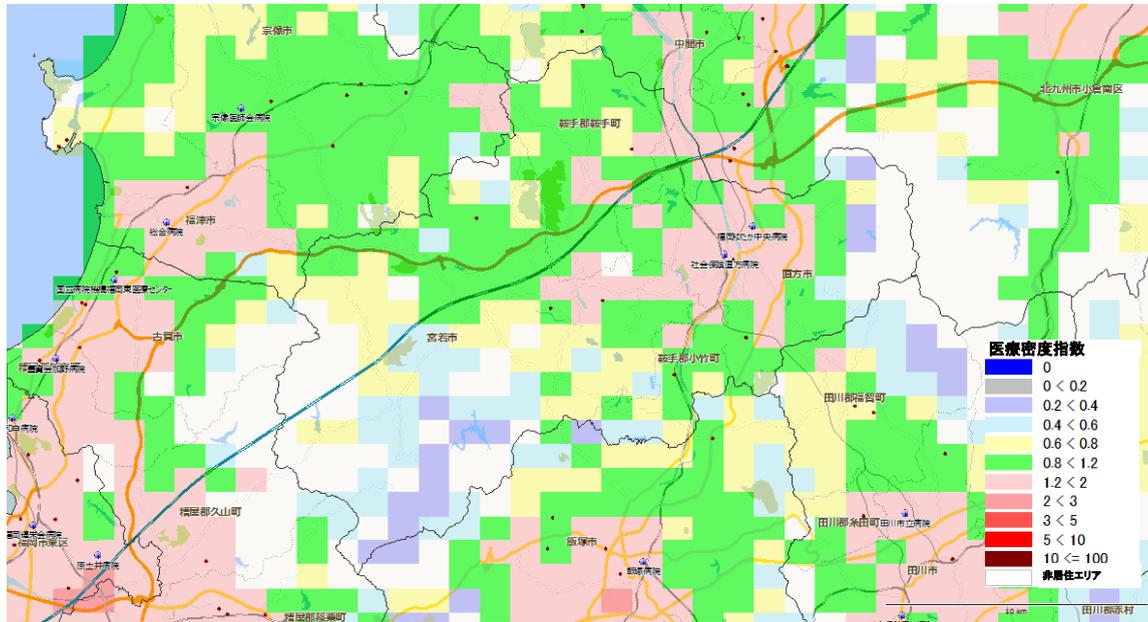
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が640床(75歳以上1,000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2017年に539床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均20)偏差値58)と、101床の減少、率にして16%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



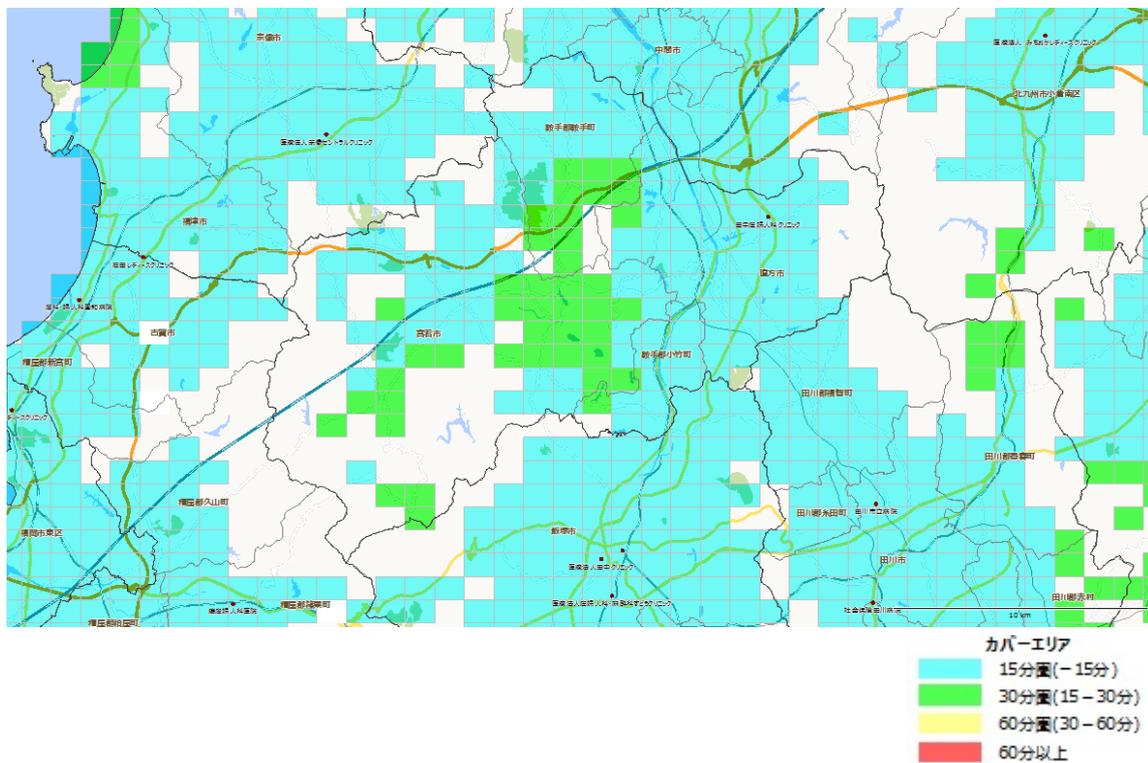
## (直方・鞍手医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-10-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

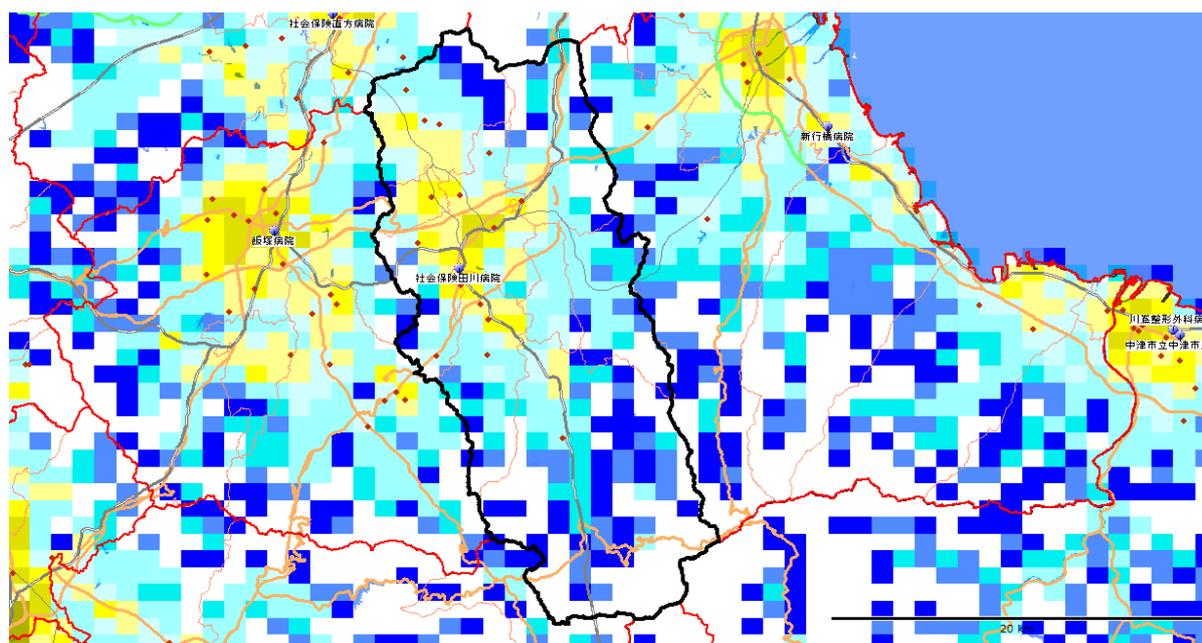


# たがわ 40-11. 田川医療圏

構成市区町村 [田川市](#) [香春町](#) [添田町](#) [糸田町](#)  
[川崎町](#) [大任町](#) [赤村](#) [福智町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (田川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 田川(田川市)は、総人口約126千人(2015年)、面積364km<sup>2</sup>、人口密度は347人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 田川の総人口は2025年に108千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に81千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて24千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には21千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 田川の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 田川の一人当たり急性期医療密度指数は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は70と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。田川には、年間全身麻酔件数が500例以上の社会保険田川病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は104で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 田川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,750人(75歳以上1,000人当たりの偏差値89)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,341床(偏差値86)、高齢者住宅等が1,409床(偏差値64)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,444人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム83、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム50、軽費ホーム60、グループホーム89、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値75と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、669人(75歳以上1,000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+43%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

(田川医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

田川医療圏の総人口は、2005年140,736人が、2015年に126,104人と10%減少し、2025年の人口が107,739人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

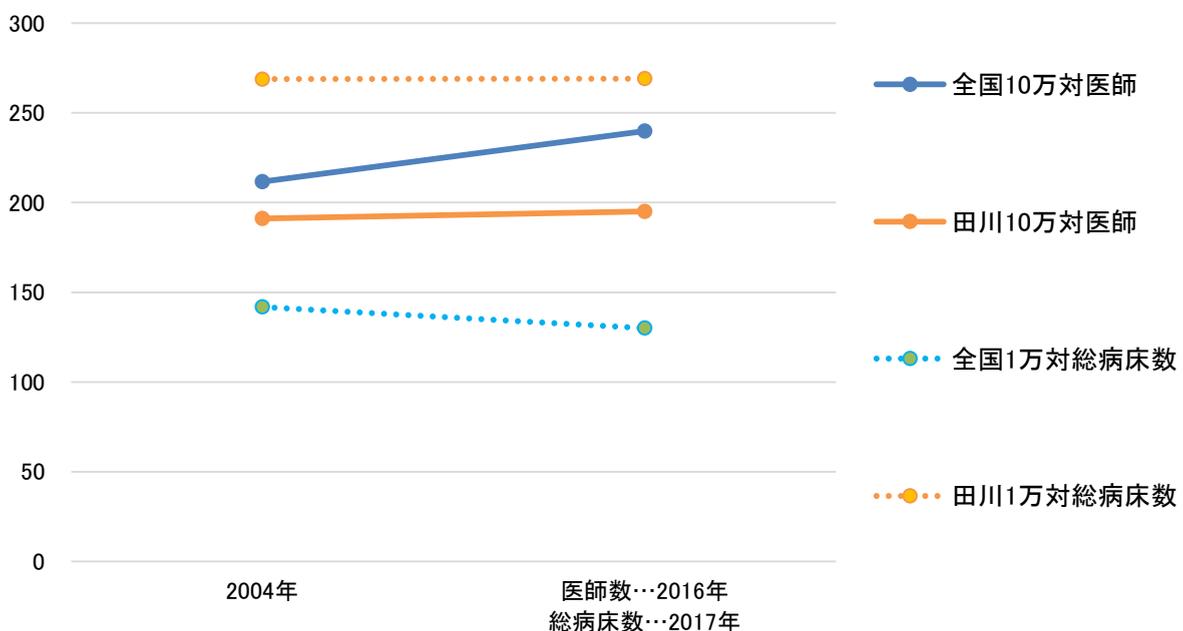
2004年の病院数が17(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2017年に16(人口10万人当たり12.7病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2017年に108(人口10万人当たり86診療所(全国平均80)偏差値53)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,783床(人口1万人当たり269(全国平均142)偏差値73)であったが、2017年に3,393床(人口1万人当たり269(全国平均130)偏差値76)と、390床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

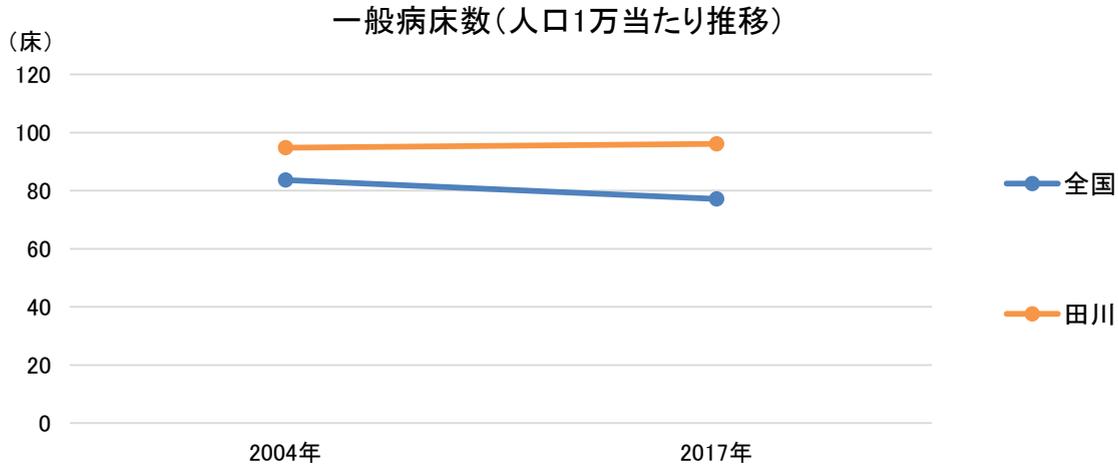
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が269人(人口10万人当たり191人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2016年に246人(人口10万人当たり195人(全国平均240人)偏差値45)と、23人の減少、率にして9%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



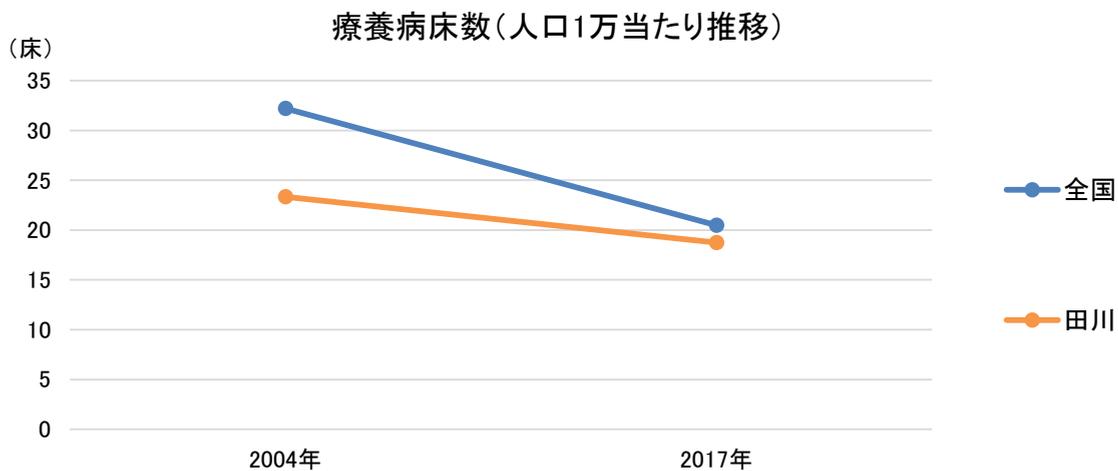
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,334床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2017年に1,212床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、122床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



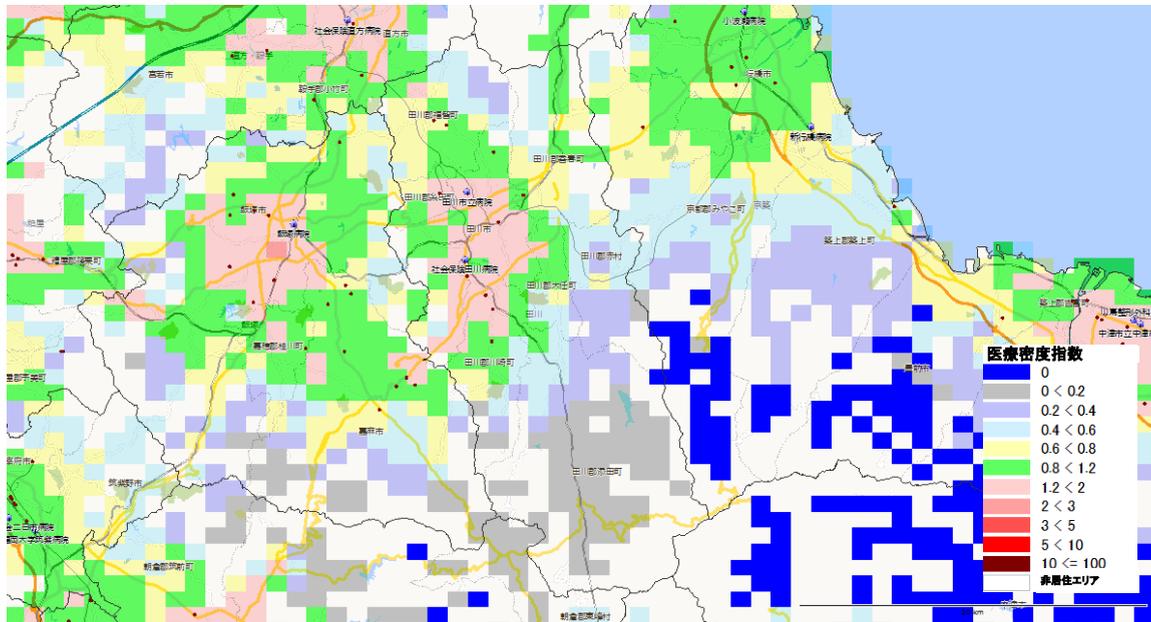
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が440床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に414床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値48)と、26床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



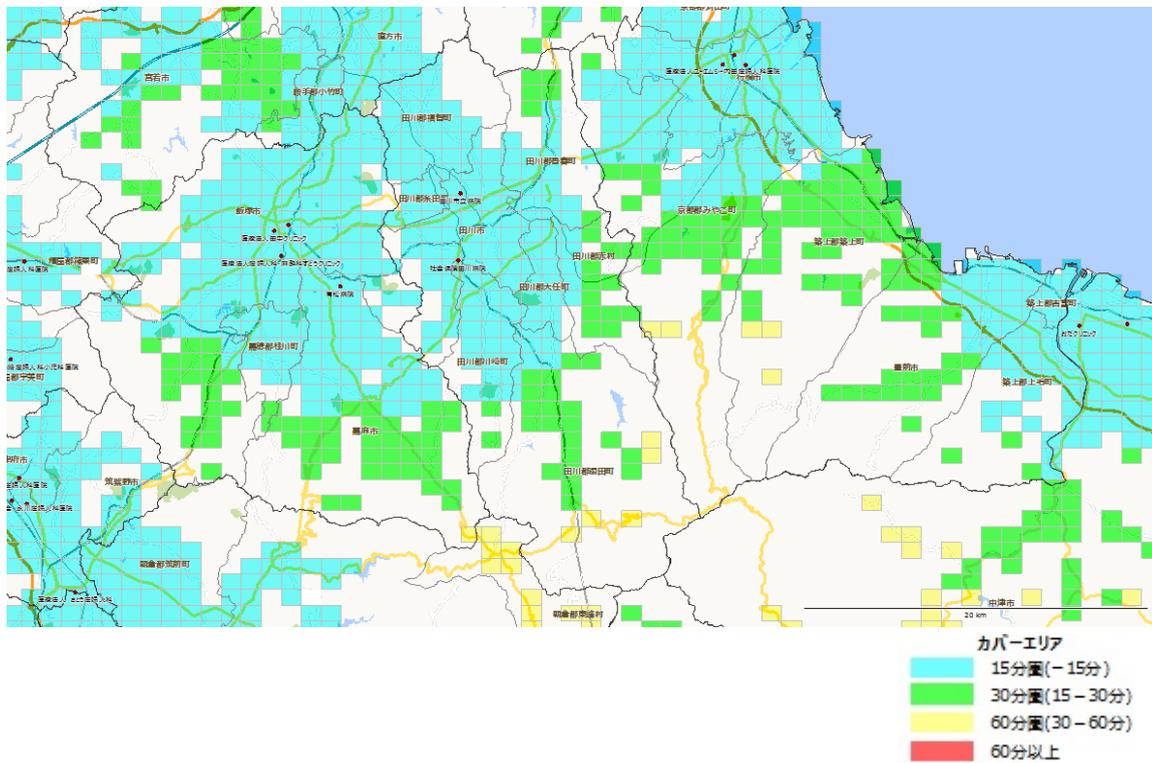
(田川医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-11-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

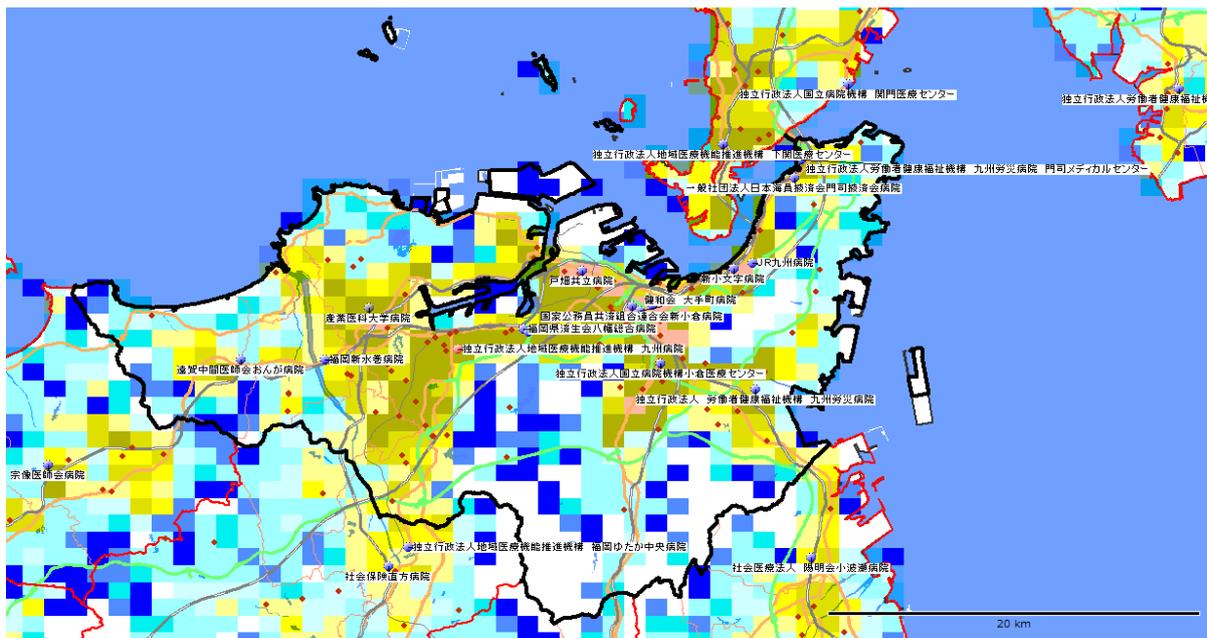


# きたきゅうしゅう 40-12. 北九州医療圏

構成市区町村 [門司区](#) [若松区](#) [戸畑区](#) [小倉北区](#)  
[小倉南区](#) [八幡東区](#) [八幡西区](#) [中間市](#)  
[芦屋町](#) [水巻町](#) [岡垣町](#) [遠賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (北九州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北九州(北九州市門司区)は、総人口約1,097千人(2015年)、面積601km<sup>2</sup>、人口密度は1,824人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北九州の総人口は2025年に1,032千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に906千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の159千人が、2025年にかけて207千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には198千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北九州の一人当たり医療費(国保)は389千円(偏差値60)、介護給付費は273千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北九州の一人当たり急性期医療密度指数は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数57、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。北九州には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小倉記念病院(Ⅲ群)、北九州市立医療センター(Ⅲ群)、九州労災病院(Ⅲ群)、JCHO九州病院(Ⅱ群)、産業医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の北九州総合病院(Ⅲ群・救命)、新小文字病院(Ⅲ群)、済生会八幡総合病院(Ⅲ群)、製鉄記念八幡病院(Ⅲ群)、500例以上のNH0小倉医療センター(Ⅲ群)、大手町病院(Ⅲ群)、北九州市立八幡病院(Ⅲ群・救命)、戸畑共立病院(Ⅲ群)、福岡新水巻病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北九州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,083人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9,897床(偏差値51)、高齢者住宅等が7,186床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,536人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム54、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (北九州医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

北九州医療圏の総人口は、2005年1,137,622人が、2015年に1,096,744人と4%減少し、2025年の人口が1,031,764人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

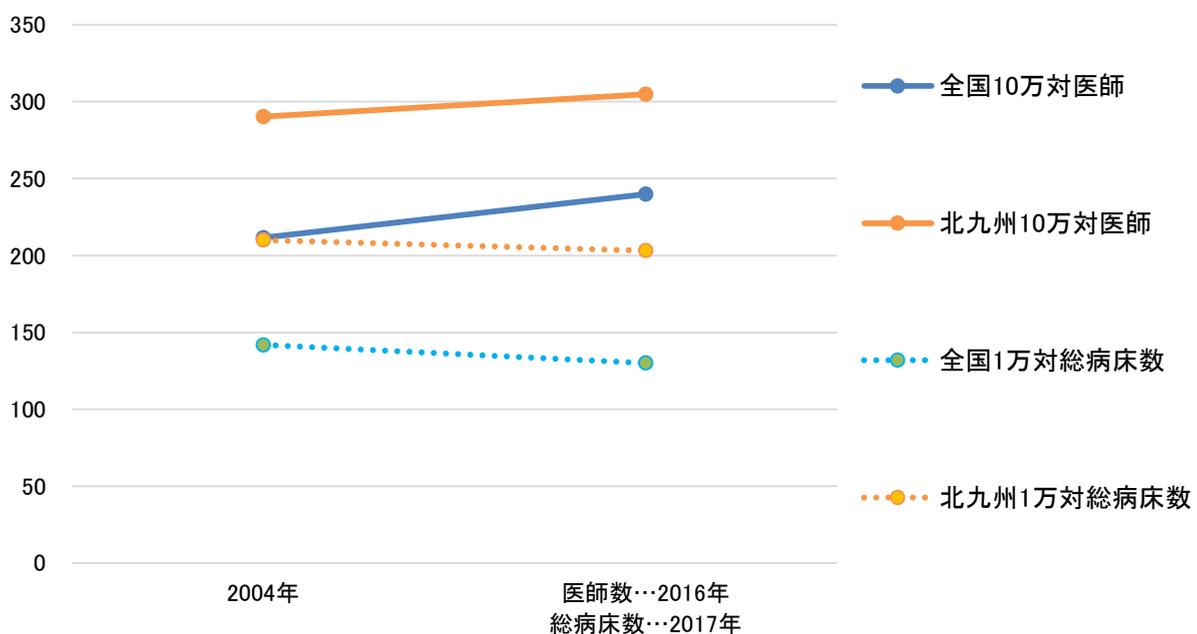
2004年の病院数が105(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2017年に103(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が1,109(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に1,057(人口10万人当たり96診療所(全国平均80)偏差値59)と、52診療所が減少した。

2004年の総病床数が23,901床(人口1万人当たり210(全国平均142)偏差値62)であったが、2017年に22,289床(人口1万人当たり203(全国平均130)偏差値64)と、1,612床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

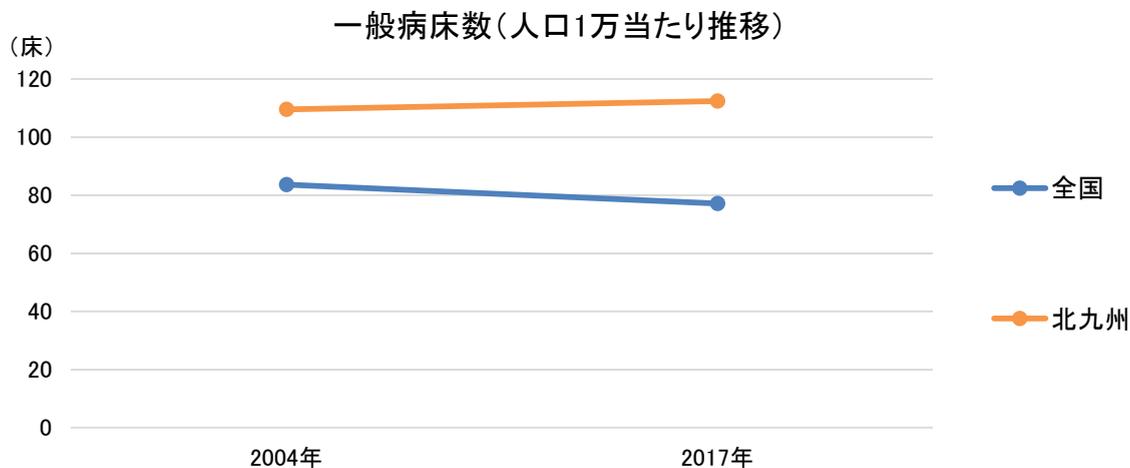
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,302人(人口10万人当たり290人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2016年に3,344人(人口10万人当たり305人(全国平均240人)偏差値57)と、42人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



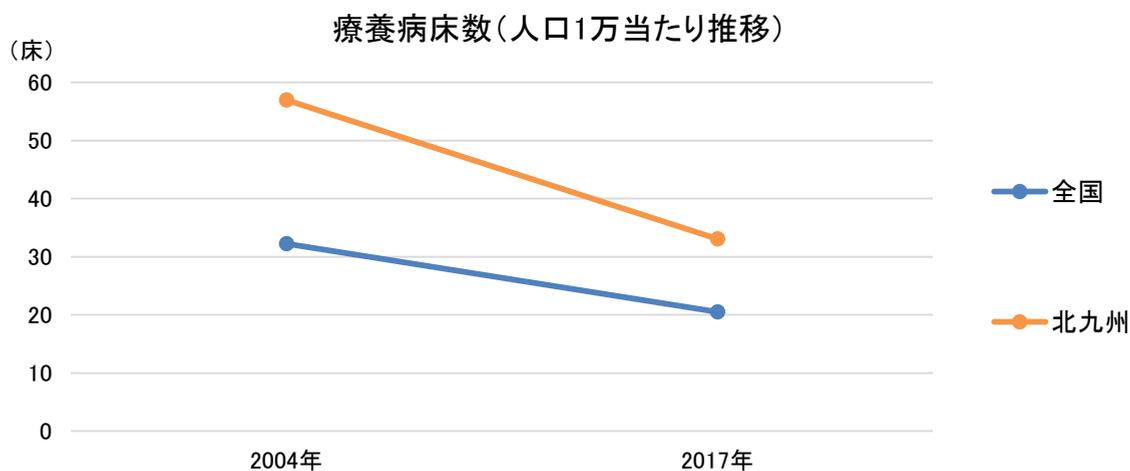
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12,465床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に12,331床(人口1万人当たり112(全国平均77)偏差値64)と、134床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



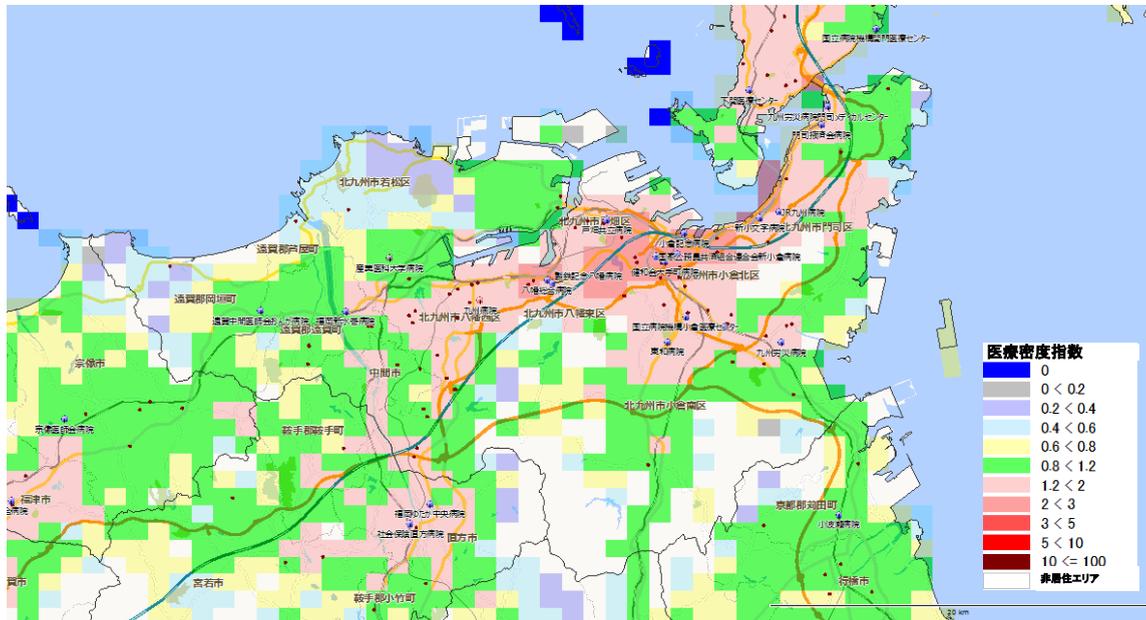
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6,581床(75歳以上1,000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2017年に5,264床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値61)と、1317床の減少、率にして20%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



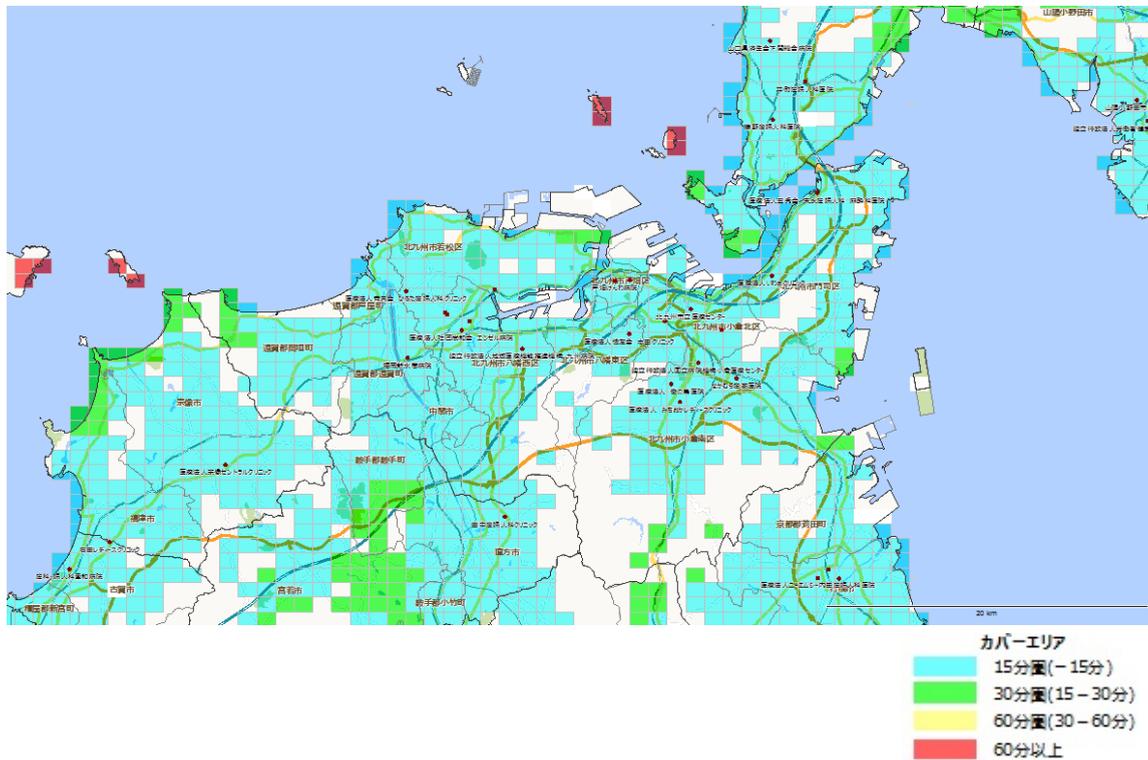
## (北九州医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-12-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

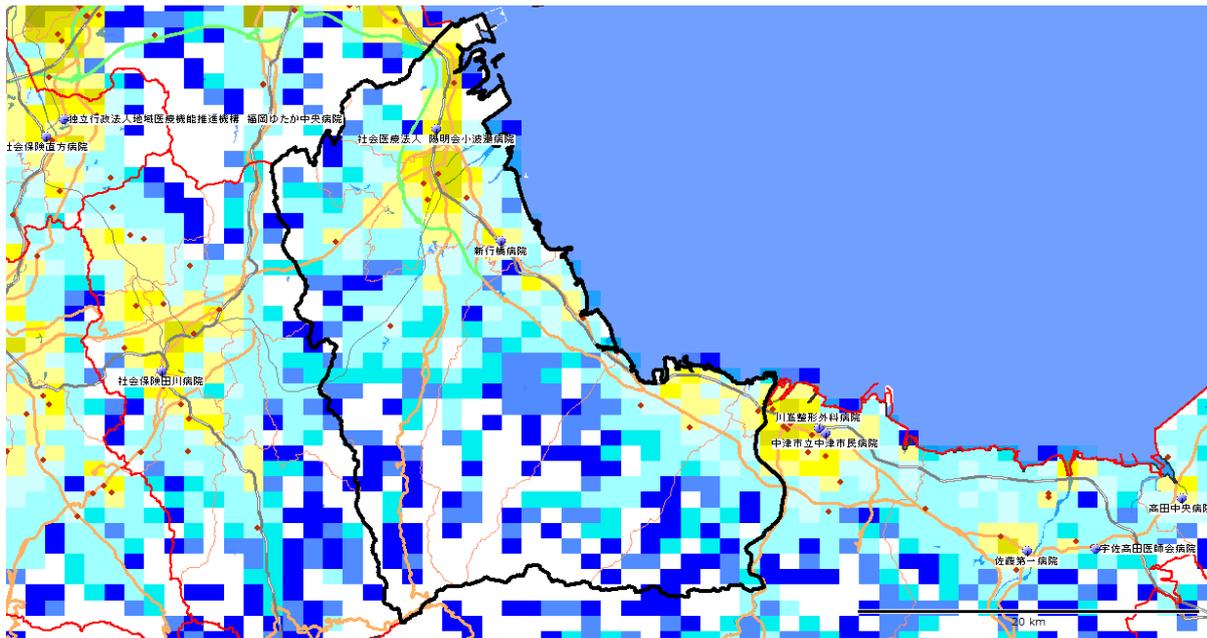


# 40-13. けいちく京築医療圏

構成市区町村 [行橋市](#) [豊前市](#) [荻田町](#) [みやこ町](#)  
[吉富町](#) [上毛町](#) [築上町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



## (京築医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：京築(行橋市)は、総人口約184千人(2015年)、面積569km<sup>2</sup>、人口密度は324人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：京築の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に145千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて35千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：京築の一人当たり医療費(国保)は402千円(偏差値63)、介護給付費は236千円(偏差値45)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：京築の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は1.6で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が40(病院医師数38、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。京築には、年間全身麻酔件数が500例以上の新行橋病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：京築の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,465人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,989床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,476床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,227人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム62、軽費ホーム60、グループホーム53、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、319人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (京築医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

京築医療圏の総人口は、2005年191,521人が、2015年に184,404人と4%減少し、2025年の人口が170,126人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

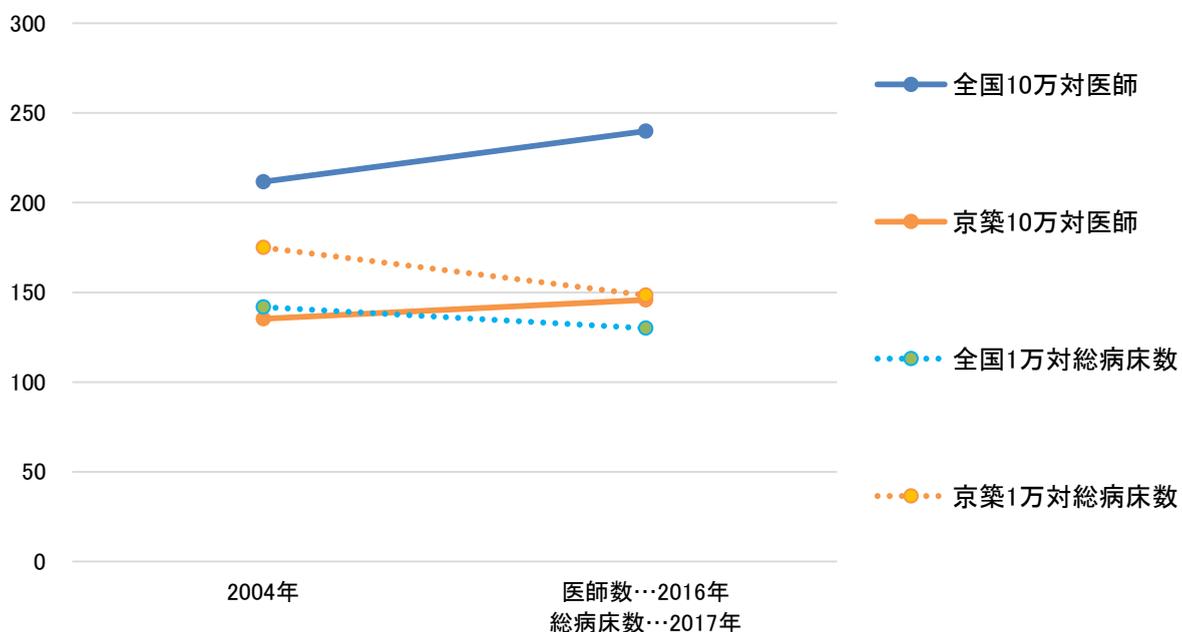
2004年の病院数が17(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2017年に14(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が148(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に160(人口10万人当たり87診療所(全国平均80)偏差値54)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,353床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に2,737床(人口1万人当たり148(全国平均130)偏差値53)と、616床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

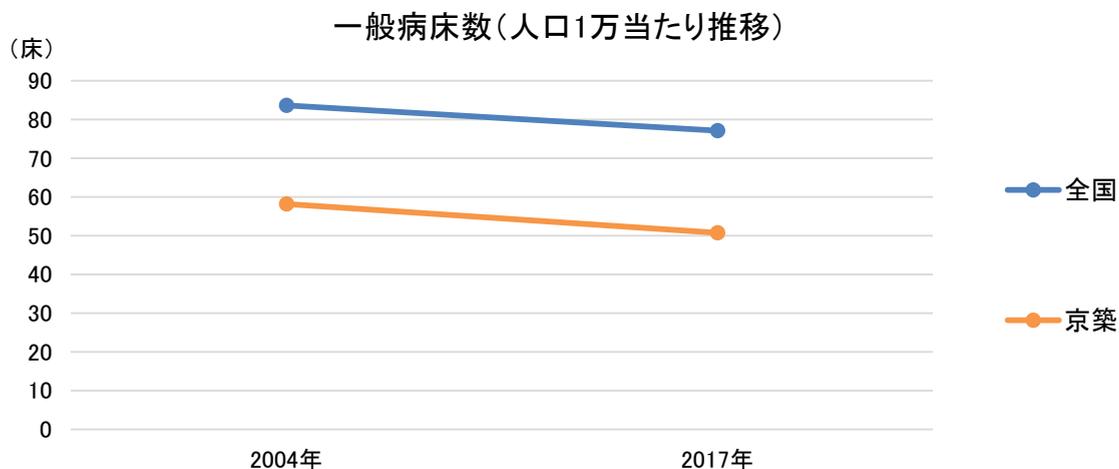
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が259人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2016年に269人(人口10万人当たり146人(全国平均240人)偏差値40)と、10人の増加、率にして4%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



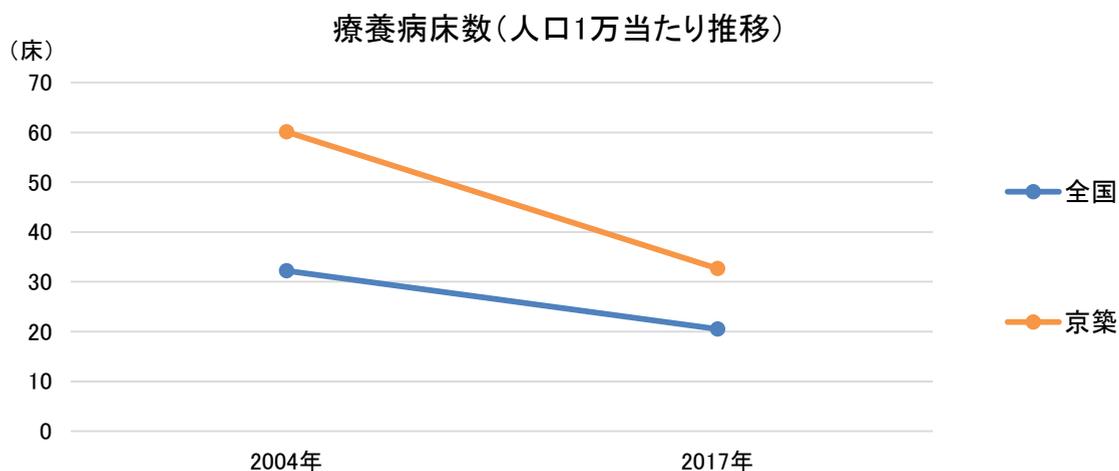
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,114床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2017年に936床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、178床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



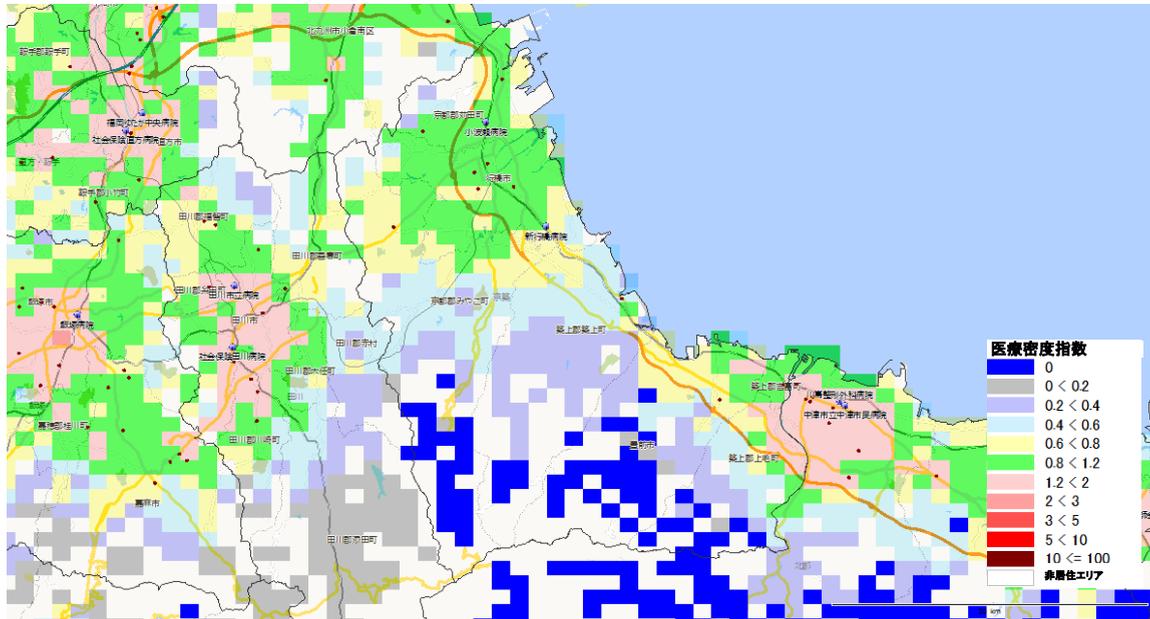
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,297床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2017年に901床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値61)と、396床の減少、率にして31%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(京築医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表40-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-13-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

